BladeSymphony

BladeSymphony BS320
Virtage OSインストール手順書(Windows編)

第2版　2010年　12月

HITACHI

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

第1版

#	ページ	変更履歴
1		初版

第2版

#	ページ	変更履歴
1	1	P5モデル対応
2	30	1．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)
3	35	リモートCD/DVDサポート(Windows Server 2003 R2)
4	92	2．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)
5	97	リモートCD/DVDサポート(Windows Server 2008 R2)

重要なお知らせ

・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断りします。
・本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、
お気付きのことがありましたらお買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
・本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Microsoft, Windows, Windows Serverは米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2010, All rights reserved.

はじめに

本書は、一般的なVirtage OSインストールの簡易手順を示した設定例となります。
お客様の環境により表示内容や一部の手順が異なる場合があることをご承知おきください。
OSインストールの前に以下のガイドを参照し、注意事項および制限事項を必ず確認してください。

・BladeSymphony BS320 ユーザーズガイド
・BladeSymphony BS320 ソフトウェアガイド

また、本書で記載している時間はおおよその目安です。環境により時間が変わる場合があります。

目次

重要なお知らせ
登録商標・商標について
版権について
はじめに

1. Windows Server 2003 R2インストール手順

	ページ	所要時間
1．1 準備	6	5分
1．2 HVMの起動	10	10分
1．3 HVMの設定	15	10分
1．4 LPARの構築	19	
1．4．1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)	19	10分
1．4．2 LPARの構築(HVM Ver(17-4x)以前を使用する場合)	25	10分
1．4．3 LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)	30	10分
1．5 Windows Server 2003 R2のインストール	35	120分

2. Windows Server 2008 R2インストール手順

	ページ	所要時間
2．1 準備	68	5分
2．2 HVMの起動	72	10分
2．3 HVMの設定	77	10分
2．4 LPARの構築	81	
2．4．1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)	83	10分
2．4．2 LPARの構築(HVM Ver(17-4x)以前を使用する場合)	87	10分
2．4．3 LPARの構築(HVM Ver(17-6x)以降を使用する場合)	92	10分
2．5 Windows Server 2008 R2のインストール	97	120分

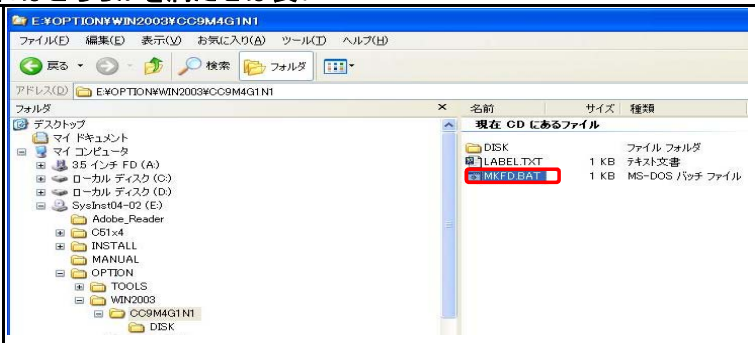
１．　Windows Server 2003 R2インストール手順

1．1 準備

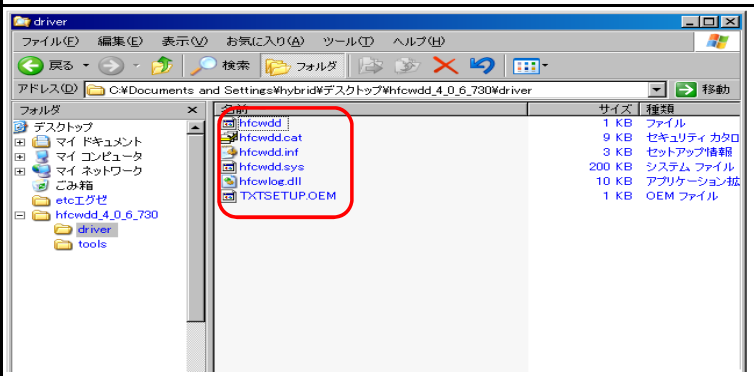
<table>
<tr><th>No.</th><th></th><th>画面</th><th>操作</th><th>チェック</th></tr>
<tr><td>1</td><td></td><td>事前準備</td><td>■事前に準備いただくもの
・以下のものを準備していただく必要があります。

・CD/DVDドライブ
・FDドライブ
・USB FDドライブ
・SystemInstaller CD　※1
・Windows Server 2003 R2メディア
・FD
・JP1/ServerConductorメディア
・ハードウェア保守エージェントメディア
※1 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載した表中のバージョン以降を前提にしています。また、お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstaller CDによって動作が若干異なる場合がございます。
<table><tr><td>ブレード
モデル名</td><td>対応OS Windows Server 2003 R2　SP2
SystemInstaller Version</td></tr><tr><td>P4 モデル</td><td>04-01</td></tr><tr><td>P5 モデル</td><td>05-00</td></tr></table></td><td>□</td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td>SystemInstaller CD内のドライバ確認</td><td>■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認

SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内のreadme.html を参照します。
インストールに使用するデバイスのドライバがSystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。

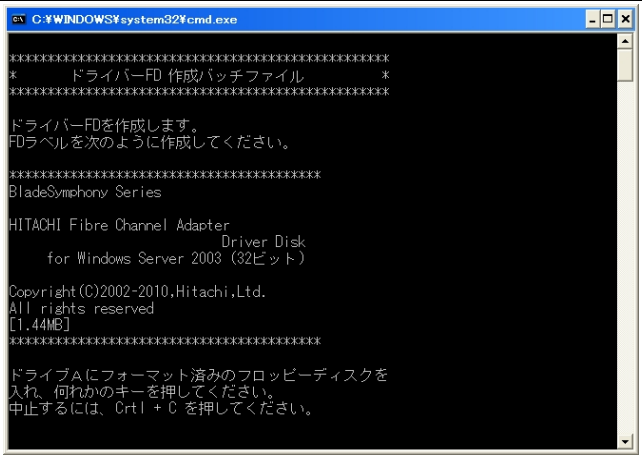
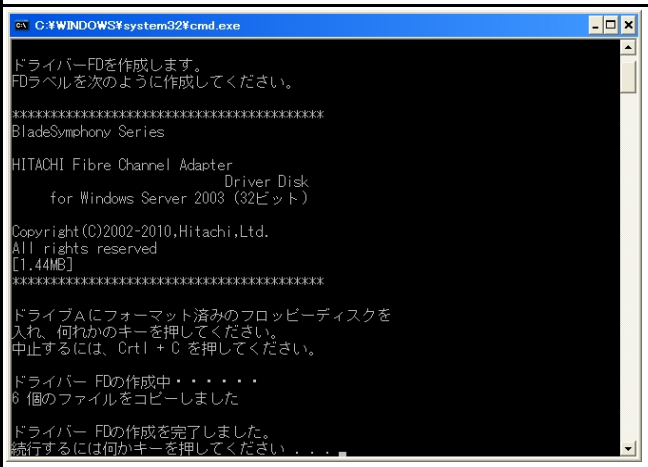
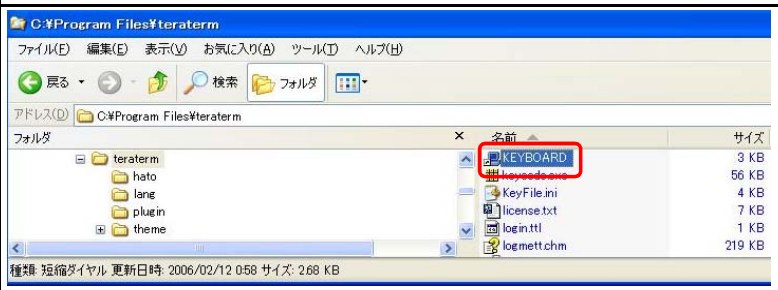
http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphor
" ご導入後のお客さま" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td colspan="4">項目3はどちらかを満たせば良い</td></tr>
<tr><td>3-1</td><td>  </td><td>■SystemInstallerからドライバーFDの作成
・SystemInstaller CDをCD/DVDドライブに入れ
・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れま
・D:¥OPTION¥WIN2003¥拡張カード形名¥
MKFD.BATを実行します。

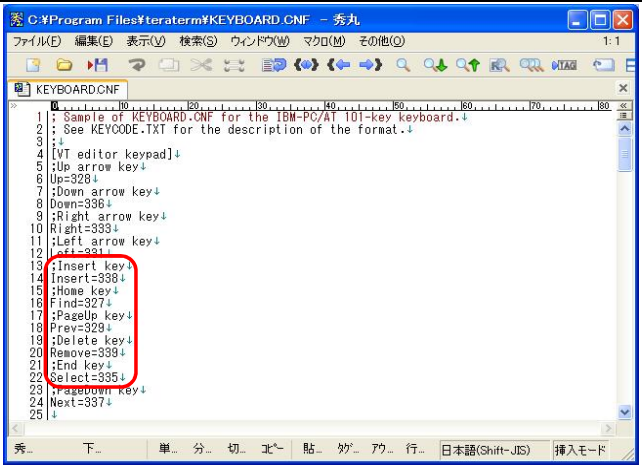
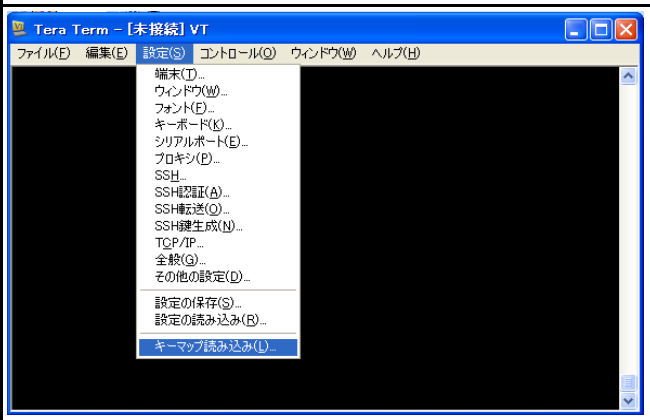
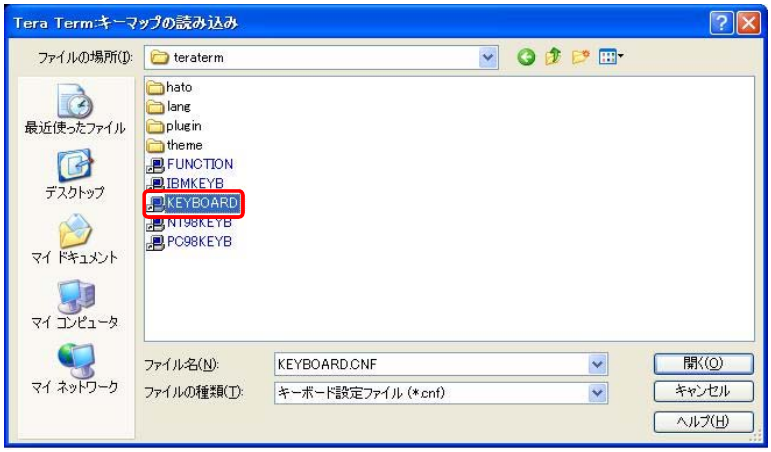
※x64の場合は、
D:¥OPTION¥WIN2003x64¥拡張カード形名¥
MKFD.BATを実行します。

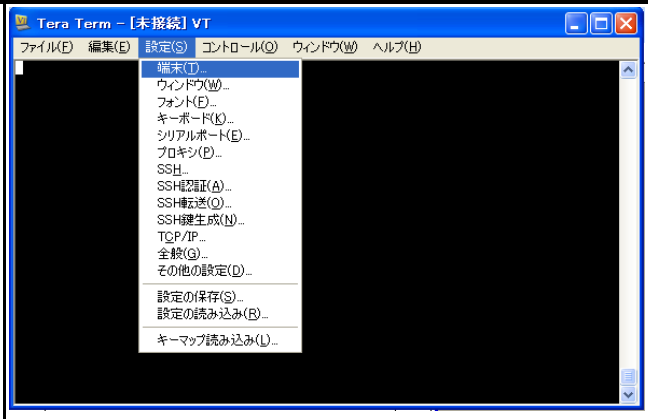
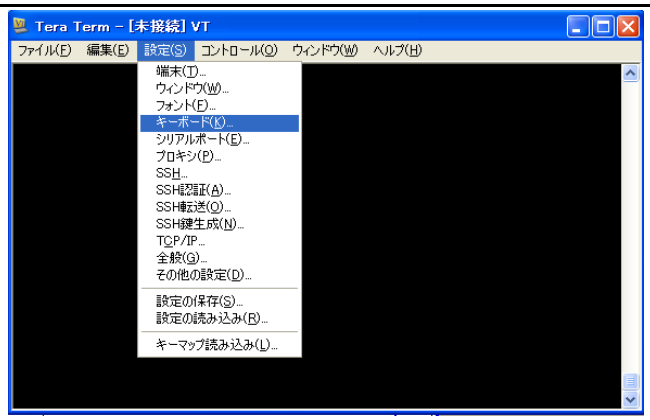
手順4に進みます。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>3-2</td><td>  </td><td>■Webからダウンロードしたドライバーの FD作成
・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れま
・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。
・C¥・・・・・・¥拡張カード形名¥driver¥
にある全てのファイルをFDにコピーします。

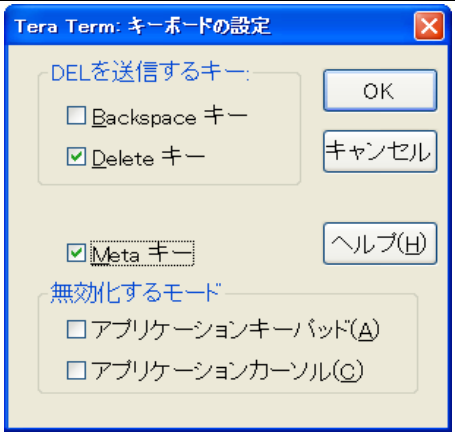
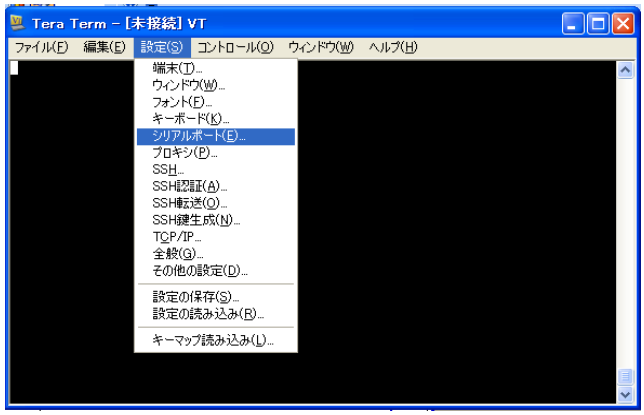
※FDにはディレクトリなしでコピーして下さい。
フォルダを作成するとインストールの際
にドライバを読み込むことができなくなります。

手順6に進みます。</td><td>□</td></tr>
</table>

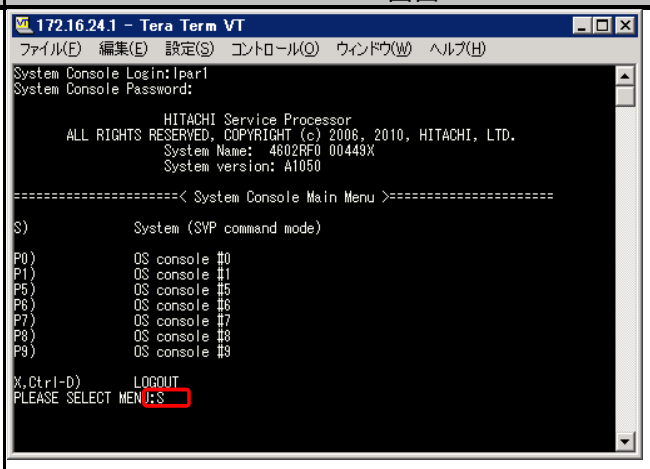
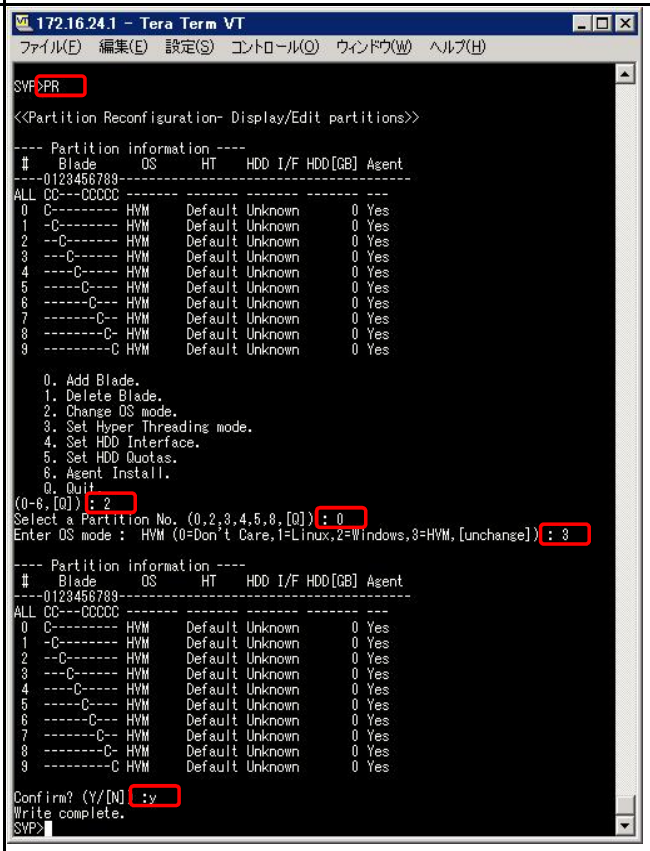
No.		画面	操作	チェック
4			・任意のキーを押します。	□
5			・任意のキーを押します。	□
6			■Tera Termの設定 ・KEYBOARD.CNFを開きます。	□

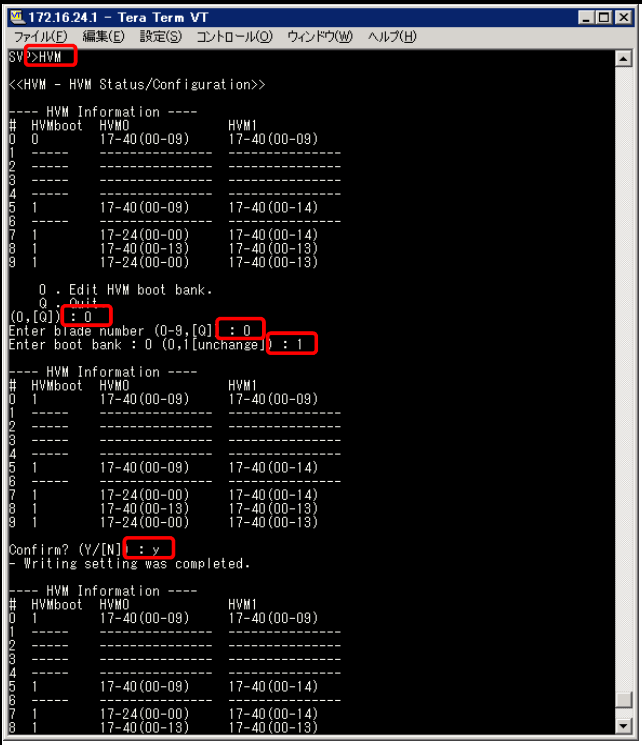
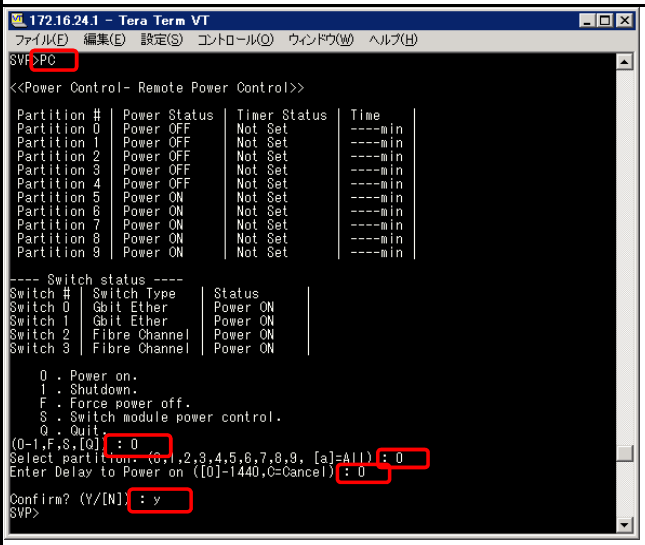
No.		画面	操作	チェック
7			・以下の設定になっていることを確認します。 Insert=338 Find=327 Prev=329 Remove=339 Select=335	□
8			・[設定]-[キーマップ読み込み]を選択します。	□
9			・KEYBOARD.CNFを選択します。	□

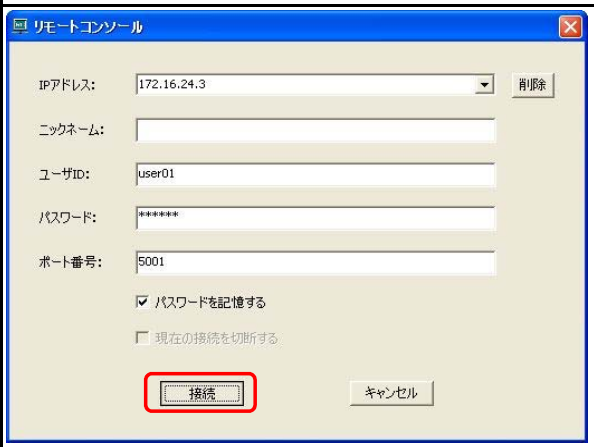
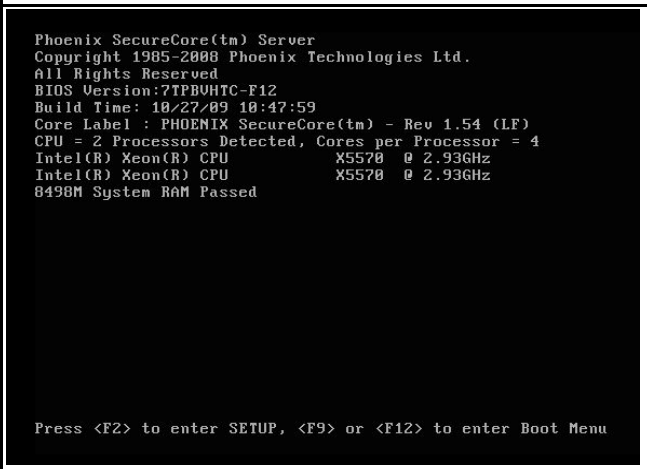
No.		画面	操作	チェック
10			・[設定]-[端末]を選択します。	□
11			・左記の設定となっていることを確認します。	□
12			・[設定]-[キーボード]を選択します。	□

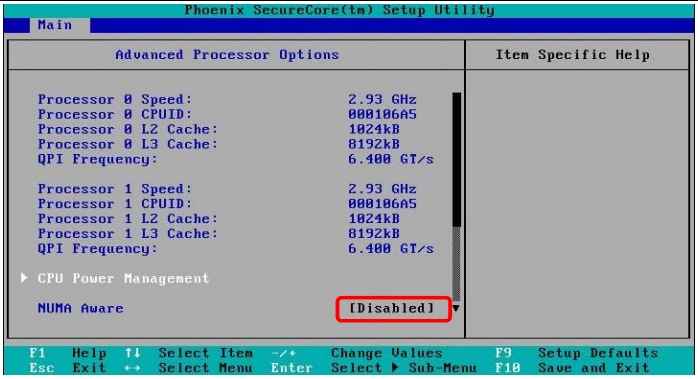
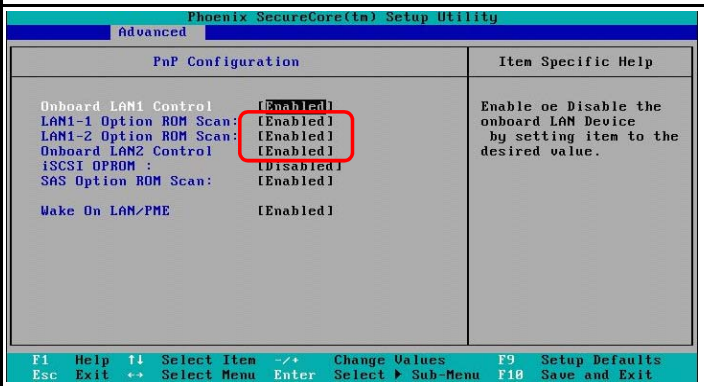
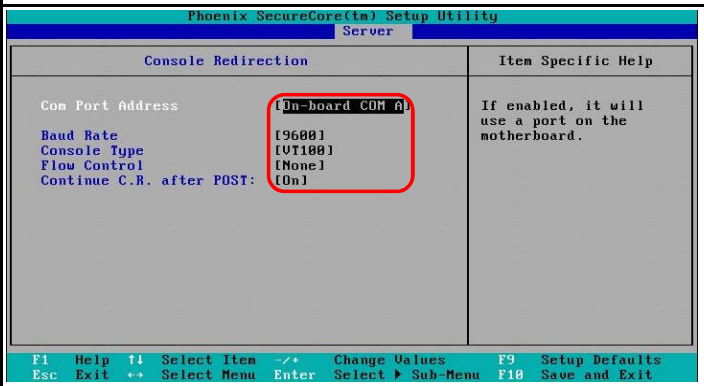
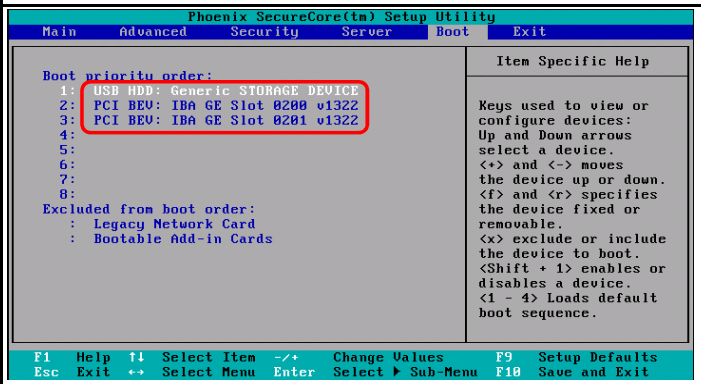
No.		画面	操作	チェック
13			・左記の設定となっていることを確認します。	☐
14			・[設定]-[シリアルポート]を選択します。	☐
15			・左記の設定となっていることを確認します。	☐

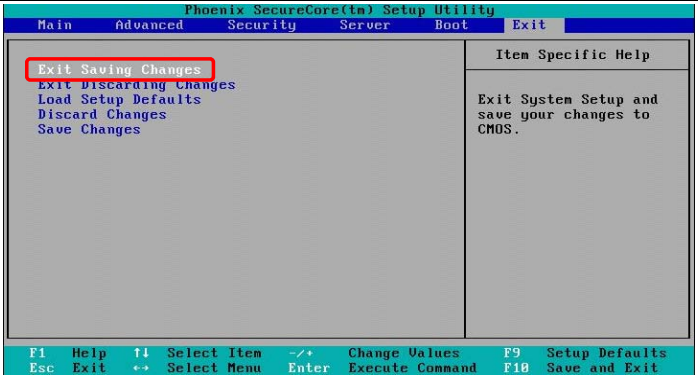
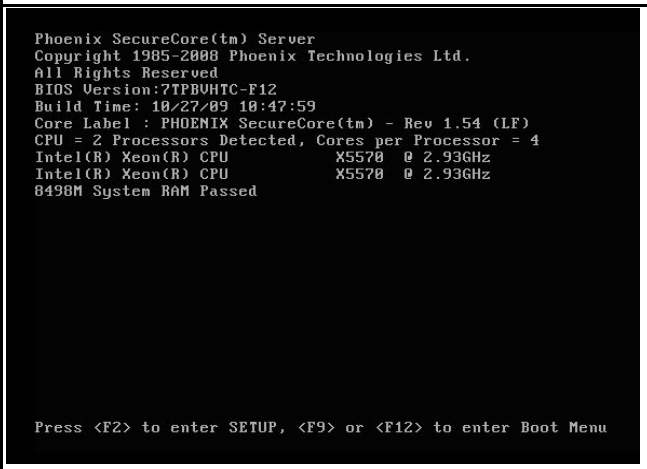
1．2 HVMの起動

No.	画面	操作	チェック
1		■SVPにログイン ・「S」を入力します。	□
2		■HVMモードの設定 ・「PRコマンド」を入力します。 ・「2」を入力します。 ・「パーティション番号」を入力します。 ・「3」を入力します。 ・「y」を入力します。	□

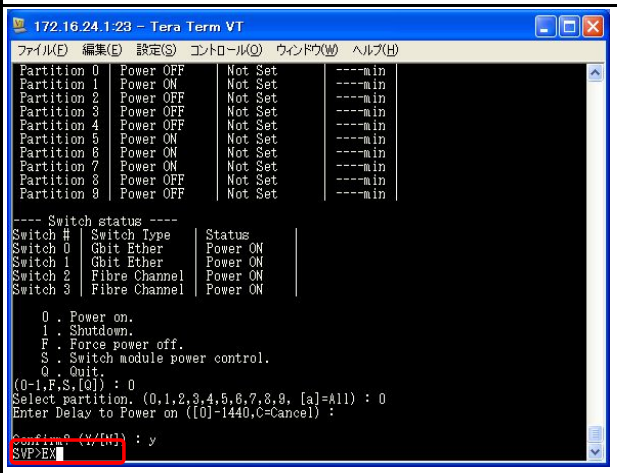
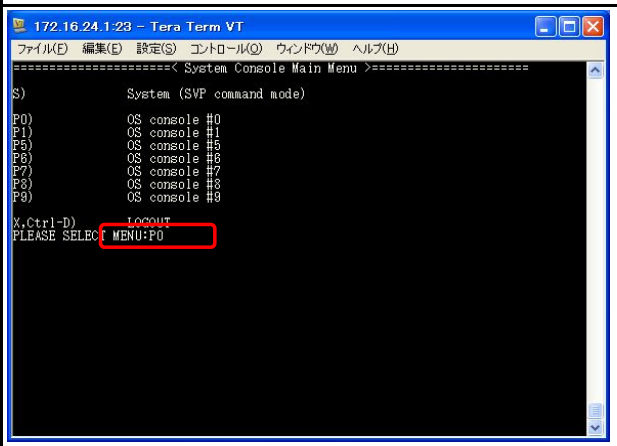
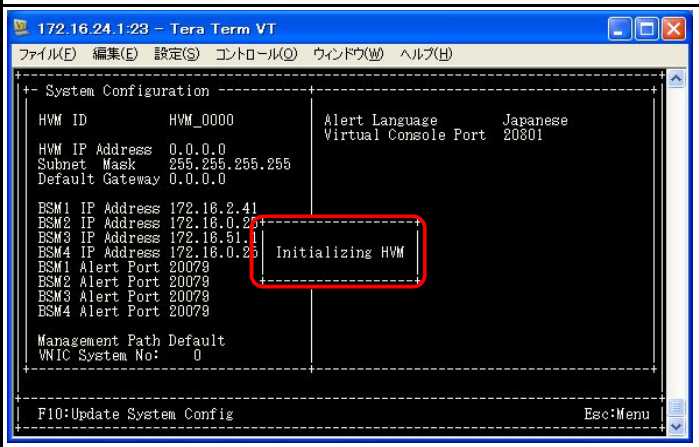
No.	画面	操作	チェック
3		■HVMファームウェア面番号の設定 ・「HVMコマンド」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「ブレード番号」を入力します。 ・「HVMファームウェア面番号」を入力します。 ・「y」を入力します。	☐
4		■電源の投入 ・「PCコマンド」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「パーティション番号」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「y」を入力します。	☐

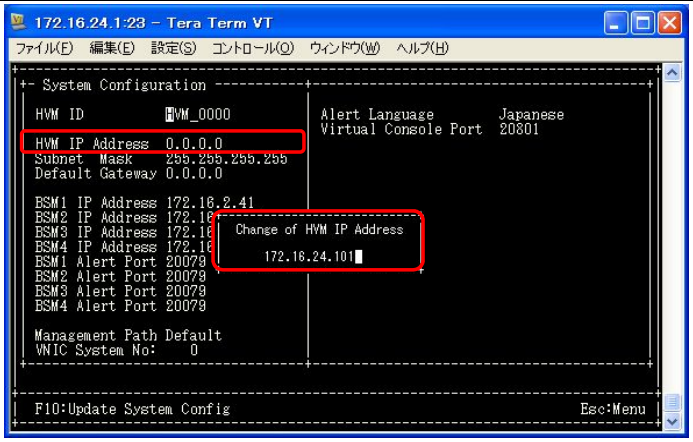
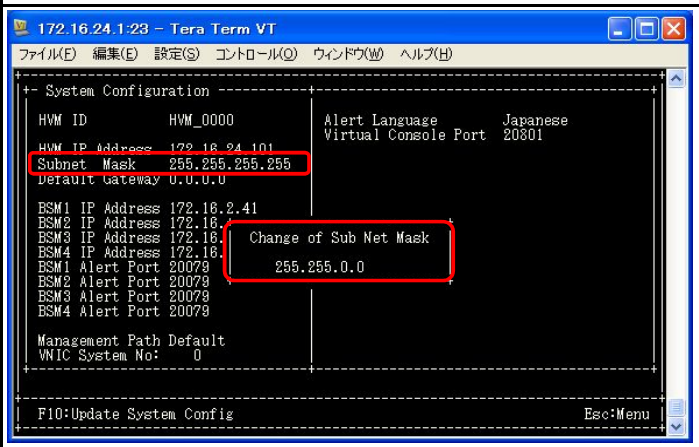
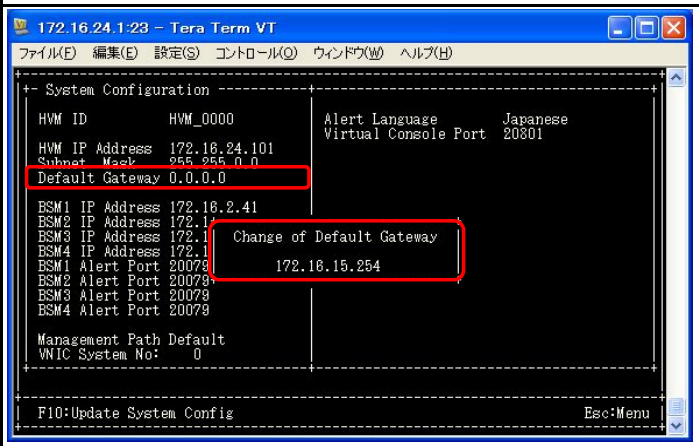
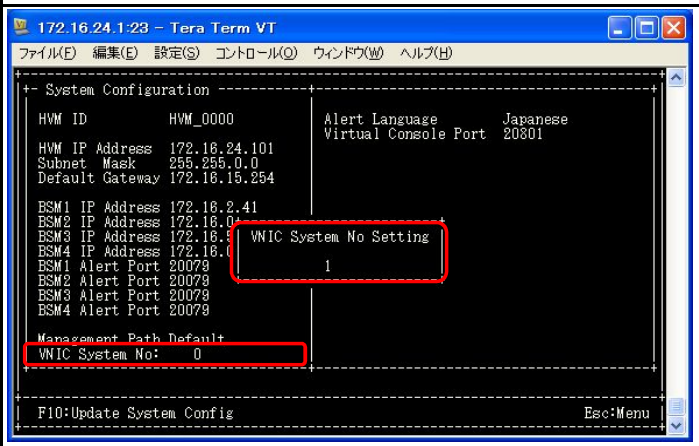
No.	画面	操作	チェック
5	**コンソールの切替：リモートコンソール**		□
6		■リモートコンソールに接続 ・「接続」を押します。	□
7		・「F2」キーを押します。	□

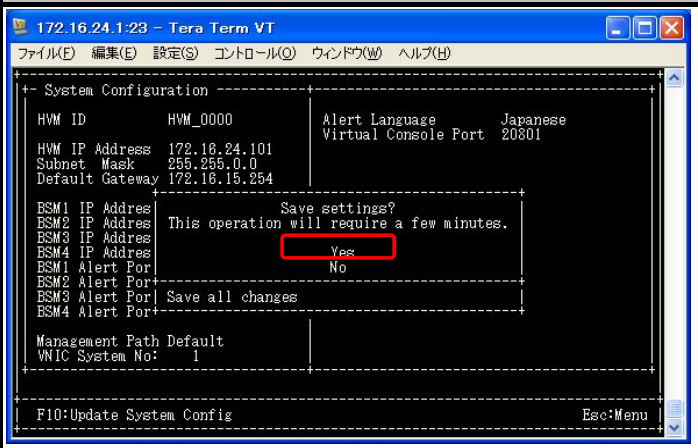
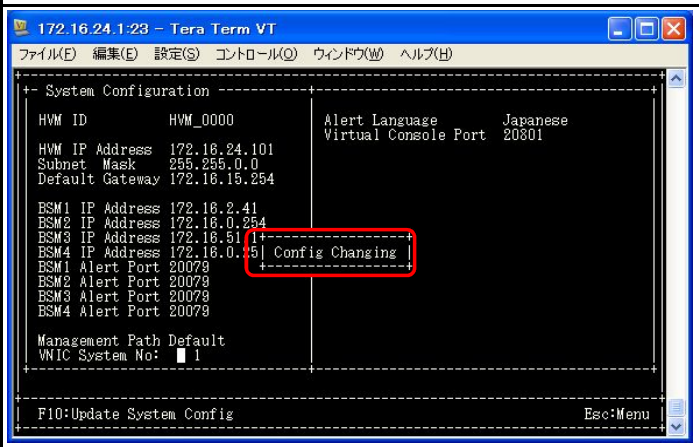
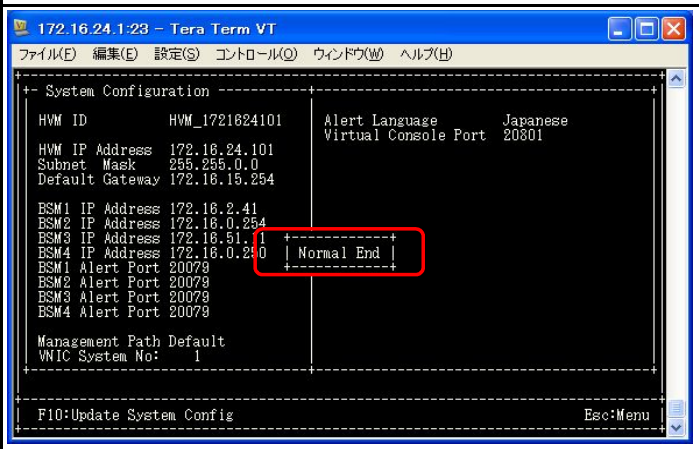
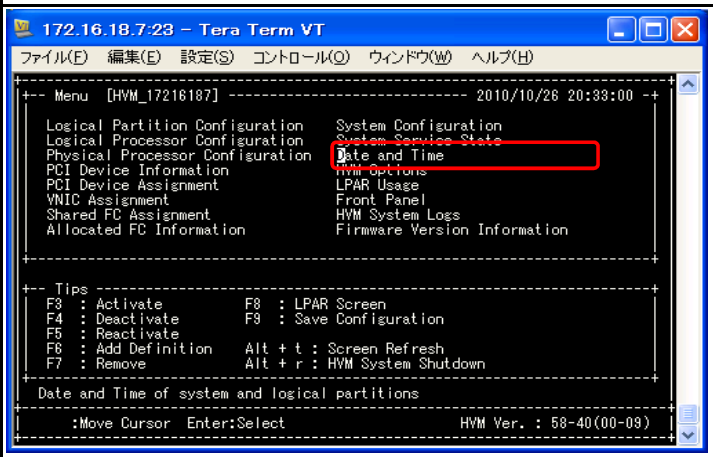
No.	画面	操作	チェック
8		■BIOSの設定 ・[Main]-[Advanced Processor Options] に移動します。 ・[NUMA Aware]が[Disabled] に設定されていることを確認します。	☐
9		・[Advanced]-[PnP Configuration] に移動します。 ・[LAN1-1 Option ROM Scan]が[Enabled] に設定されていることを確認します。 ・[LAN1-2 Option ROM Scan]が[Enabled] に設定されていることを確認します。 ・[Onboard LAN2 Control]が[Enabled] に設定されていることを確認します。	☐
10		・[Server]-[Console Redirection] に移動します。 ・[Com Port Address]が[On-board COM A] に設定されていることを確認します。 ・[Baud Rate]が[9600] に設定されていることを確認します。 ・[Console Type]が[VT100] に設定されていることを確認します。 ・[Flow Control]が[None] に設定されていることを確認します。 ・[Continue C.R. after POST]が[On] に設定されていることを確認します。	☐
11		・[Boot]に移動します。 ・[Boot Priority order]に[USB HDD: Generic STORAGE DEVICE]が設定されていることを確認します。 ・[Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx]が設定されていることを確認します。 ・[Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx]が設定されていることを確認します。 ※[x]キーにより、[Boot Priority order]に移動することができます。	☐

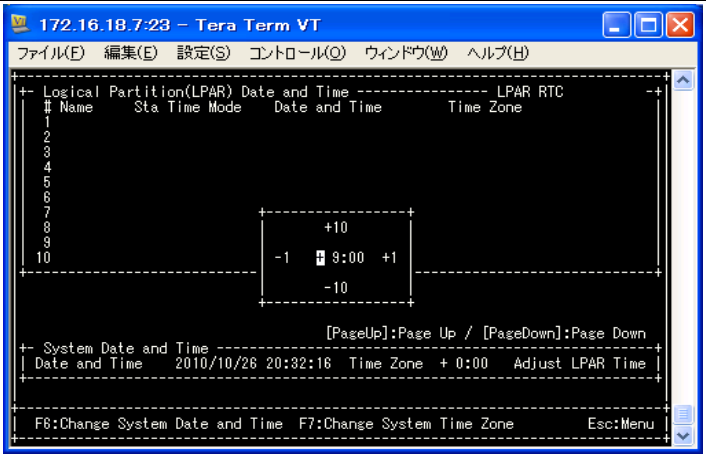
No.	画面	操作	チェック
12		・[Exit Saving Changes]を選択します。	□
13		・サーバブレードが再起動します。	□

1．3　HVMの設定

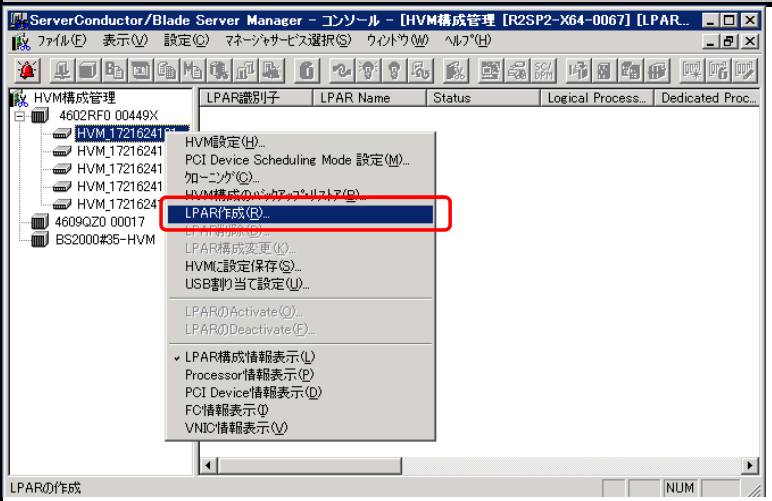
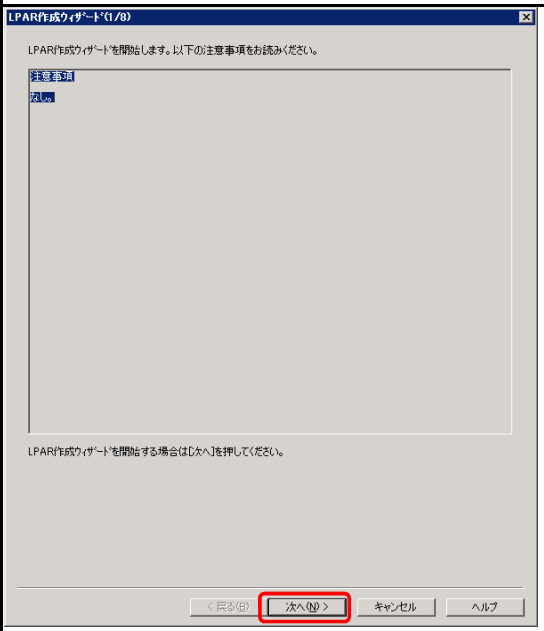
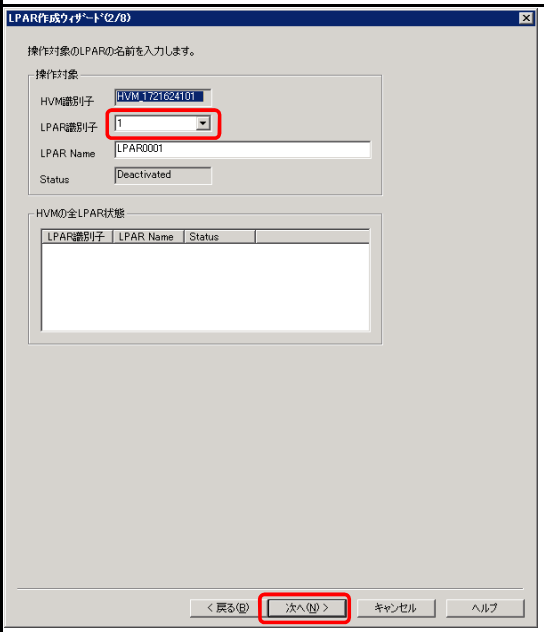
No.	画面	操作	チェック
1	コンソールの切替：OSコンソール		□
2		・「EXコマンド」を入力します。	□
3		・「サーバブレード番号」を入力します。	□
4		■HVMの設定 ・[Alt] + [t]を入力します。 ・Bladeの電源をONしてから、約7分で SystemConfigurationが表示されます。 「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。	□

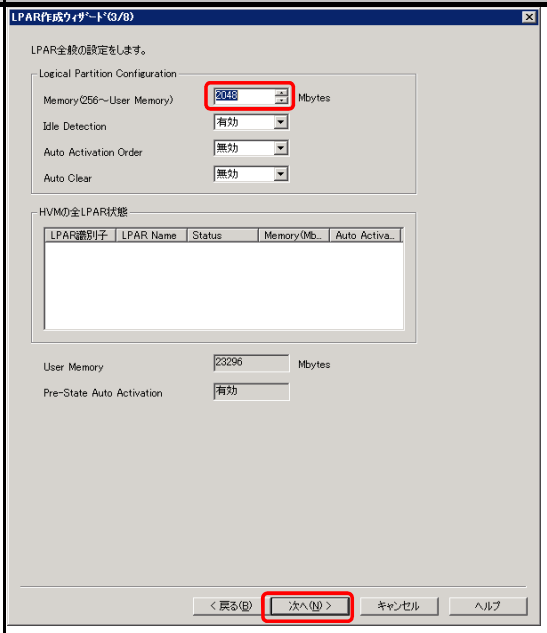
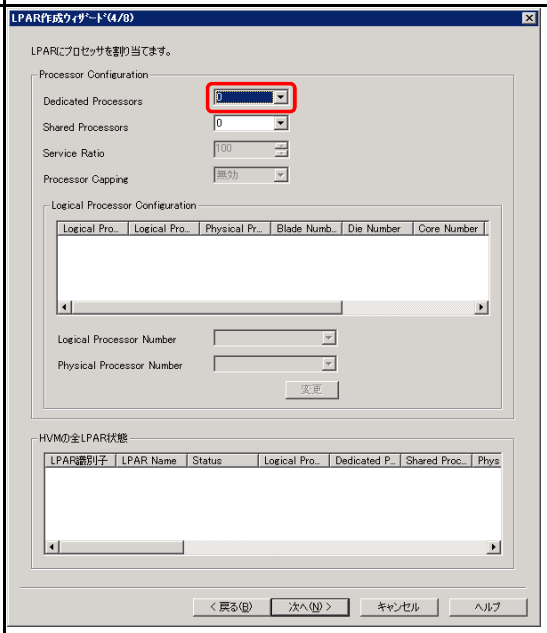
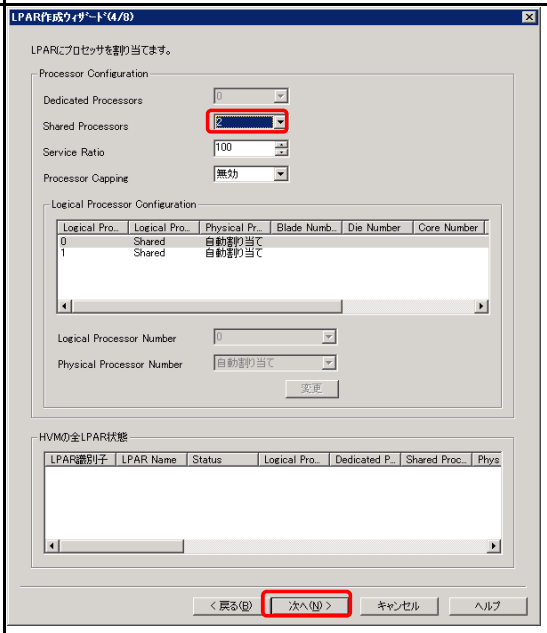
No.	画面	操作	チェック
5		・「HVM IP Address」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「HVM IP Address」を入力します。	□
6		・「Subnet Mask」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「Subnet Mask」を入力します。	□
7		・「Default Gateway」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「Default Gateway」を入力します。	□
8		・「VNIC System No」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「VNIC System No」を入力します。	□

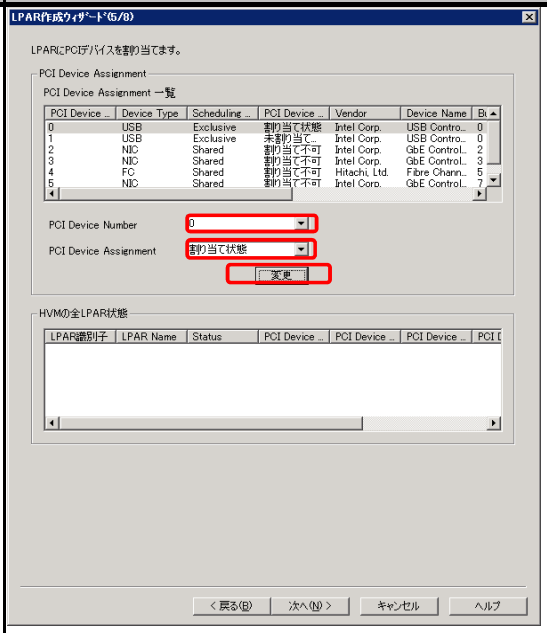
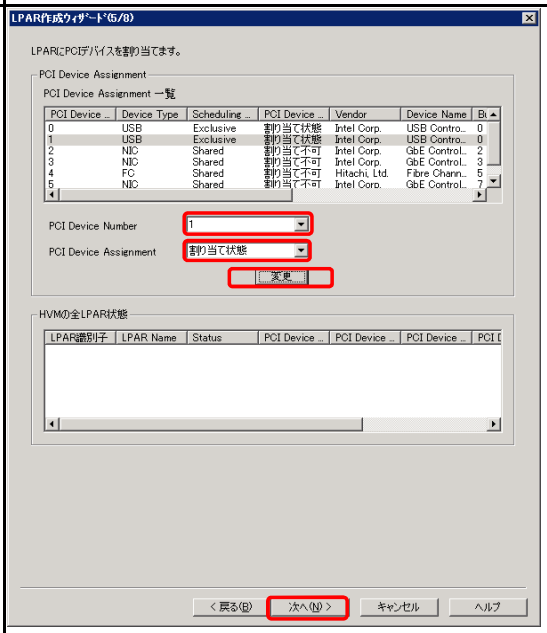
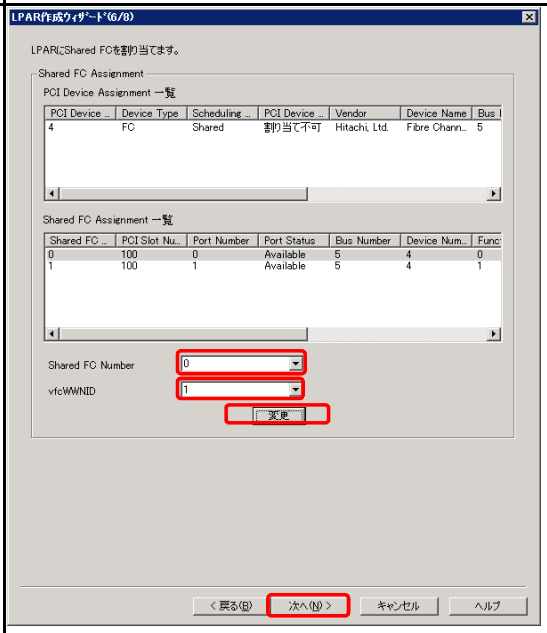
No.	画面	操作	チェック
9		■システム構成情報の更新 ・[F10]キーを押します。 ・[Yes]を選択します。	□
10		・「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。	□
11		・システム構成情報が更新されます。	□
12		■TimeZoneの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Data and Timeにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□

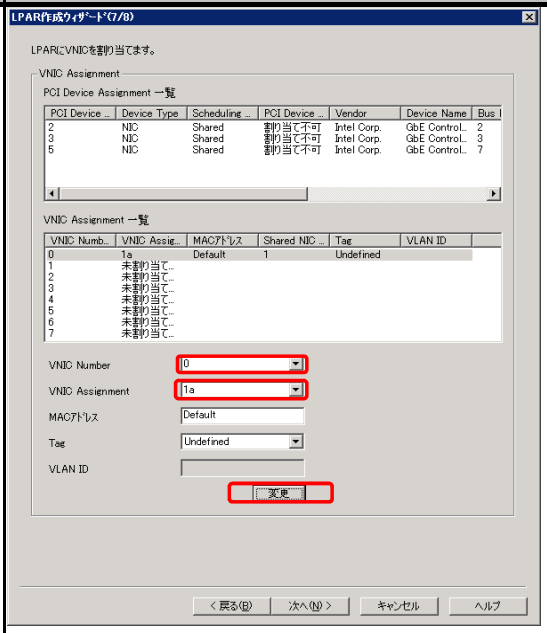
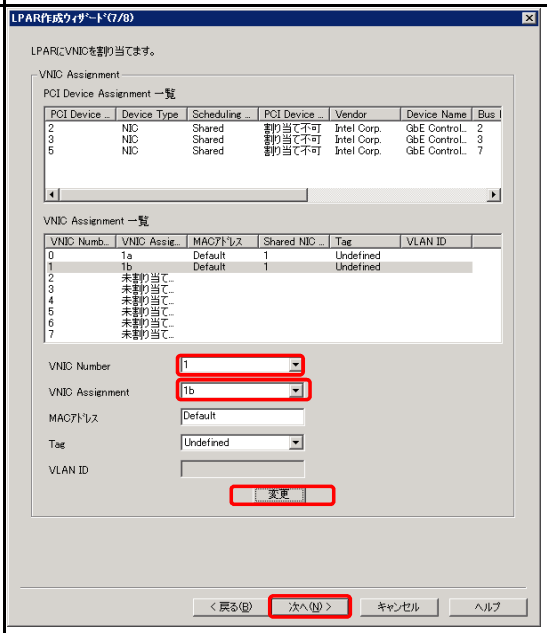
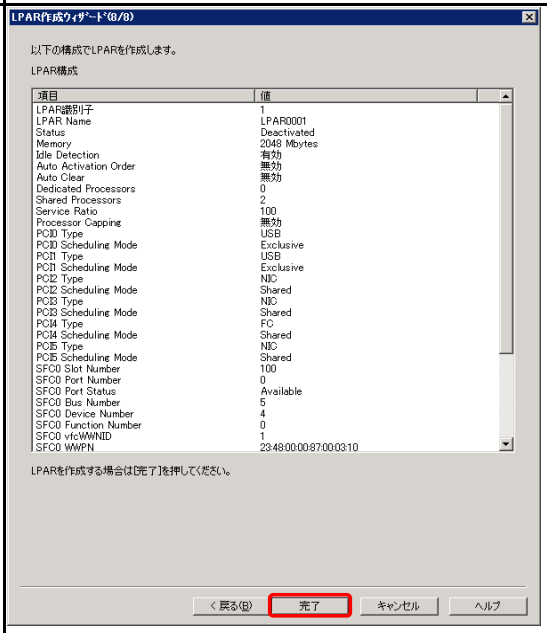
No.	画面	操作	チェック
13		・[F7](Change System Time Zone) を押します。 ・矢印キー ([↑]、[↓]、[←]、[→])を押し、システムタイムゾーンを＋9:00にします。	□

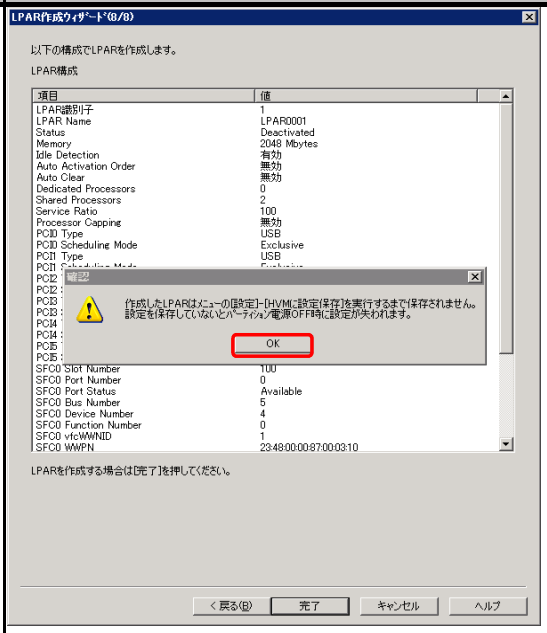
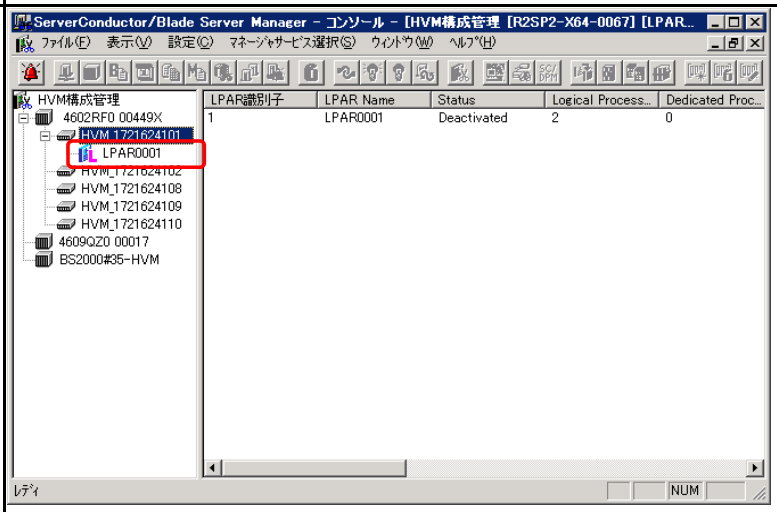
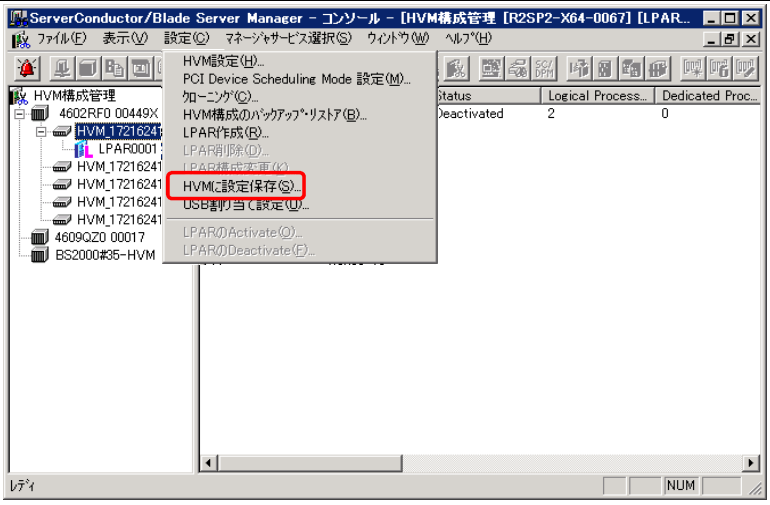
1．4　LPARの構築
1．4．1　LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

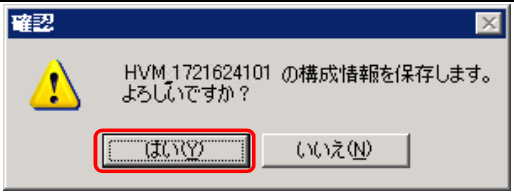
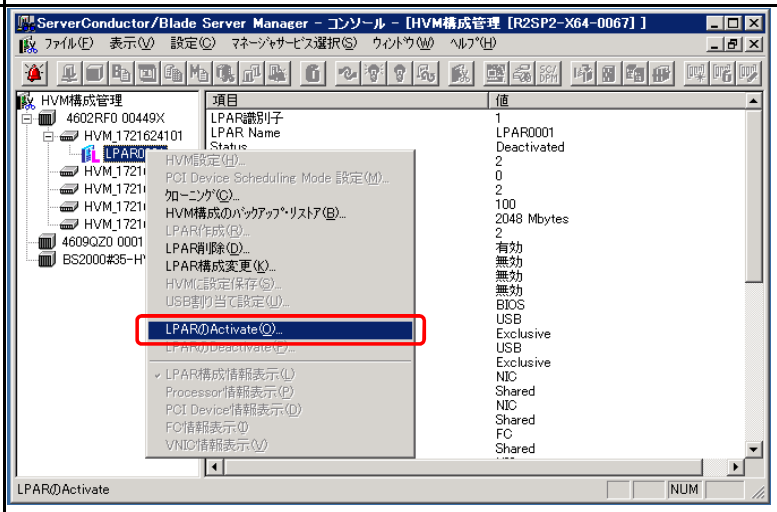
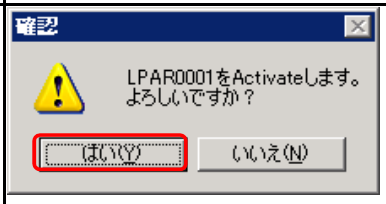
No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・HVM構成管理でLPARを作成するHVM IDを選します。 ・マウスで右クリックし「LPAR作成」を選択しま	□
2		・[次へ]を押します。	□
3		・LPAR識別子を選択します。 ・[次へ]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
4		■メモリサイズの設定 ・「2048」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□
5		■プロセッサ数の設定 ・占有プロセッサで、「0」を選択します。	□
6		・共有プロセッサで、「2」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□

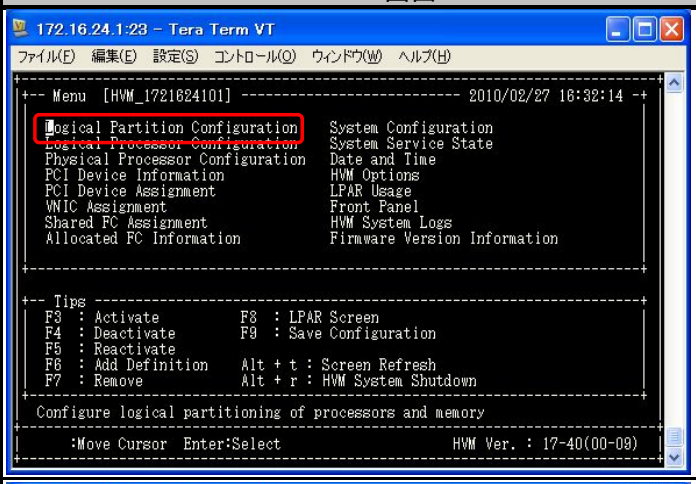
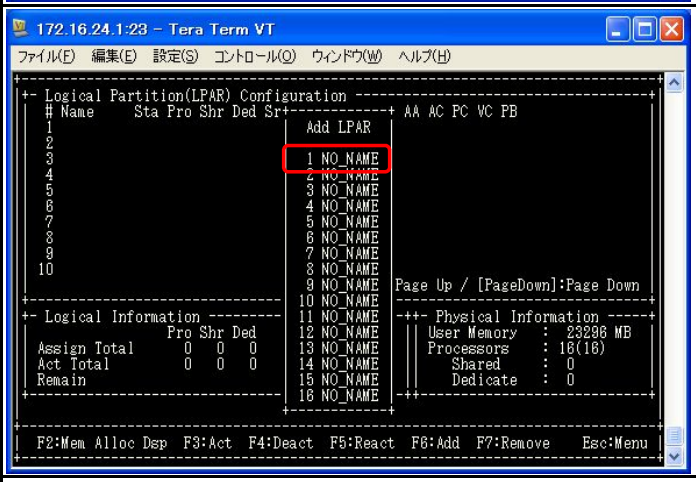
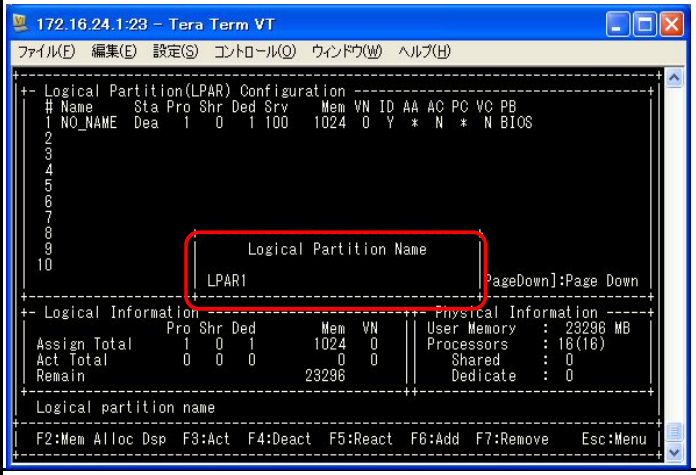
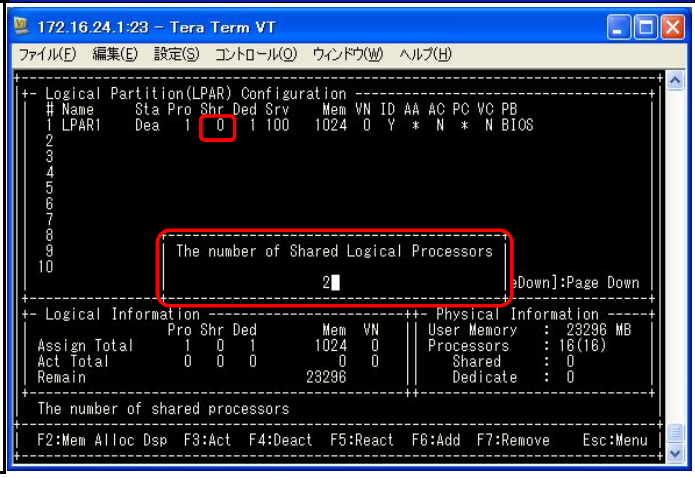
No.	画面	操作	チェック
7		■PCIデバイスの割り当て ・「0」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]を押します。	□
8		・「1」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□
9		■共有FCポートの設定 ・「0」を選択します。 ・「共有FCポート」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□

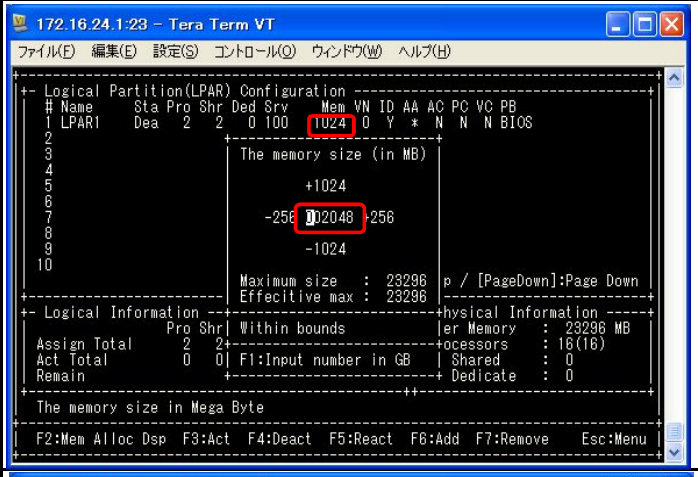
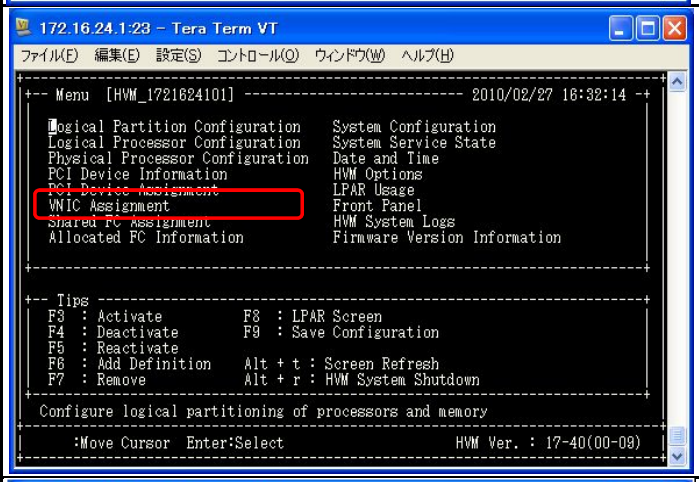
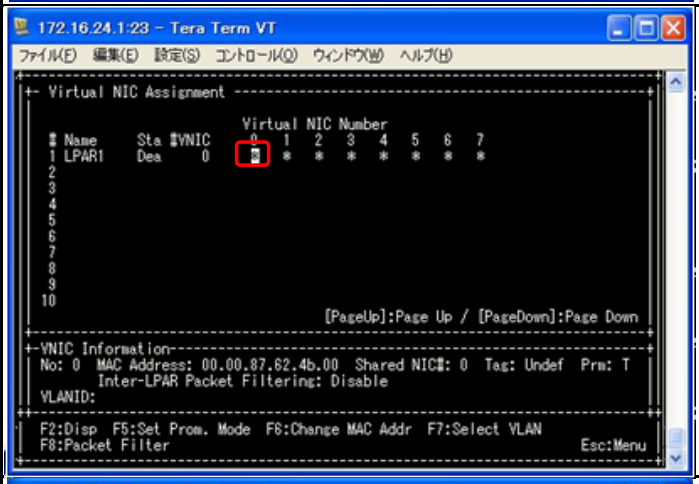
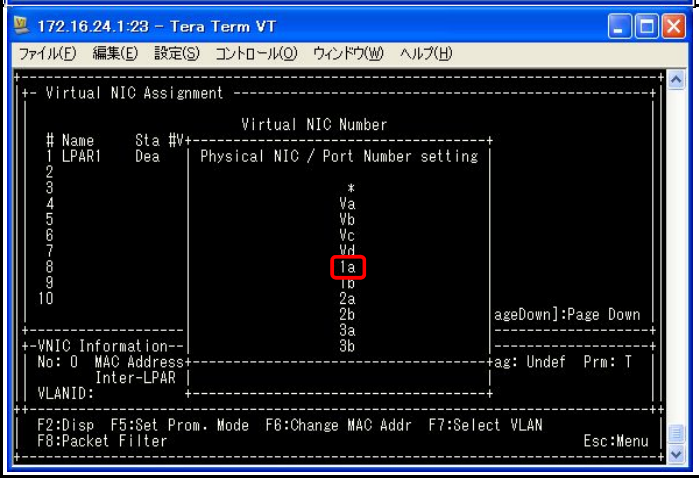
No.	画面	操作	チェック
10		■共有NICの設定 ・「0」を選択します。 ・「1a」を選択します。 ・[変更]を押します。	□
11		・「1」を選択します。 ・「1b」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□
12		・[完了]を押します。	□

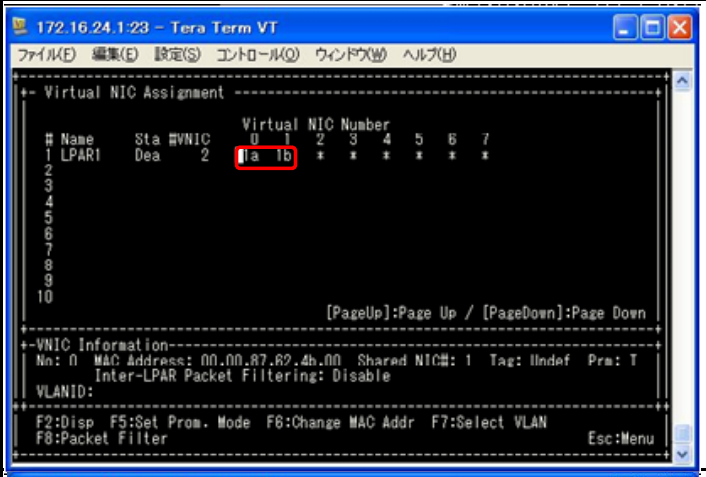
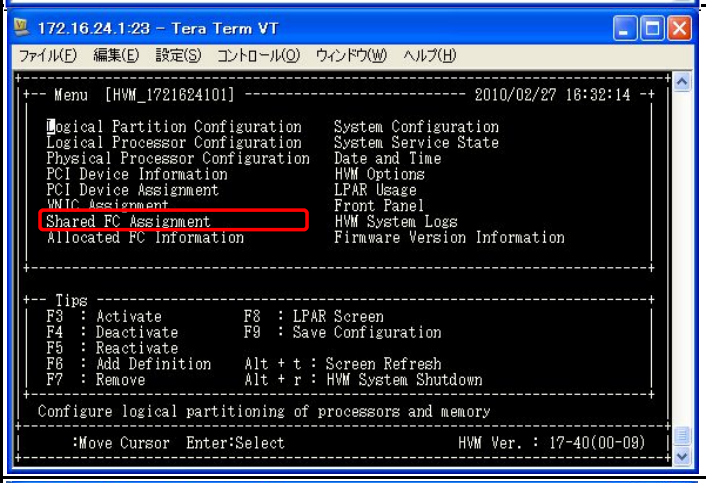
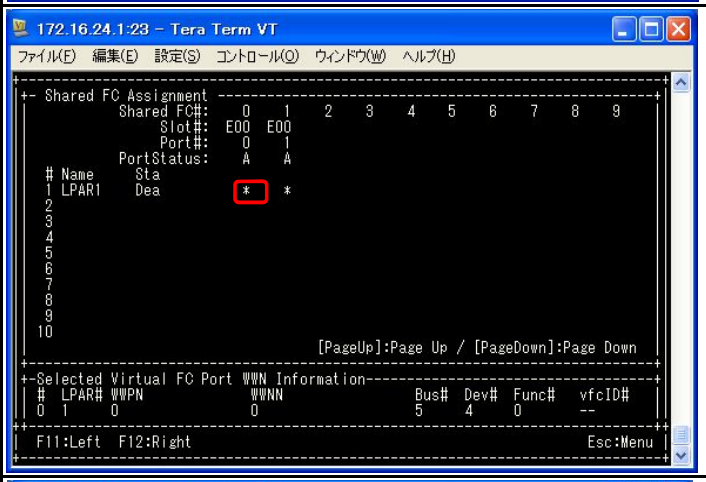
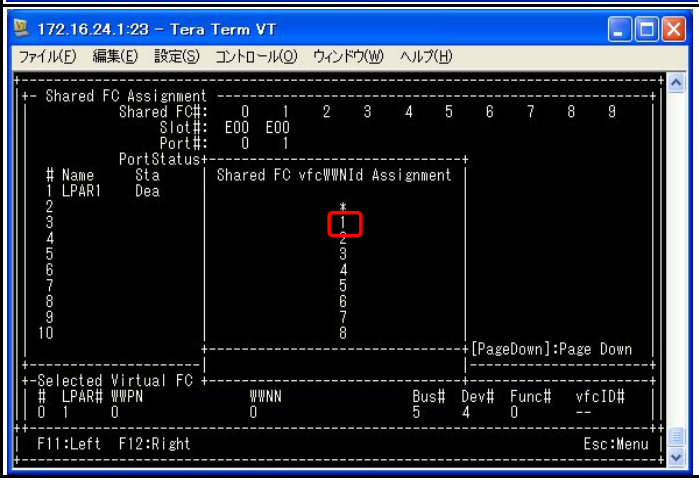
No.	画面	操作	チェック
13		・[OK]を押します。	□
14		・LPARが作成されます。	□
15		■構成定義の保存 ・「HVMに設定保存」を選択します。	□

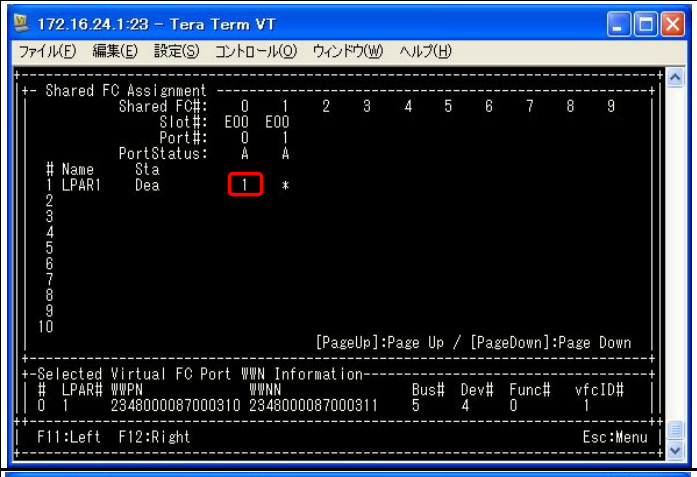
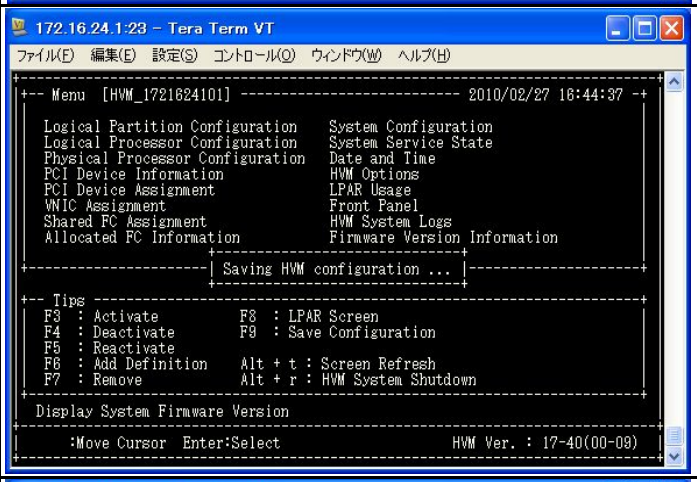
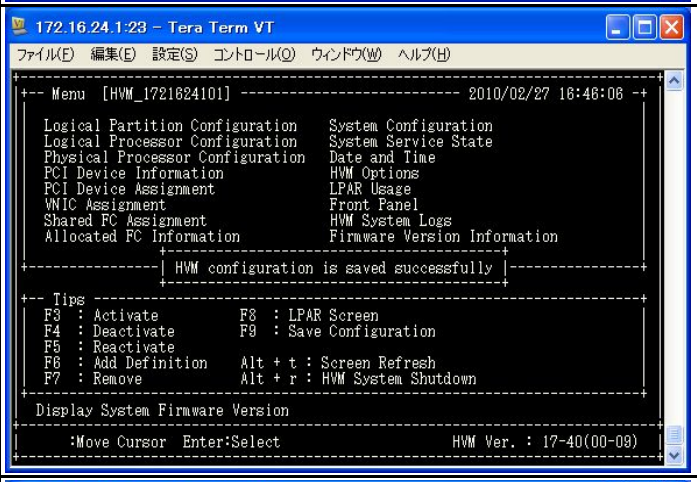
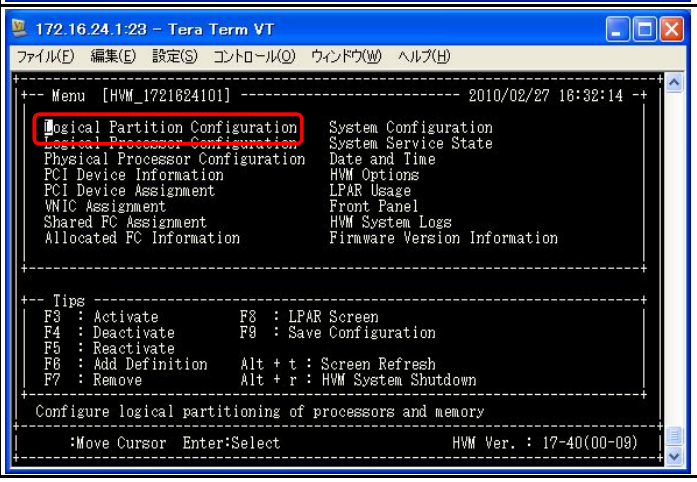
No.	画面	操作	チェック
16		・[はい]を選択します。	□
17		■LPARの起動 ・「LPARのActivate」を選択します。	□
18		・[はい]を選択します。	□

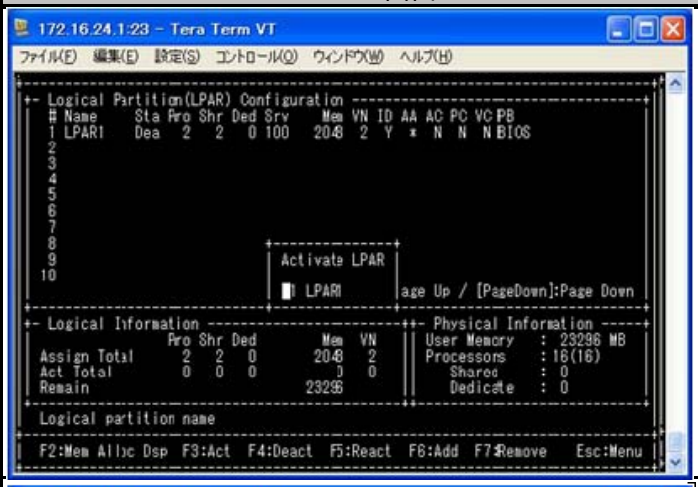
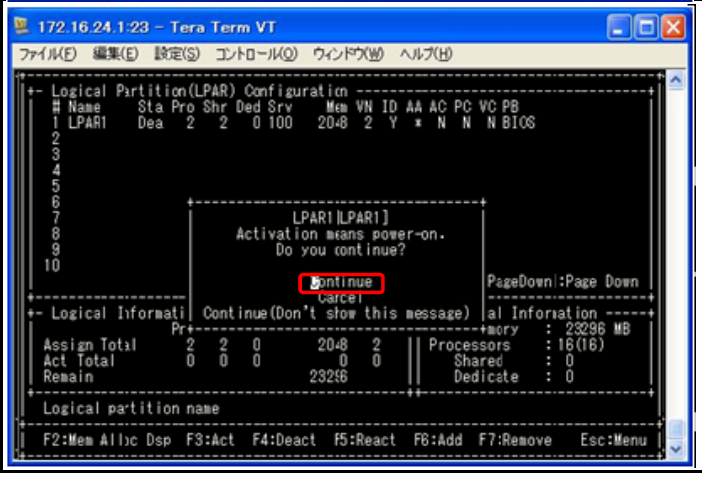
1．4．2　LPARの構築(HVM_Ver(17-4x)以前を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
2		・[F6]キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択し、[Enter]キーを押します。	□
3		・当該LPARの「Name」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「LPAR名称」を入力します。	□
4		■プロセッサ数の設定 ・「Shr」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2」を入力します。	□

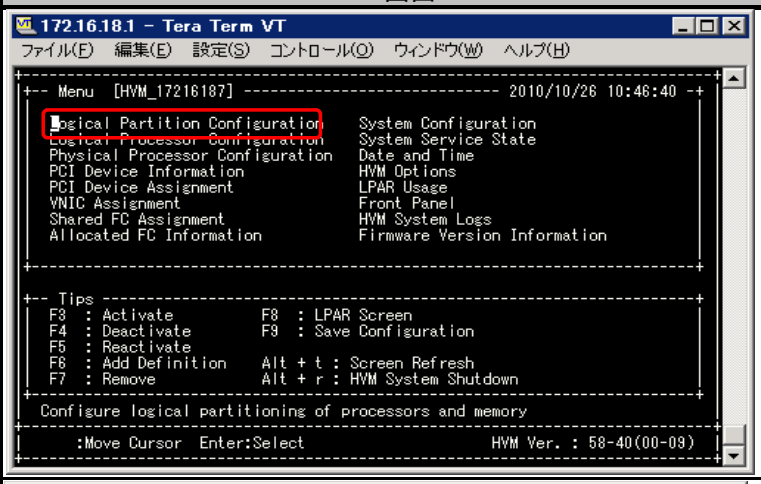
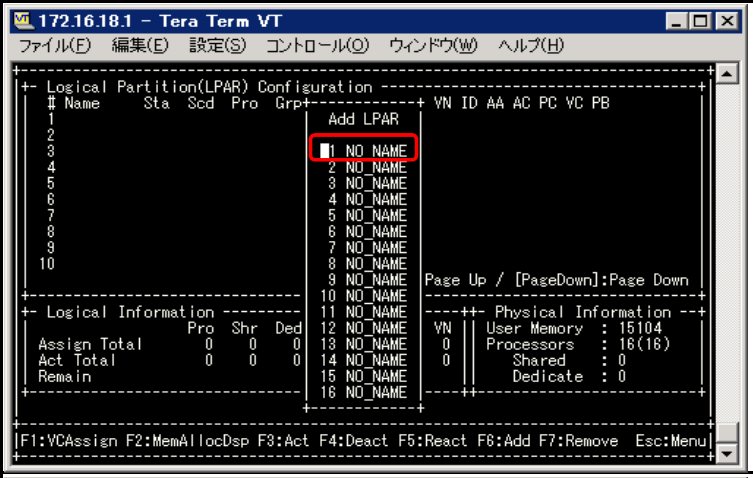
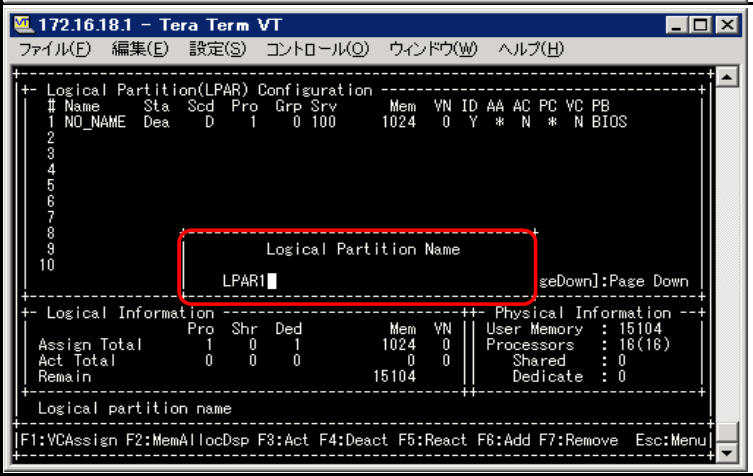
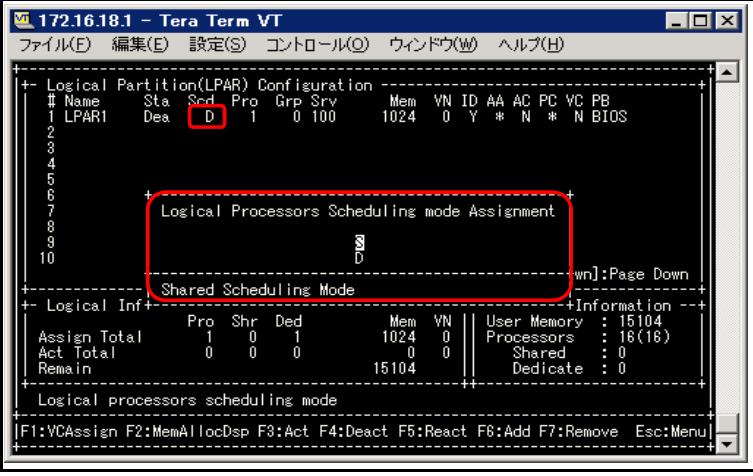
No.	画面	操作	チェック
5		■メモリサイズの設定 ・「Mem」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2048」を選択します。	□
6		■共有NICの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・VNIC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
7		・[Enter]キーを押します。	□
8		・「1a」を選択し、[Enter]キーを押します。	□

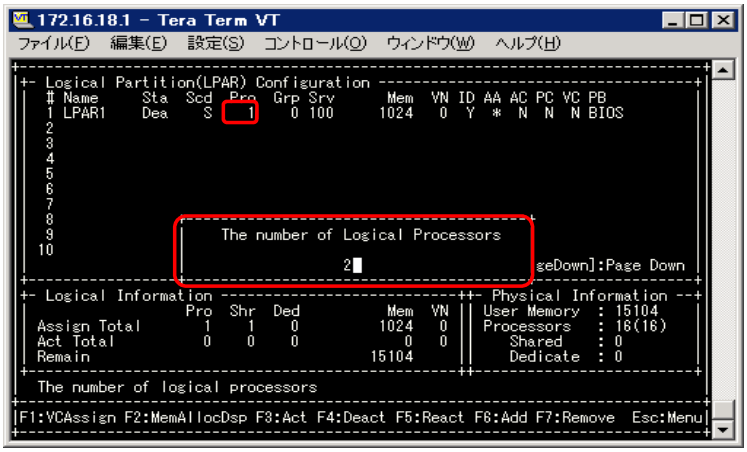
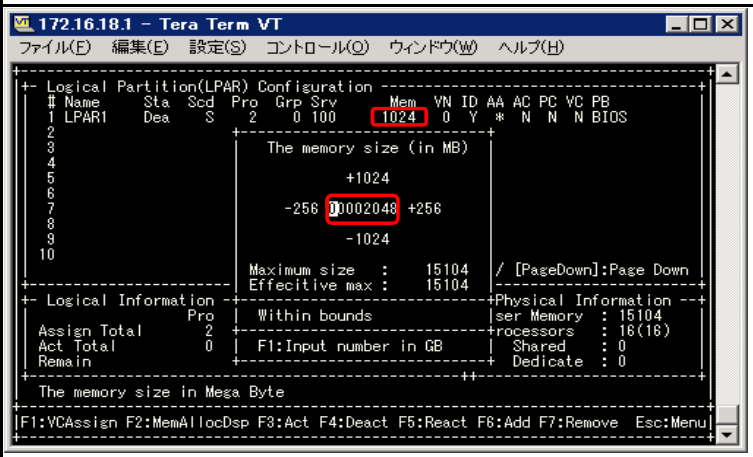
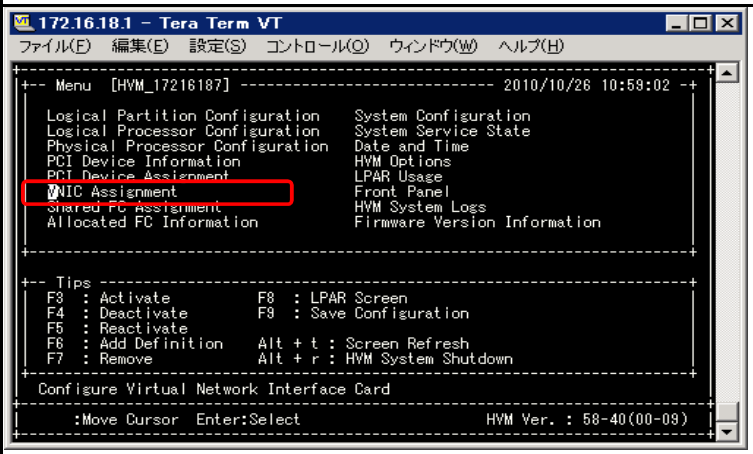
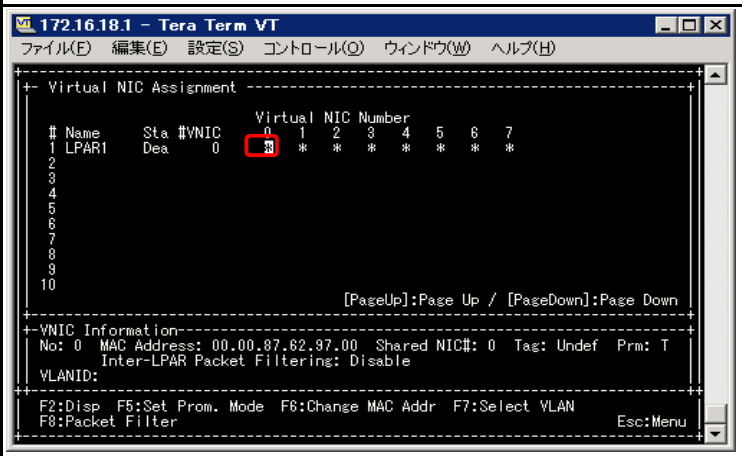
No.	画面	操作	チェック
9		・共有NICが設定されます。	□
10		■共有FCポートの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Shared FC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
11		・[Enter]キーを押します。	□
12		・「共有FCポート」を選択し、[Enter]キーを押します。	□

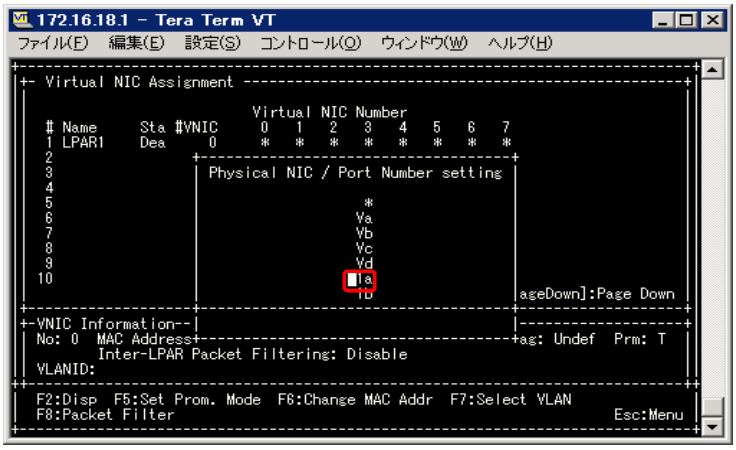
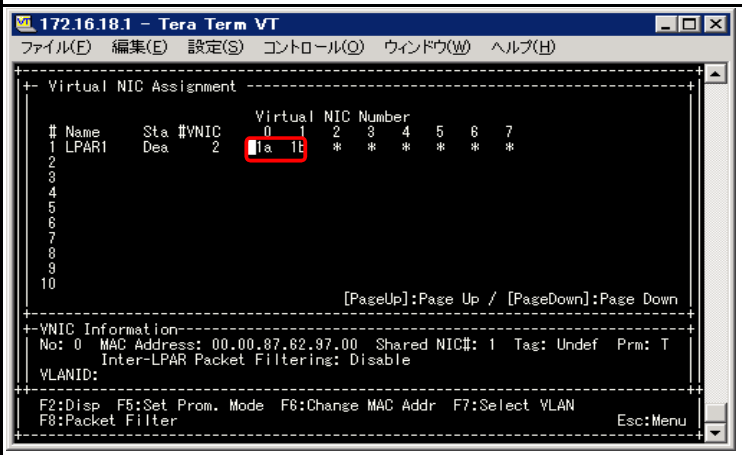
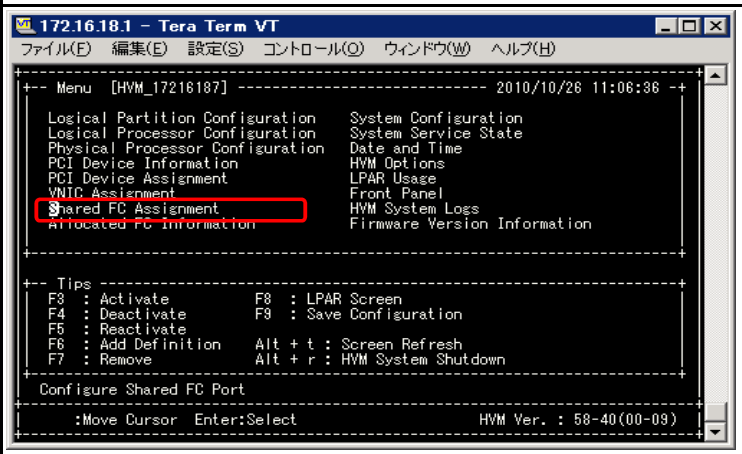
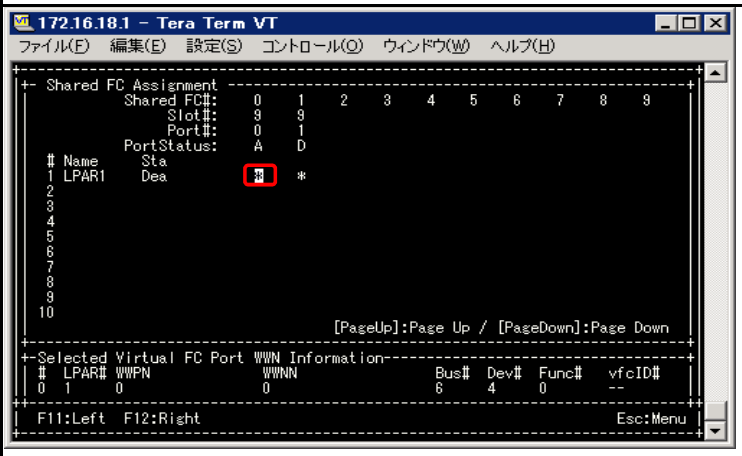
No.	画面	操作	チェック
13		・共有FCポートが設定されます。	□
14		■HVM構成情報の保存 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・[F9]キーを押し、HVM構成情報を保存します。 ・HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。	□
15		・HVM構成情報が保存されます。	□
16		・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□

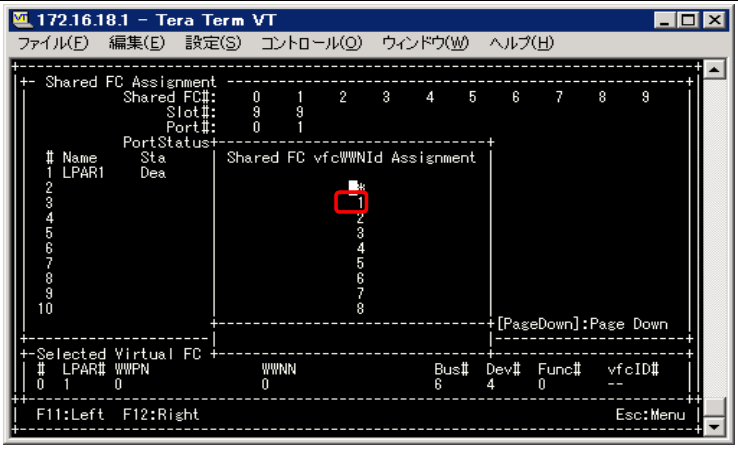
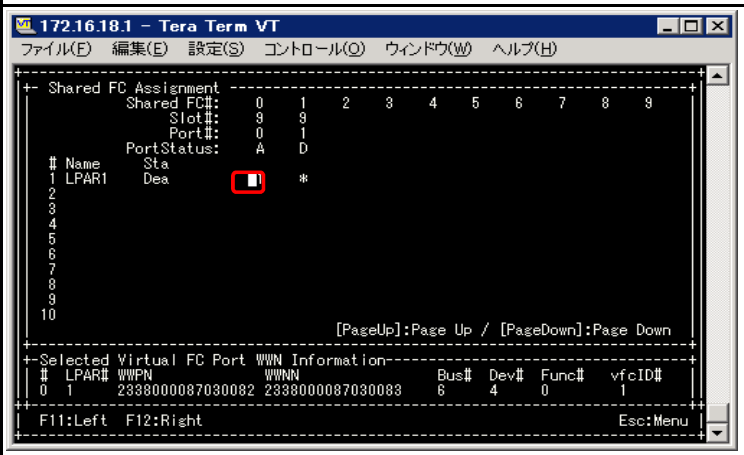
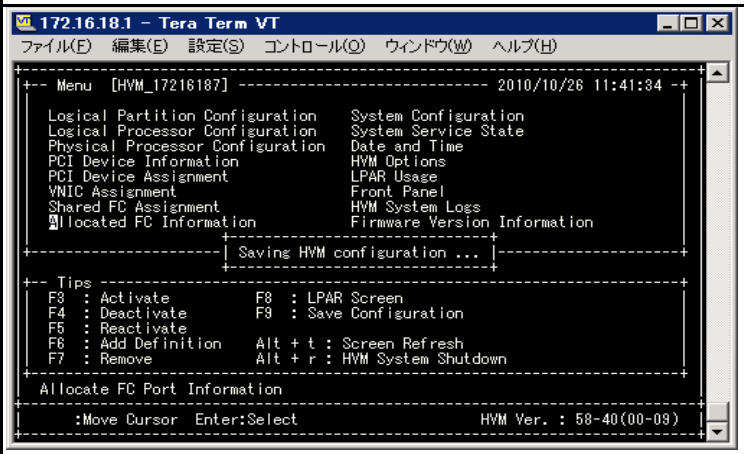
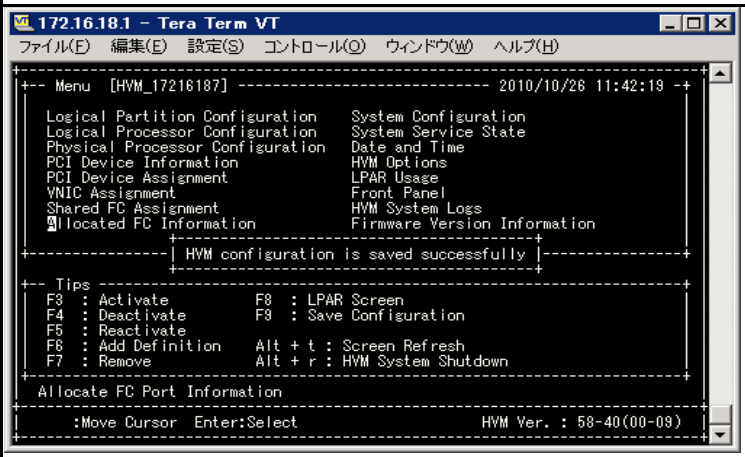
No.	画面	操作	チェック
17		■LPARの起動 ・[F3]キーを押し、LPARをActします。	□
18		・[Continue]を選択します。	□

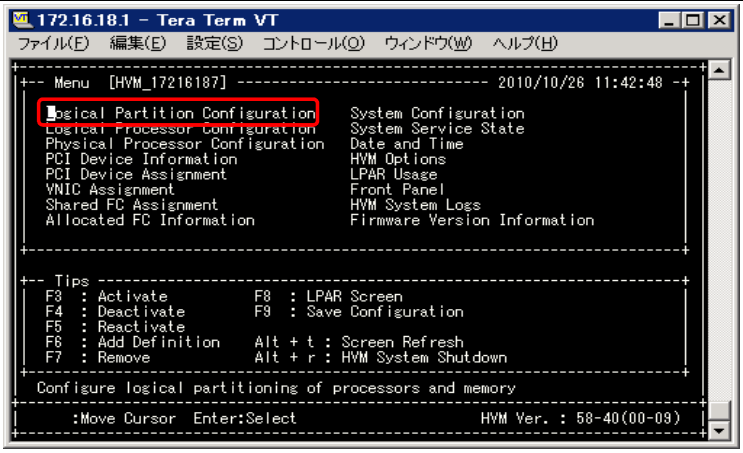
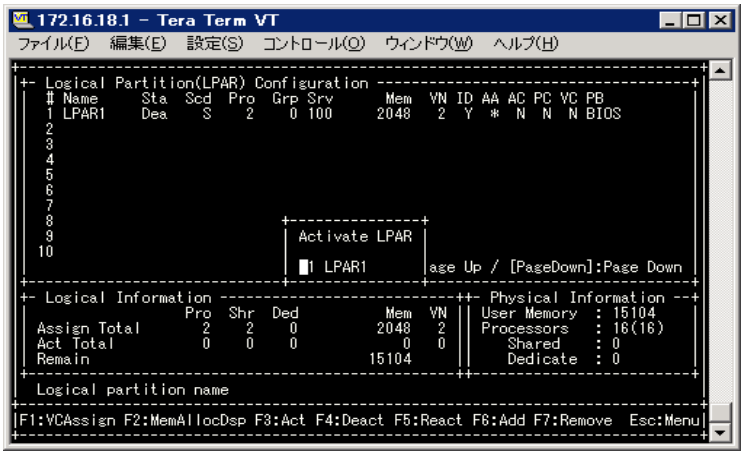
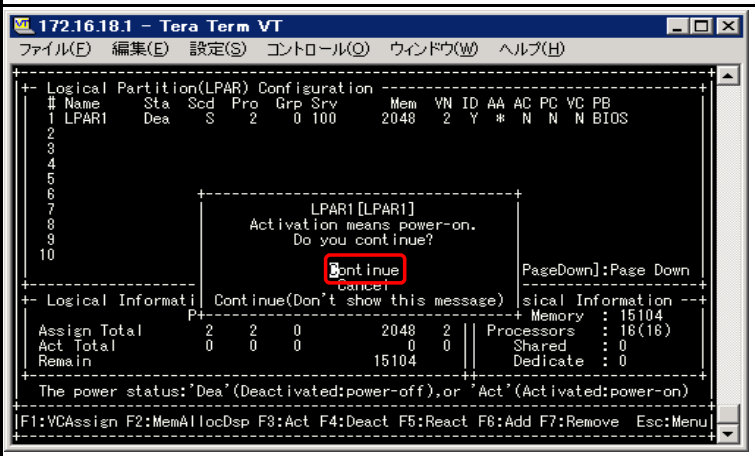
1．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
2		・[F6]キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
3		・当該LPARの「Name」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「LPAR名称」を入力します。	☐
4		■スケジューリングモードの設定 ・「Scd」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「S」を選択します。	☐

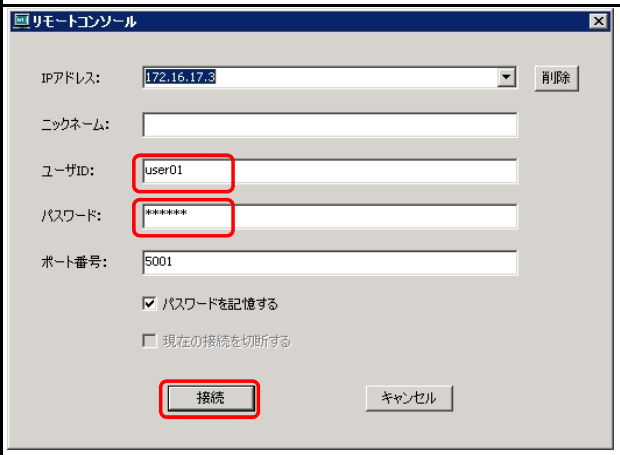
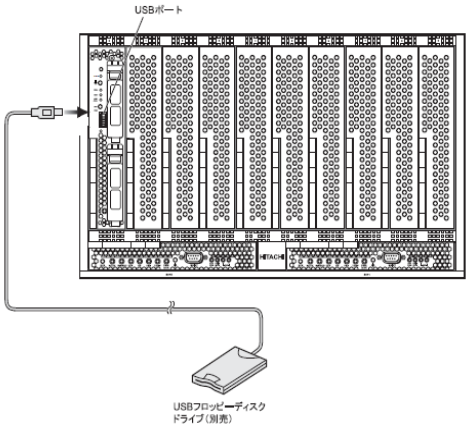
5		■プロセッサ数の設定 ・「Pro」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2」を選択します。	☐
6		■メモリサイズの設定 ・「Mem」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2048」を選択します。	☐
7		■共有NICの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・VNIC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
8		・[Enter]キーを押します。	☐

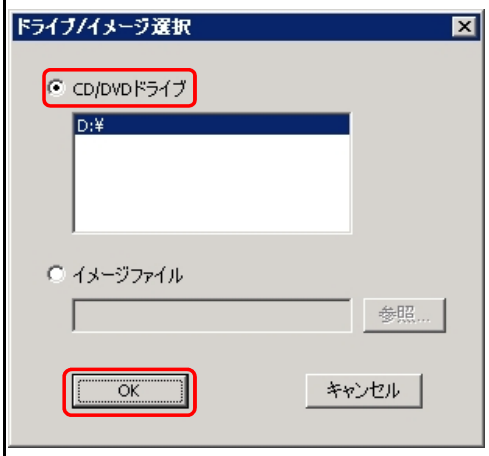
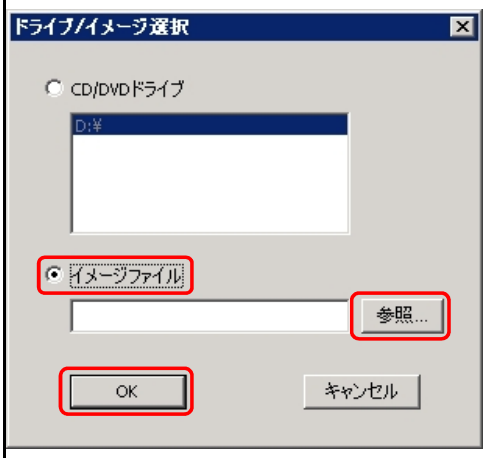
9		・「1a」を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
10		・共有NICが設定されます。	☐
11		■共有FCポートの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Shared FC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
12		・[Enter]キーを押します。	☐

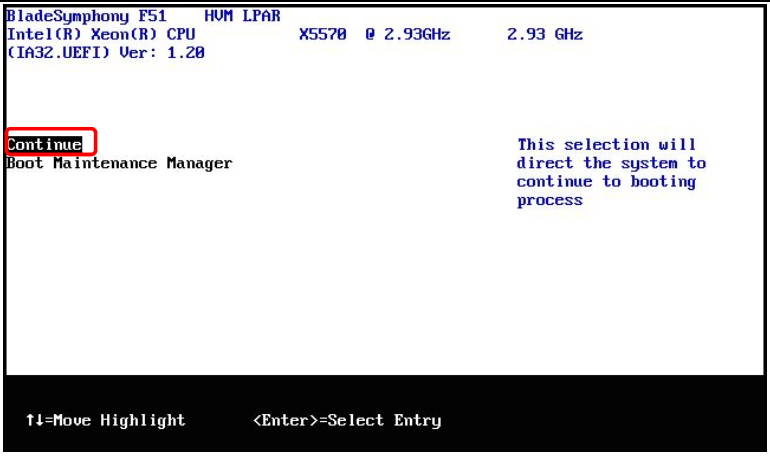
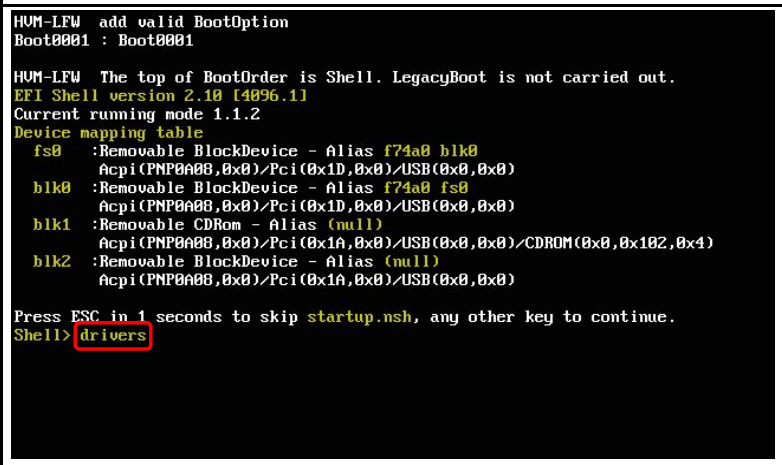
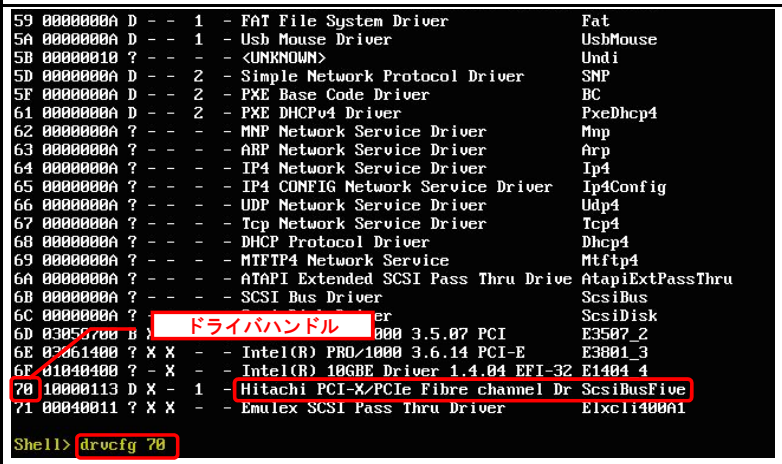
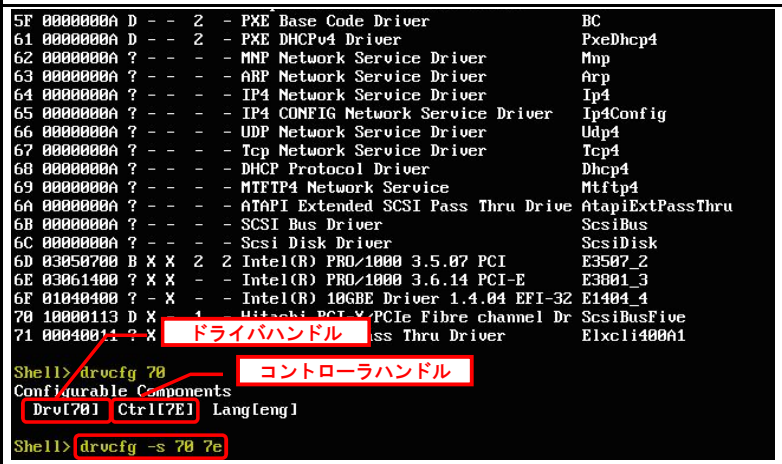
13		・「共有FCポート」を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
14		・共有FCポートが設定されます。	☐
15		■HVM構成情報の保存 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・[F9]キーを押し、HVM構成情報を保存します。 ・HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。	☐
16		・HVM構成情報が保存されます。	☐

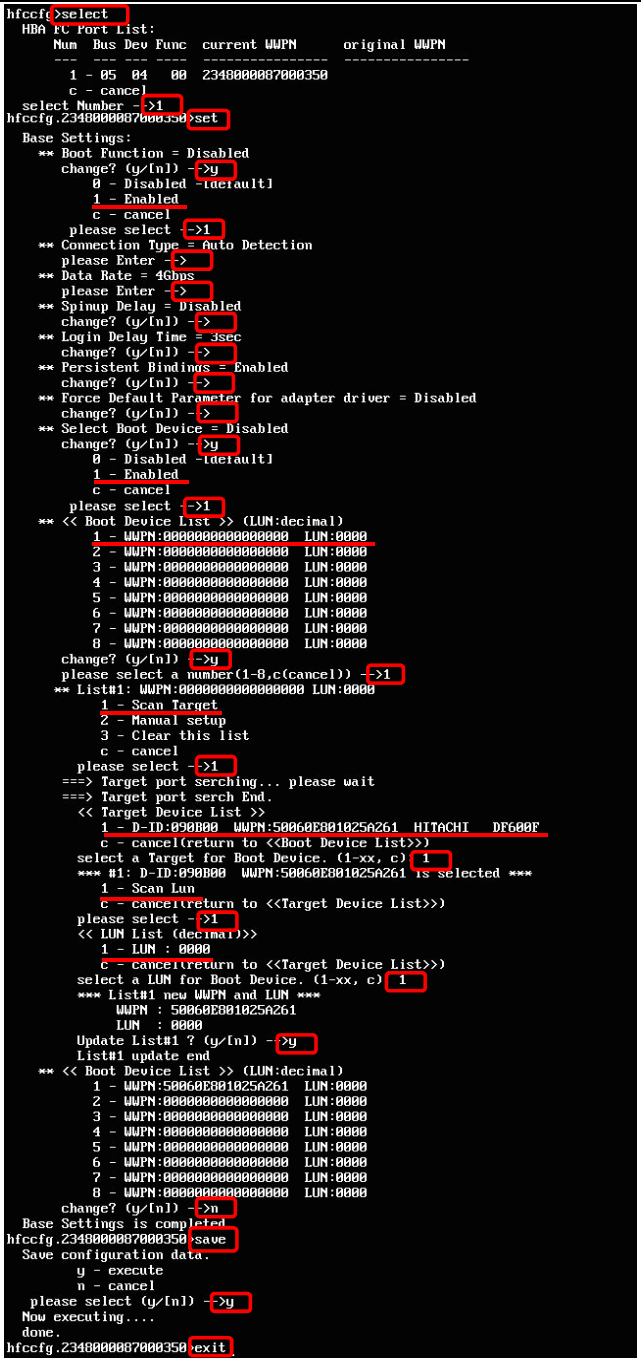
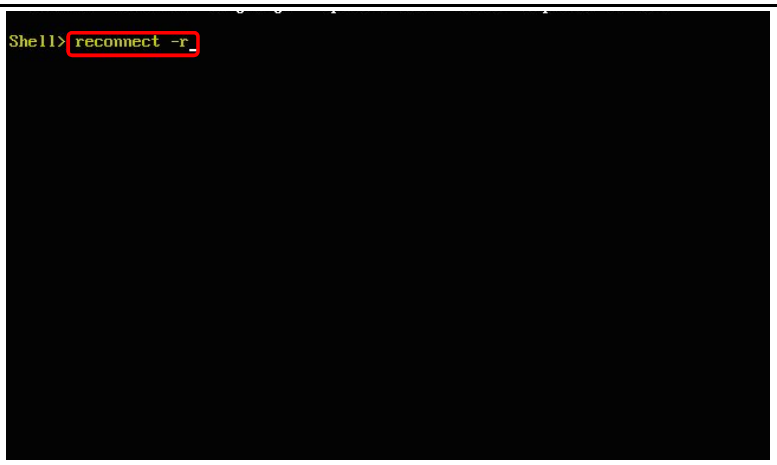
17		・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
18		■LPARの起動 ・[F3]キーを押し、LPARをActします。	☐
19		・[Continue]を選択します。	☐

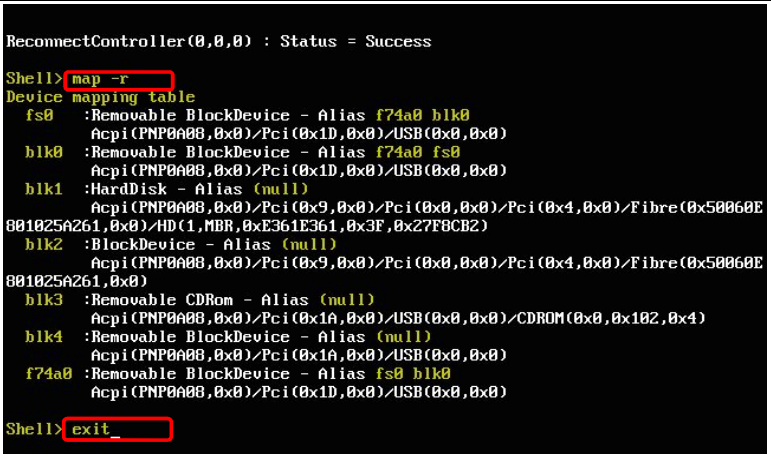
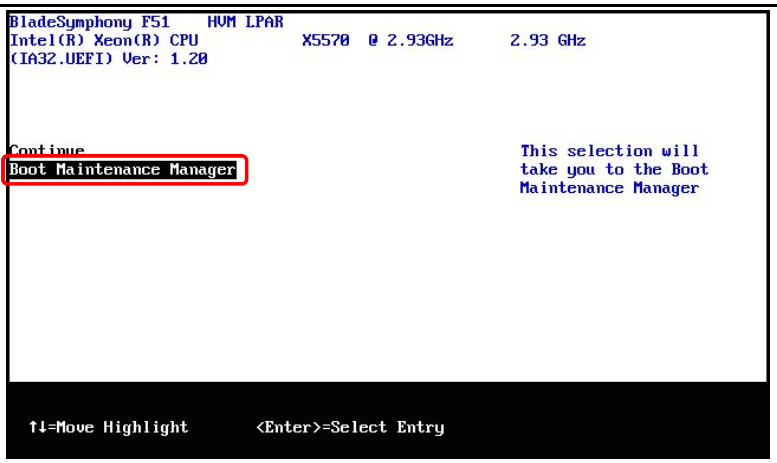
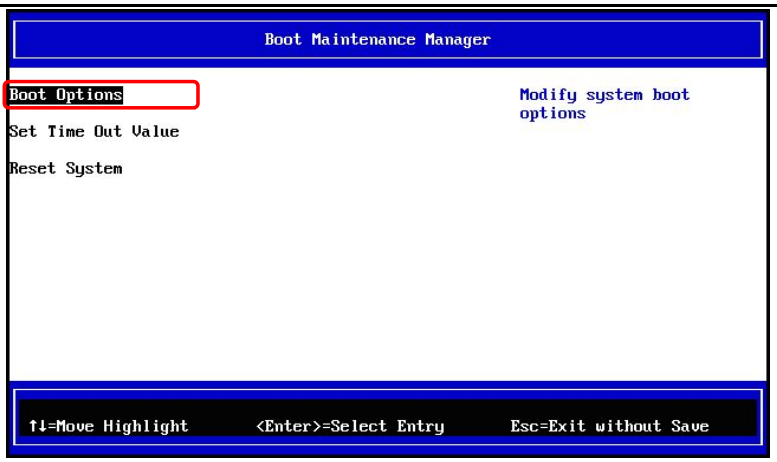
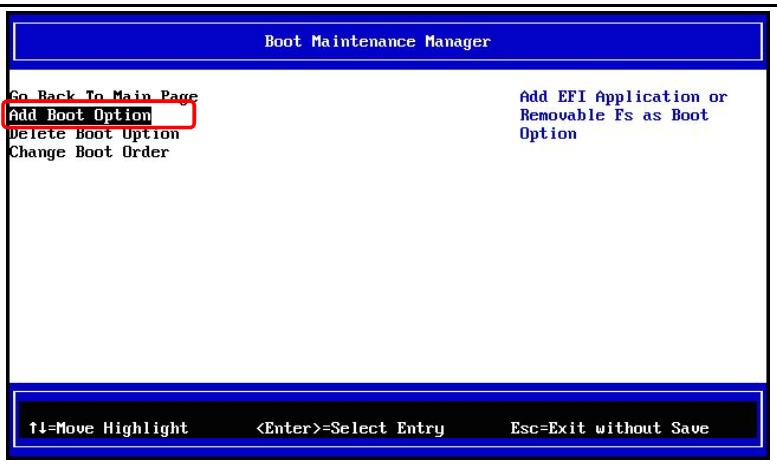
1．5 Windows Server 2003 R2のインストール

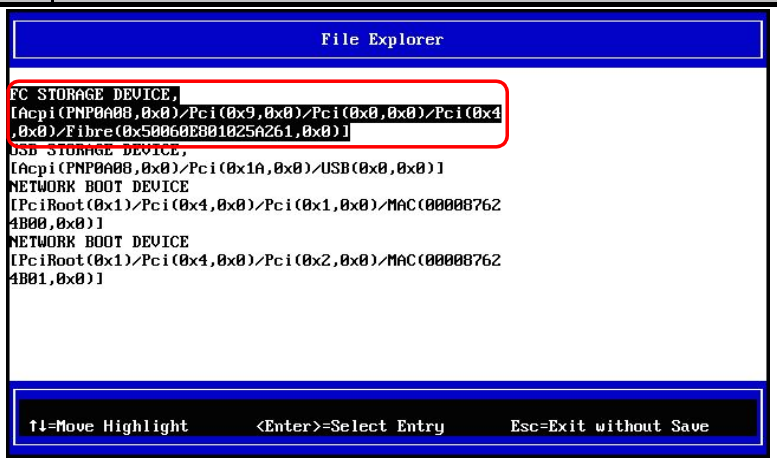
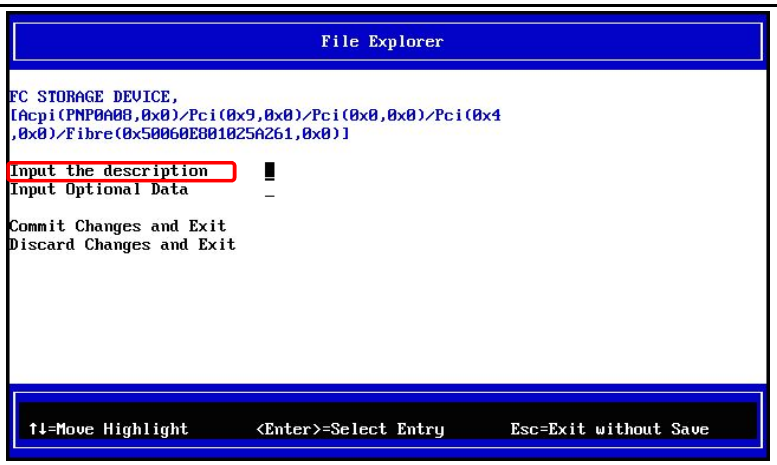
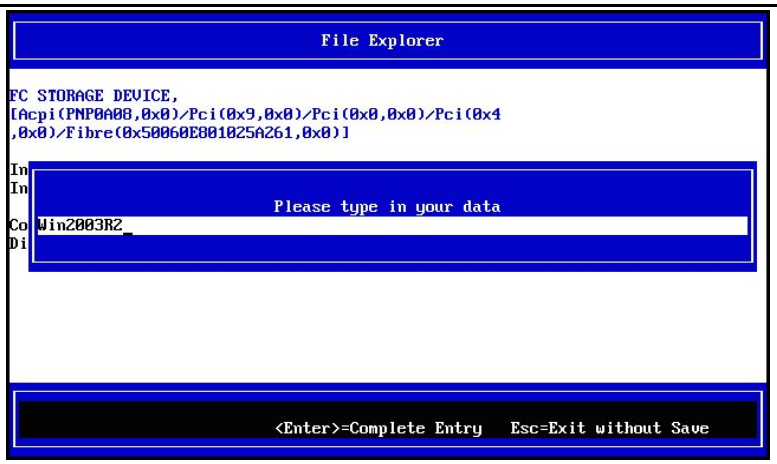
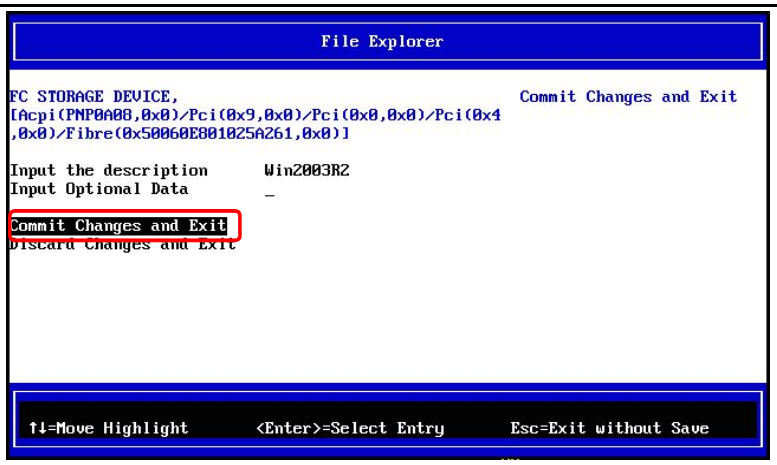
No.		画面	操作	チェック
1		**コンソールの切替：リモートコンソール**		□
2			■リモートコンソールに接続 ・ユーザID、パスワードを入力します。 ・「接続」を押します。	□
3	項目3は 3-1 or 3-2の内1つを満たせばよい **共通設定**		・フロント USBにFDドライブを挿し、ドライバーFDを入れます。	□

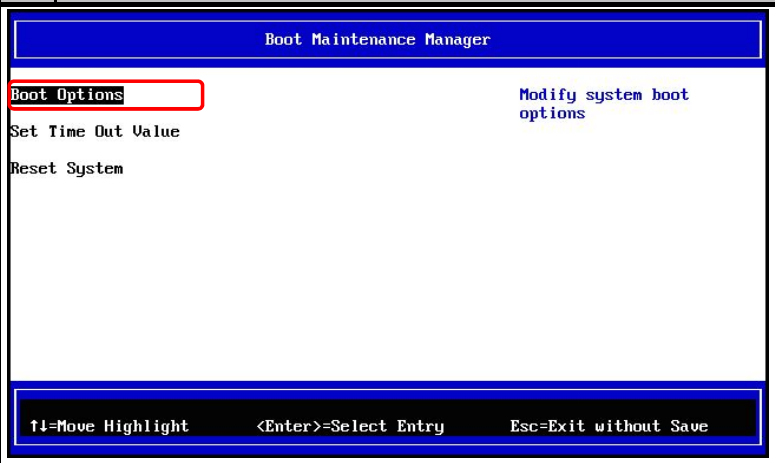
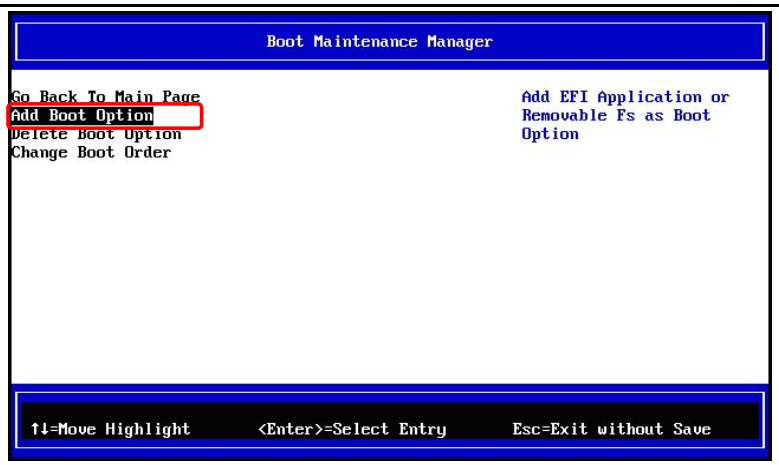
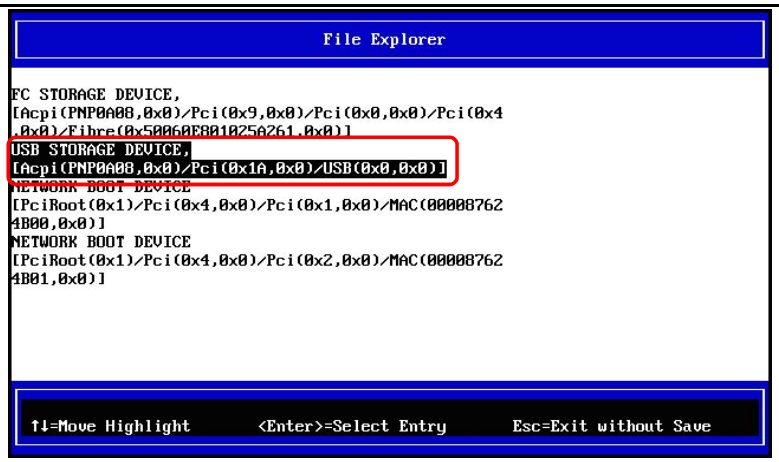
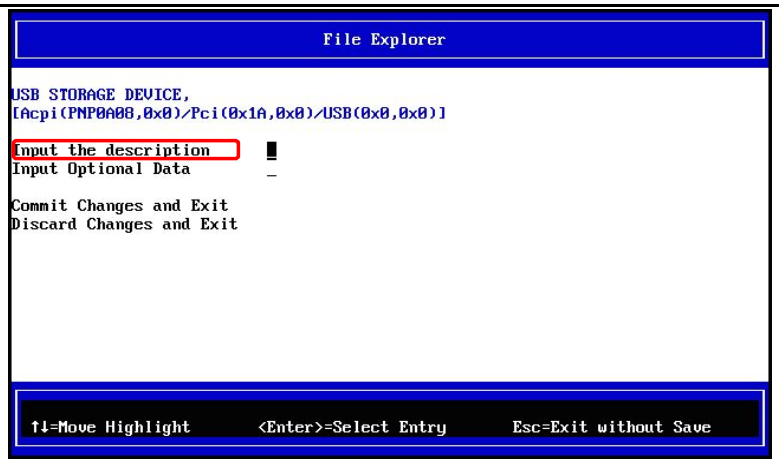
No.		画面	操作	チェック
3	3-1	【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】  	・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD選択]を選択します。 ・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブを選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・コンソール端末のCD/DVDドライブにWindows Server 2003 R2メディア(1/2)を入れます。 ・コンソール端末のFDドライブにドライバーFDを入れます。	□
	3-2	【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】  	・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD選択]を選択します。 ・ドライブ/イメージ選択でイメージファイルを選択します。 ・「参照」を押し、Windows Server 2003 R2メディア(1/2)(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。	□

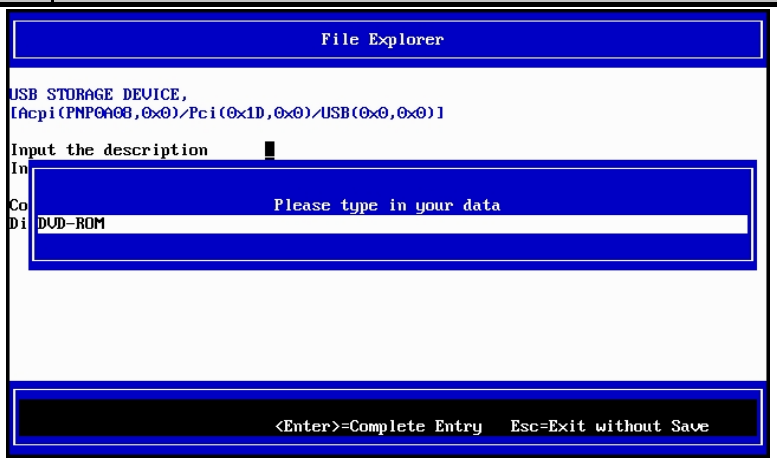
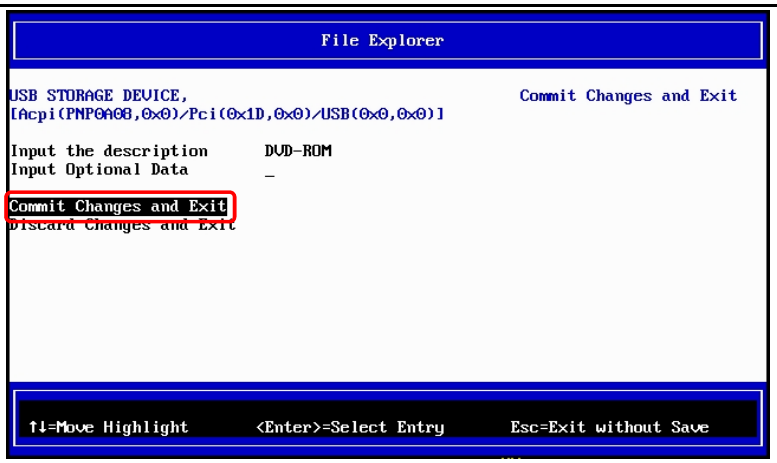
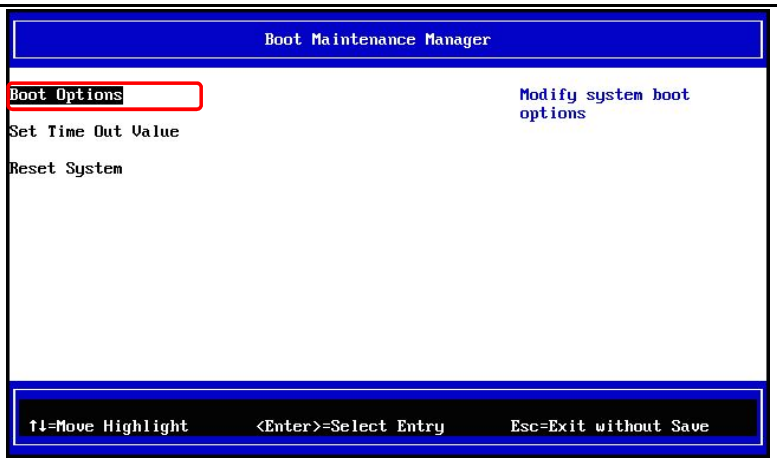
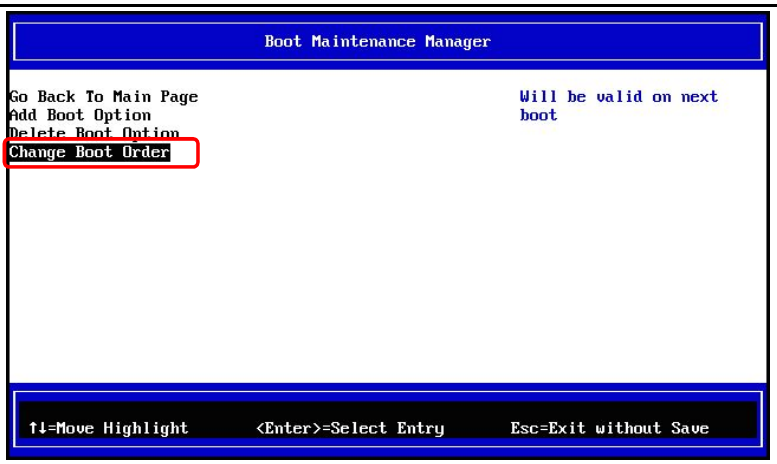
No.	画面	操作	チェック
4		■共有FCの設定 ・[Continue]を選択します。	□
5		・「drivers」を入力します。	□
6		・「drvcfg [ドライバハンドル]」を入力します。	□
7		・「drvcfg -s [ドライバハンドル] [コントローラハンドル]」を入力します。	□

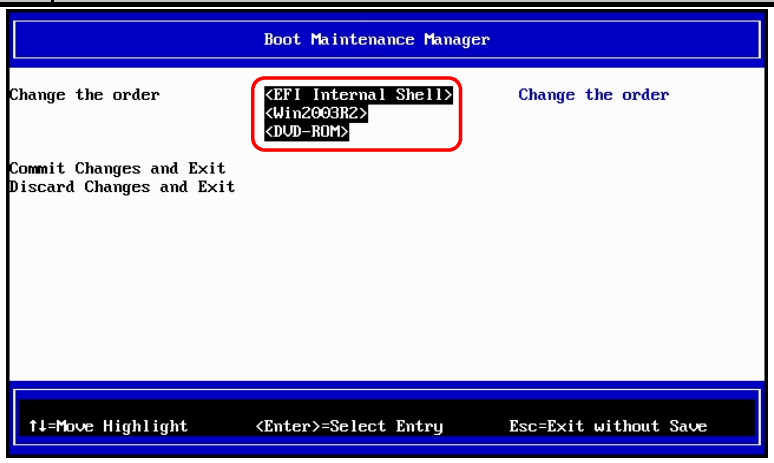
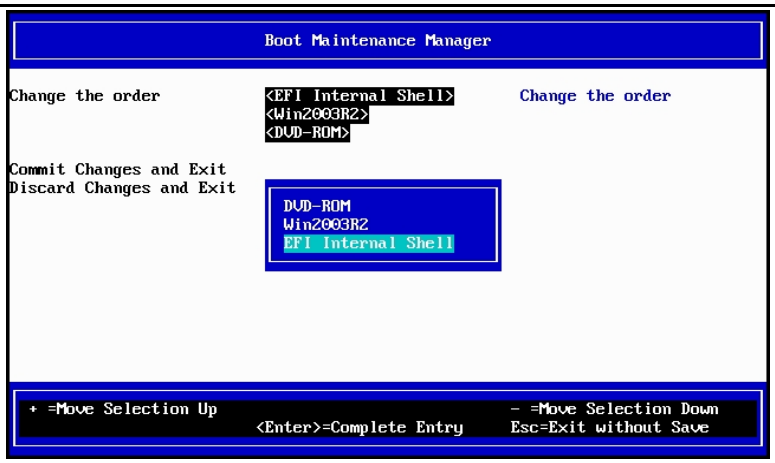
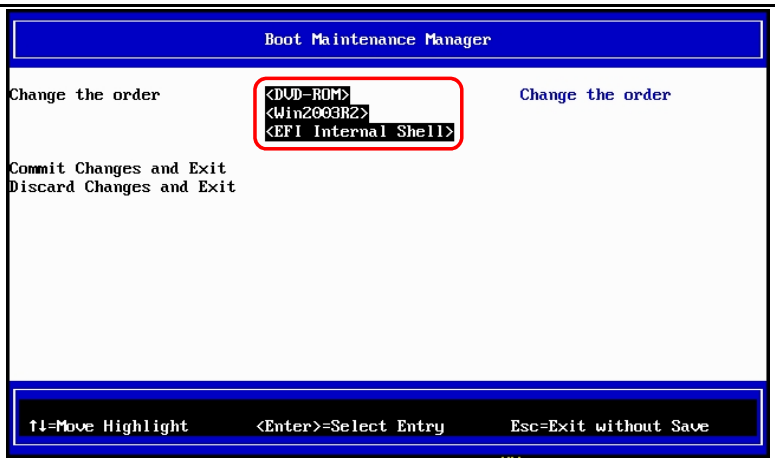
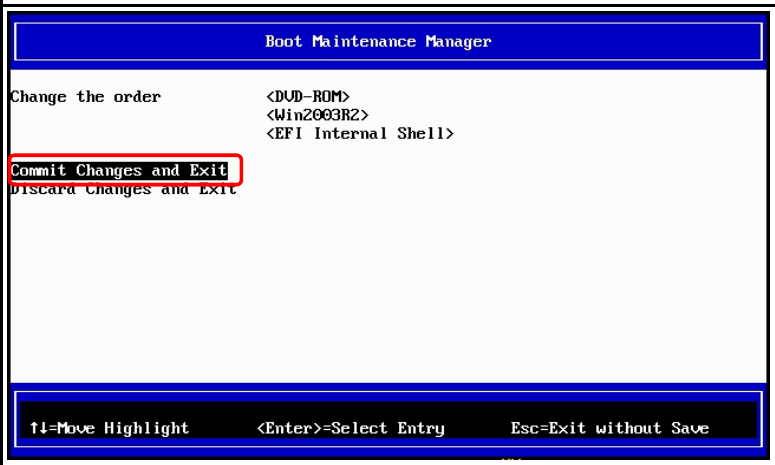
No.		画面	操作	チェック
8			・「select」を入力します。 ・左記のように入力します。 ・「exit」を入力します。	☐
9			・「reconnect -r」を入力します。	☐

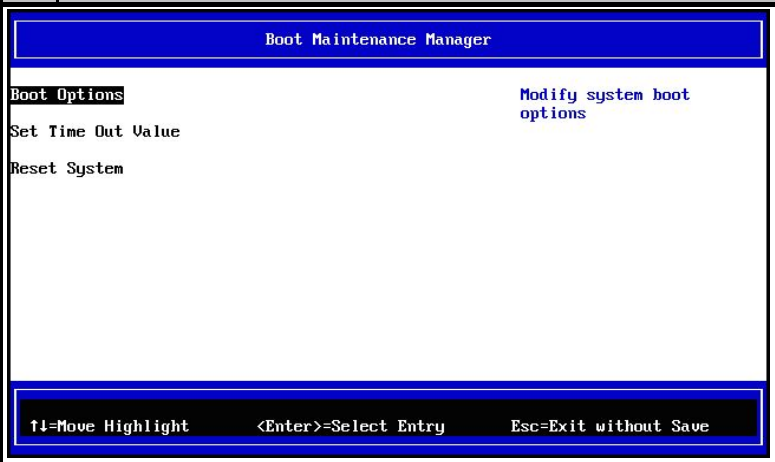
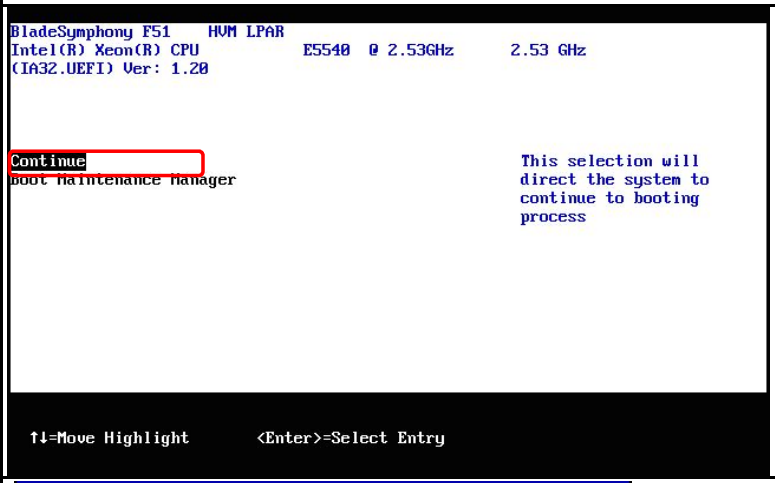
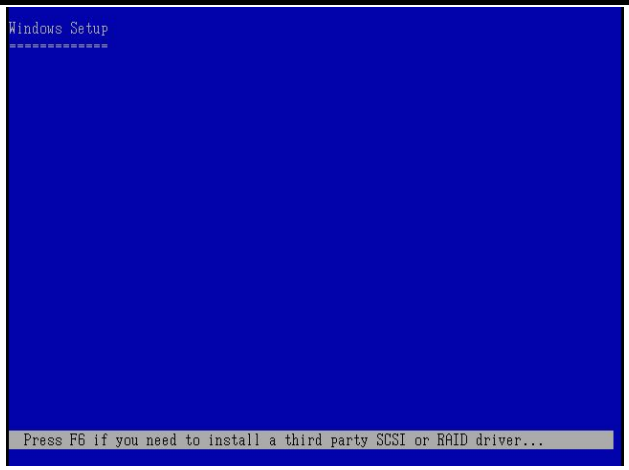
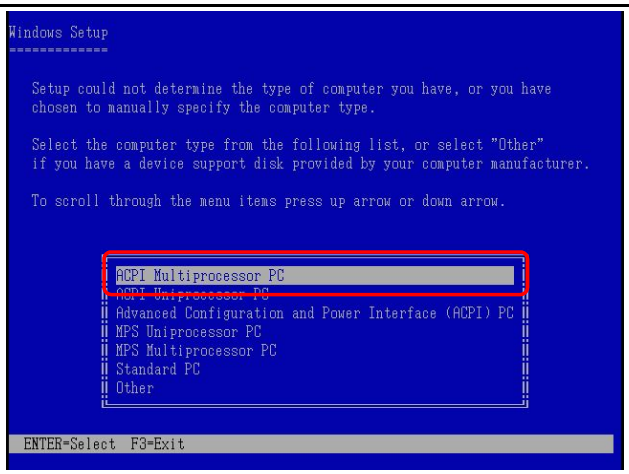
No.		画面	操作	チェック
10			・「map -r」を入力します。 ・「exit」を入力します。	□
11			■ブートオーダの設定 ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。	□
12			・「Boot Options」を選択します。	□
13			・「Add Boot Option」を選択します。	□

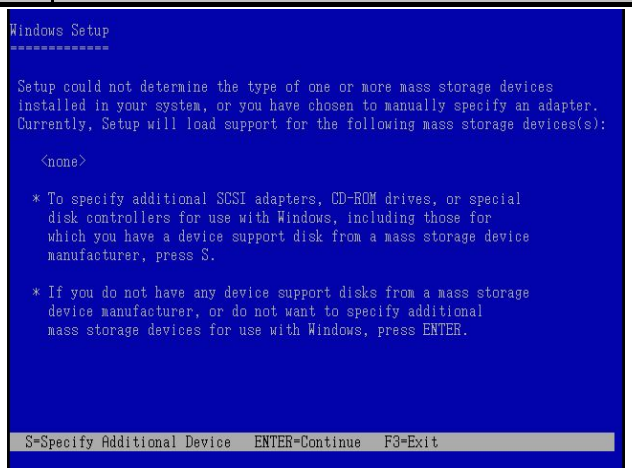
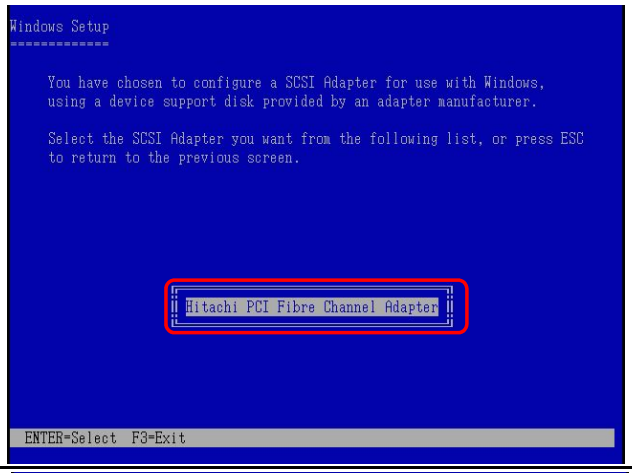
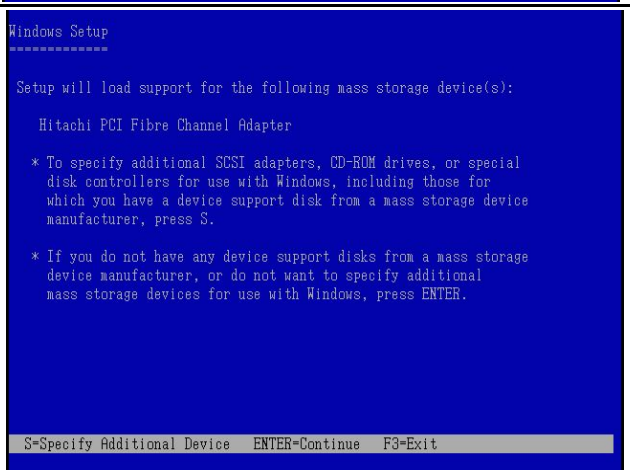
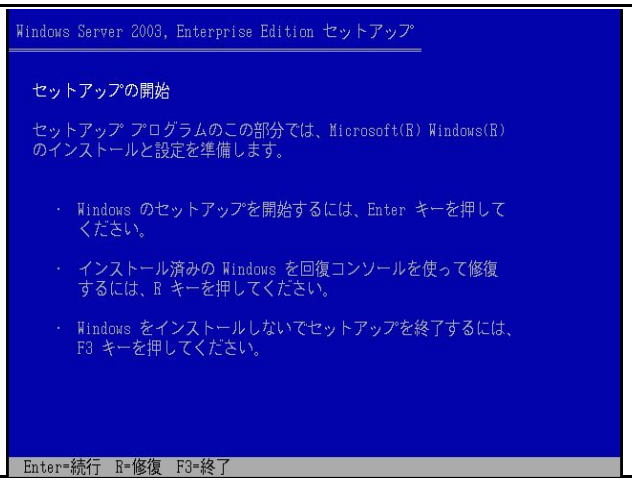
No.	画面	操作	チェック
14		・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。	☐
15		・「Input the description」を選択します。	☐
16		・ブートデバイス名を入力します。	☐
17		・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐

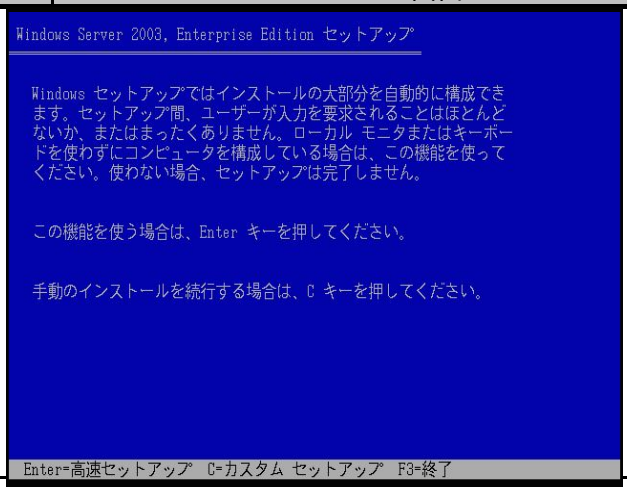
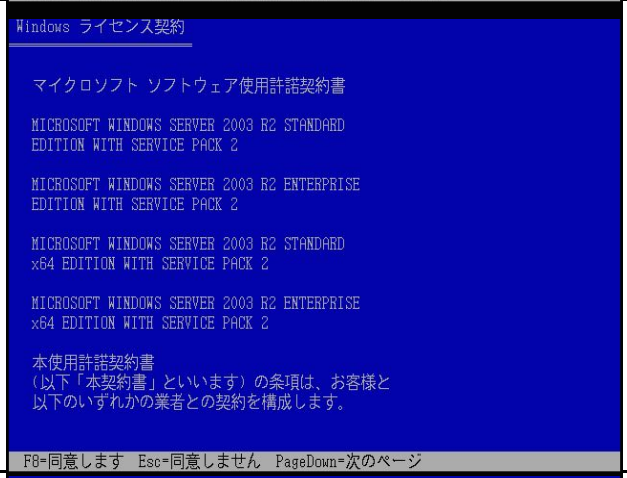
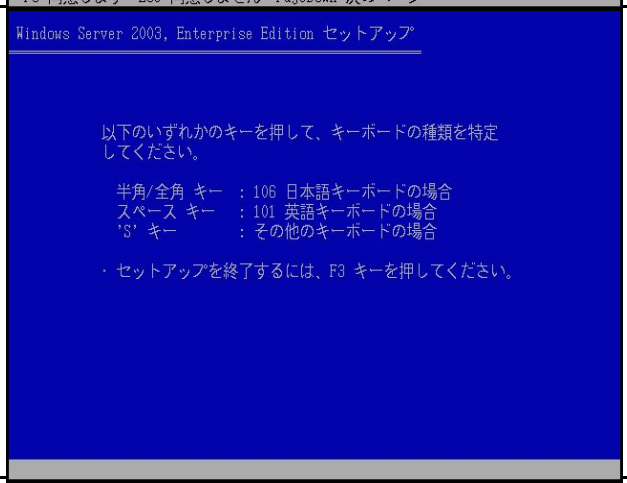
No.	画面	操作	チェック
18		・「Boot Options」を選択します。	☐
19		・「Add Boot Option」を選択します。	☐
20		・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。	☐
21		・「Input the description」を選択します。	☐

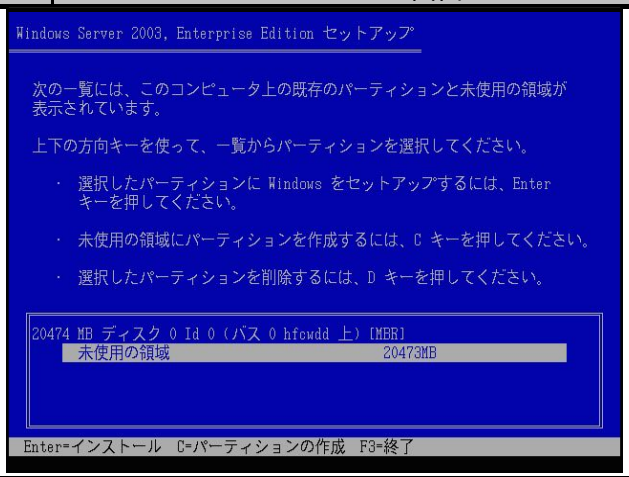
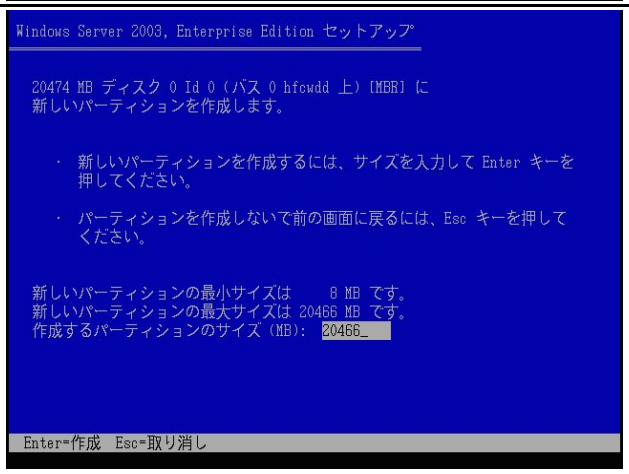
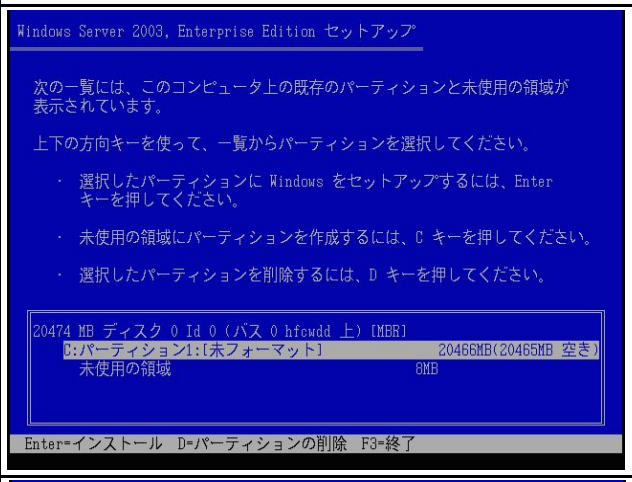
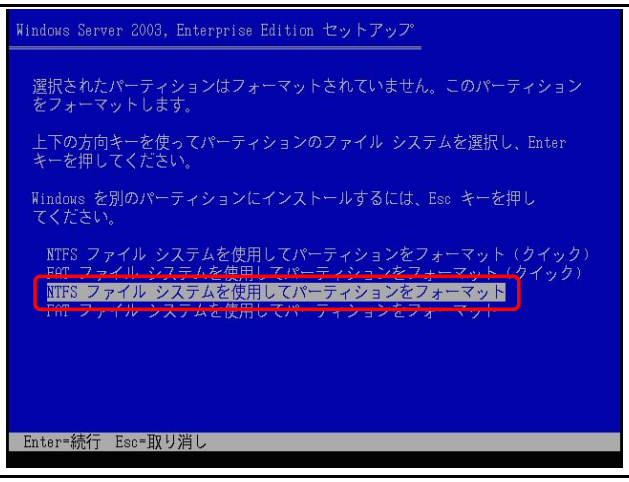
No.		画面	操作	チェック
22		・ブートデバイス名を入力します。	☐
23		・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐
24		・「Boot Options」を選択します。	☐
25		・「Change Boot Order」を選択します。	☐

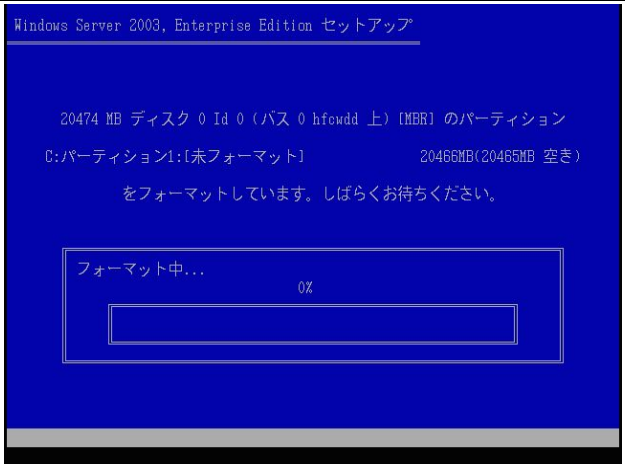
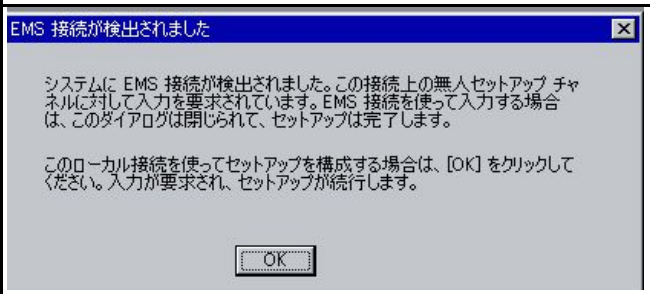
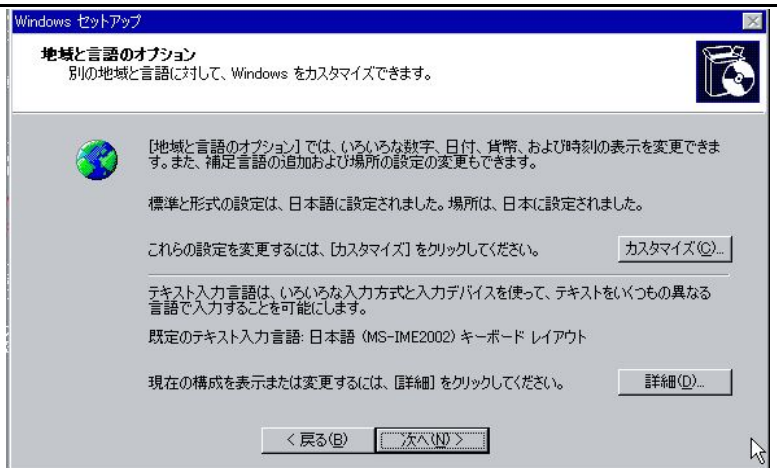
No.		画面	操作	チェック
26			・[Enter]キーを押します。	☐
27			・[Shift]+[+]または[-]キーにより、ブートの順番を変更します。	☐
28			・以下の順番になっていることを確認します。 DVD-ROM Win2003R2 EFI Internal Shell	☐
29			・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐

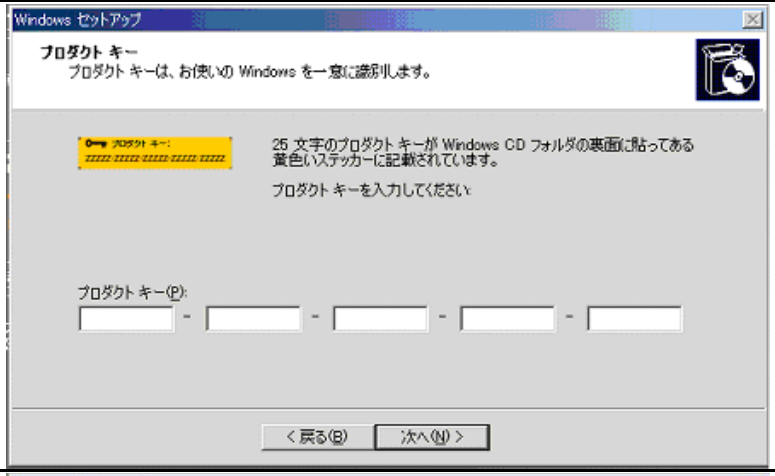
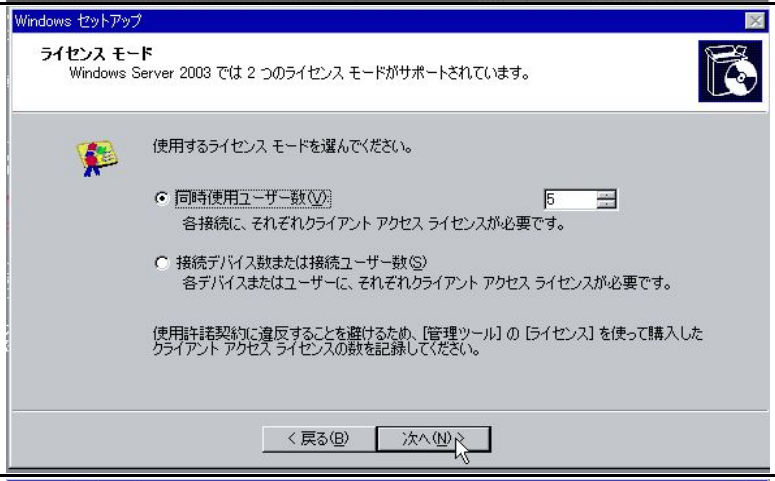
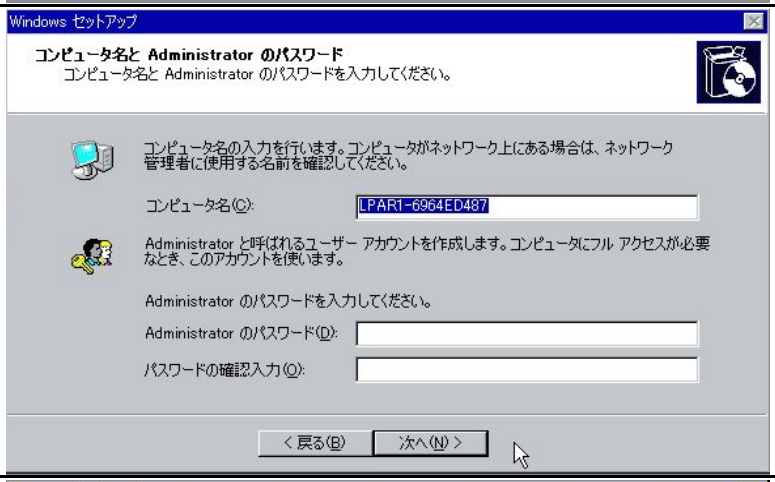
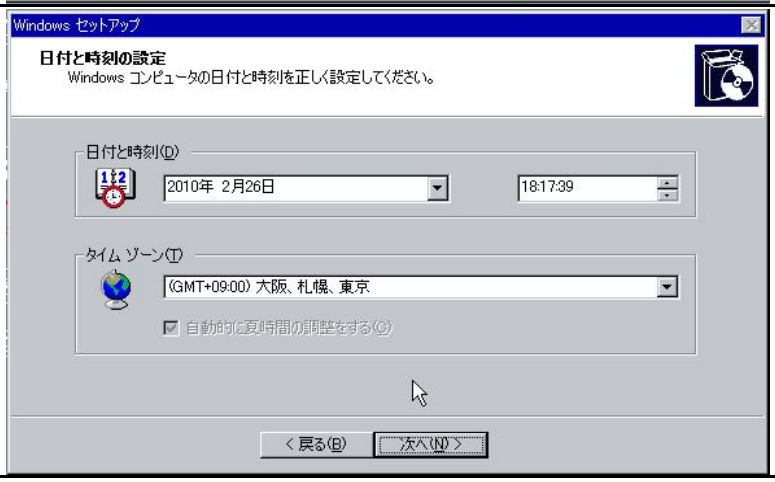
No.	画面	操作	チェック
30		・[Esc]キーを押します。	□
31		・[Continue]を選択します。	□
32		■OSのインストール ・左記の画面が表示されるまで、約3分かかります。 ・「Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されたら、[F5]⇒[F6]キーの順に押します。	□
33		・「ACPI Multiprocessor PC」を選択します。 ※x64の場合は、 「ACPI Multiprocessor x64」を選択します。	□

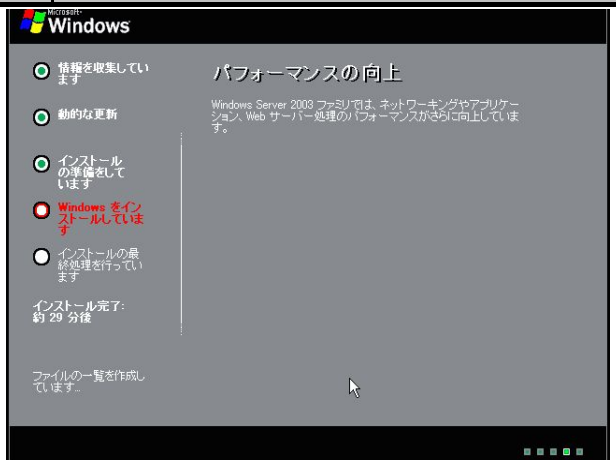
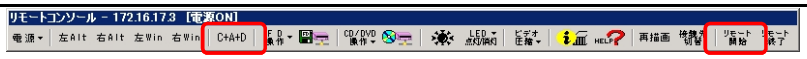
No.	画面	操作	チェック
34		・左記の画面が表示されるまで、約11分かかります。 ・[S]キーを押します。	□
35		・「Hitachi PCI Fibre Channel Adapter」を選択します。	□
36		・左記の画面が表示されるまで、約1分かかります。 ・[Enter]キーを押します。	□
37		・左記の画面が表示されるまで、約8分かかります。 ・[Enter]キーを押します。	□

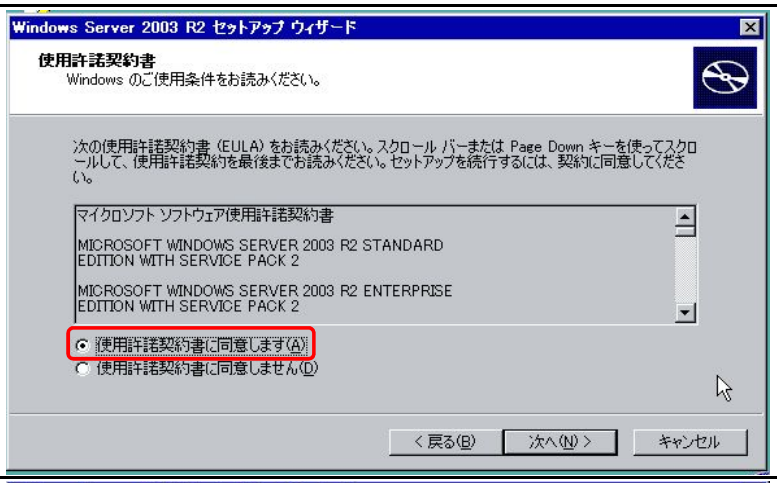
No.	画面	操作	チェック
38		・[C]キーを押します。	□
39		・[F8]キーを押します。	□
40		・[半角/全角]キーを押します。	□
41		・[Y]キーを押します。	□

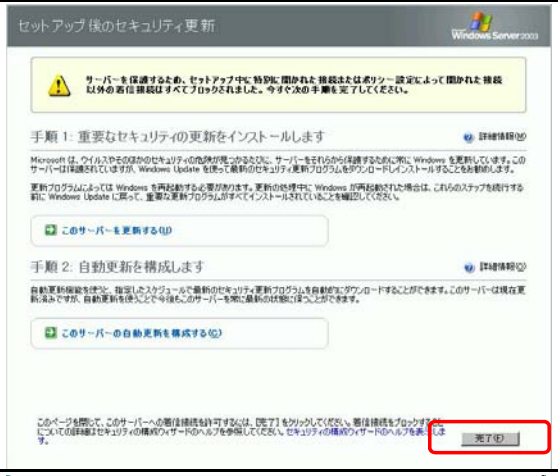
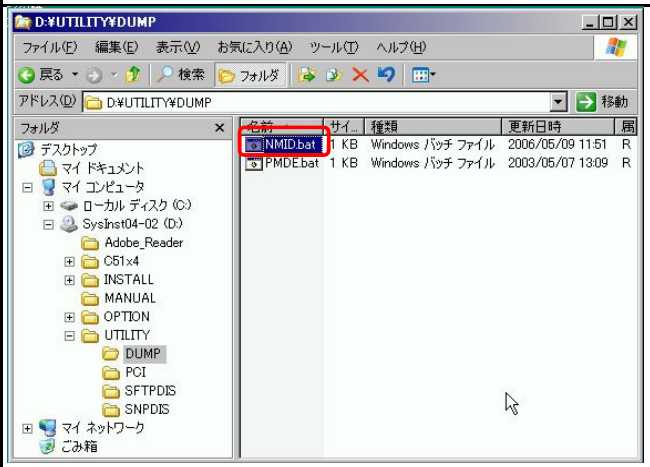
No.	画面	操作	チェック
42		・[C]キーを押します。	□
43		・[Enter]キーを押します。	□
44		・[Enter]キーを押します。	□
45		・左記のように選択し、[Enter]キーを押します。	□

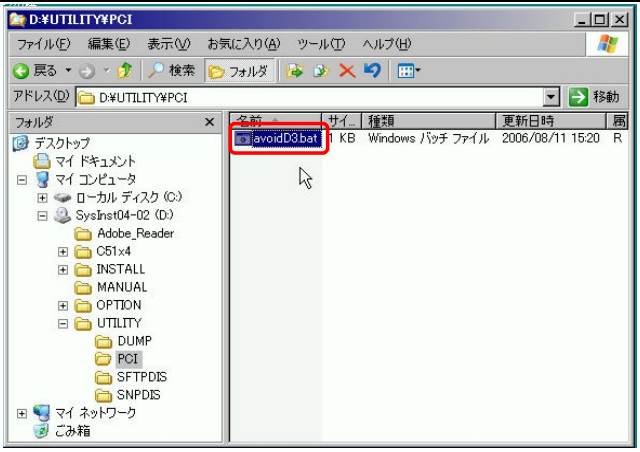
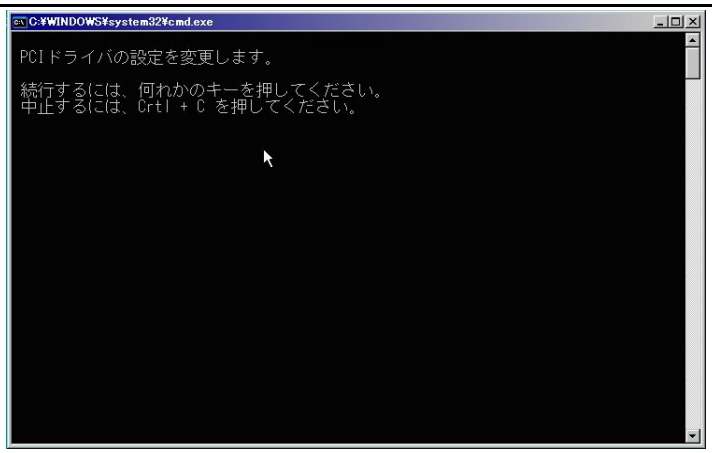
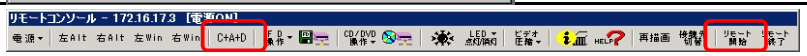
No.	画面	操作	チェック
46		・フォーマット後、ファイルのコピーが完了するまで、約21分かかります。 ・完了すると、Windowsが再起動します。	□
47		・[OK]を押します。	□
48		・再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。 ・[次へ]を押します。	□
49		・「名前」と「組織名」を入力し、[次へ]を押します。	□

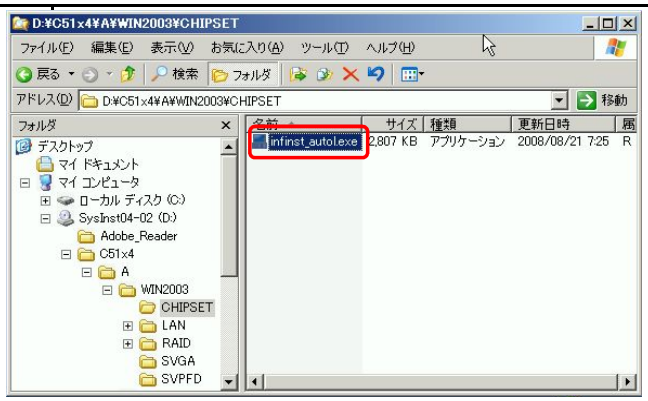
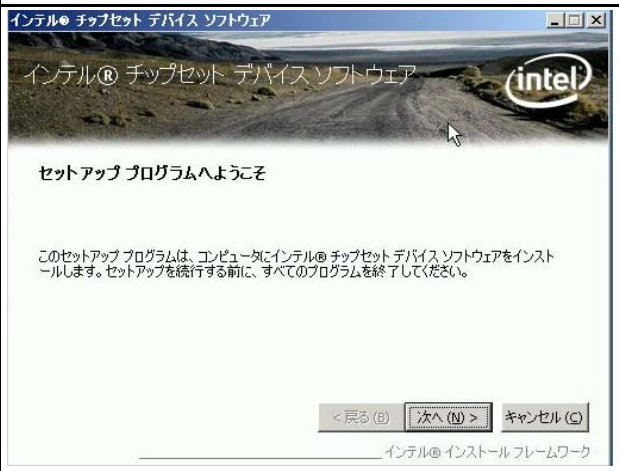
No.		画面	操作	チェック
50			・プロダクトキーを入力します。 ・[次へ]を押します。	□
51			・ライセンスモードを選択します。 ・[次へ]を押します。	□
52			・パスワードを入力します。 ・[次へ]を押します。	□
53			・[次へ]を押します。	□

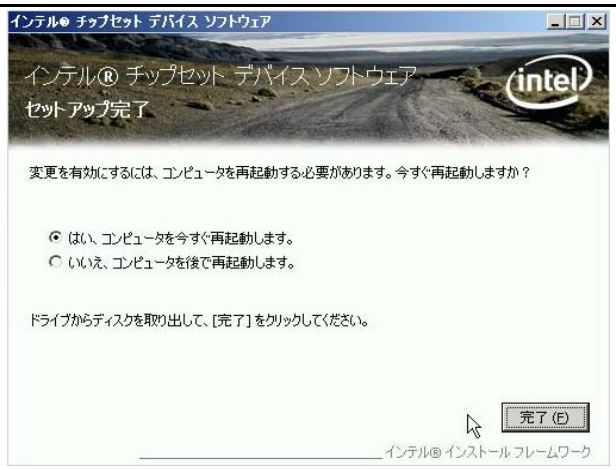
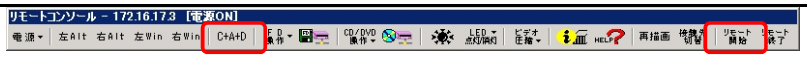
No.		画面	操作	チェック
54			・インストールが完了するまで、約12分かかります。 ・完了すると、Windowsが再起動します。	☐
55			・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[C+A+D]を実行します。 ・[リモート開始]を実行します。	☐
56			・Windowsにログオンします。	☐
57			**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・Windows Server 2003 R2メディア(2/2)に入れえます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、Windows Server 2003 R2メディア(2/2)(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[OK]を押します。	☐

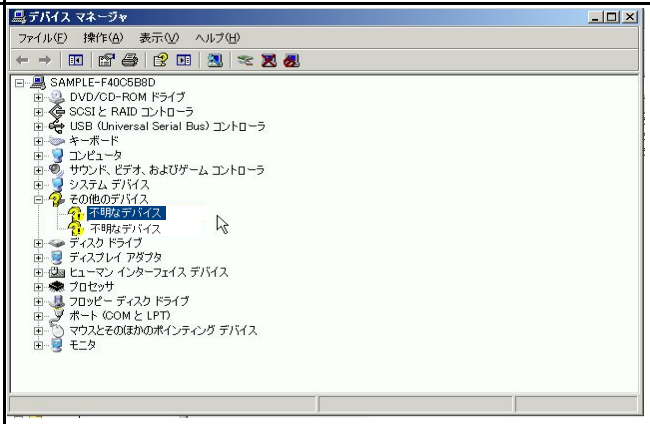
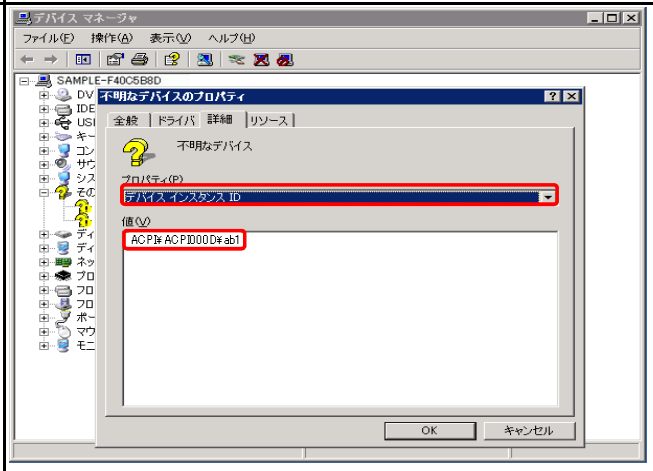
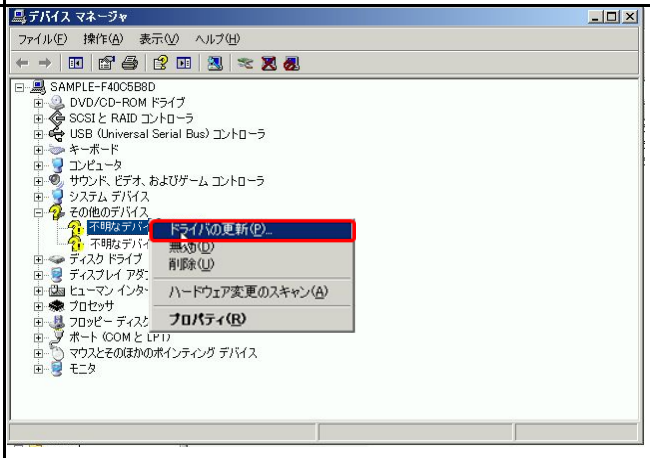
No.	画面	操作	チェック
58		・[次へ]を押します。	□
59		・「使用許諾契約書に同意します」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□
60		・[次へ]を押します。	□
61		・[完了]を押します。	□

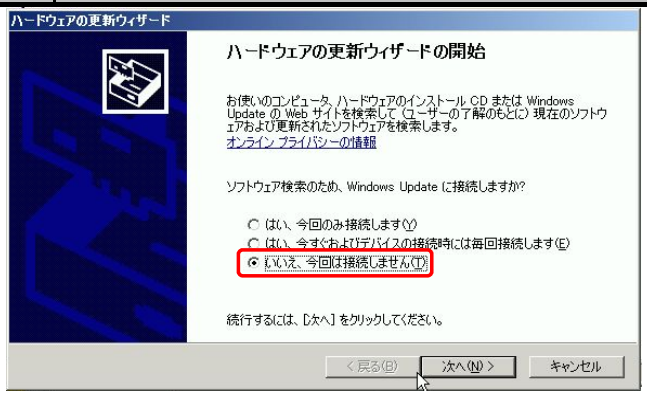
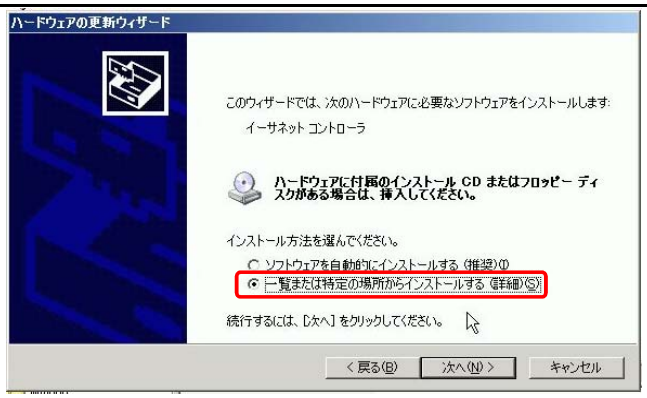
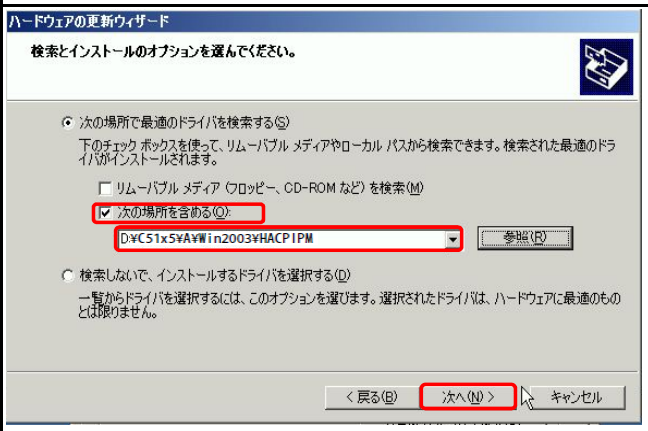
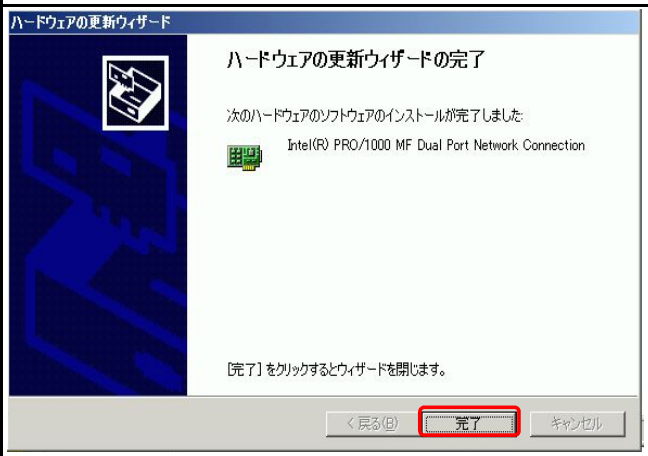
No.	画面	操作	チェック
62		・「セットアップ後のセキュリティ更新」を設定します。 ・[完了]を押します。	□
63		・(右クリック)-[プロパティ]-[設定]で左記のように設定します。 ・[OK]を押します。	□
64		**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・D:¥UTILITY¥DUMP¥NMID.batを実行します。	□
65		・任意のキーを押します。	□

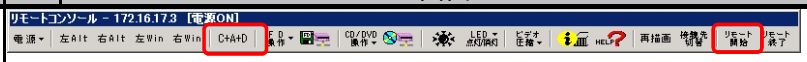
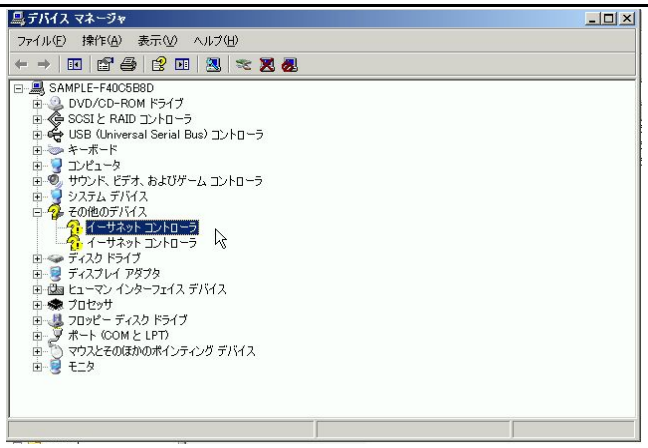
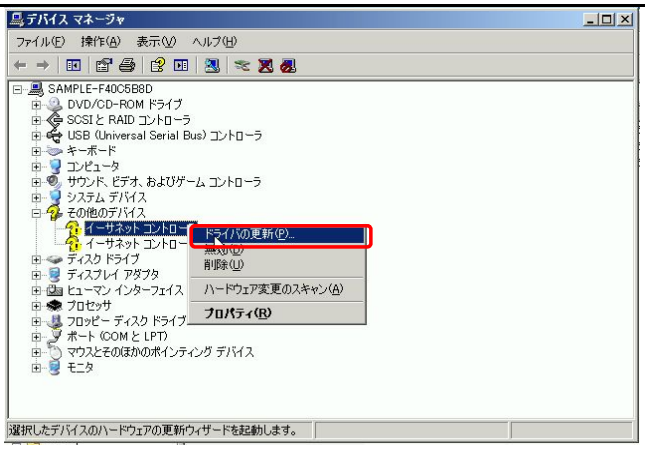
No.	画面	操作	チェック
66		・D:¥UTILITY¥PCI¥avoidD3.batを実行します。	□
67		・任意のキーを押します。	□
68	 	**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 ・Windowsを再起動します。	□
69		・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[C+A+D]を実行します。 ・[リモート開始]を実行します。	□

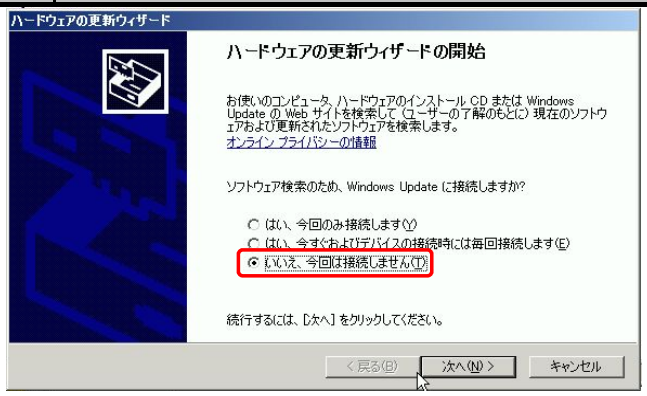
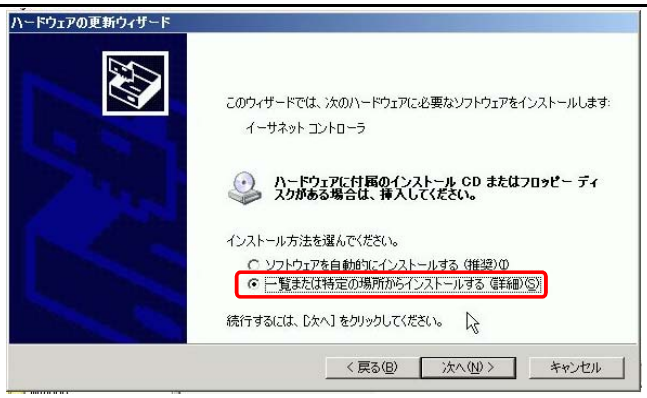
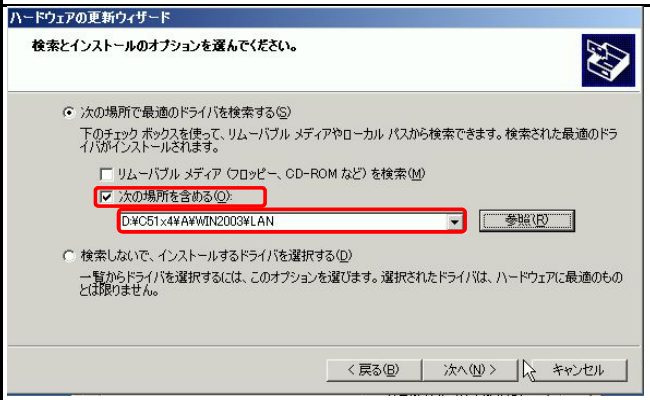
No.	画面	操作	チェック
70		・Windowsにログオンします。	□
71		■チップセットドライバのインストール **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 **P4モデルの場合** ・D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。 **P5モデルの場合** ・D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。	□
72		・[次へ]を押します。	□
73		・[はい]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
74		・[次へ]を押します。	□
75		・[次へ]を押します。	□
76		・[完了]ボタンを押します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。	□
77		・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[C+A+D]を実行します。 ・[リモート開始]を実行します。	□

No.	画面	操作	チェック
78		・Windowsにログオンします。	□
79		**P4モデルの場合は手順88へ進みます。** ■LAN ドライバのインストール **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[スタート]-[コントロールパネル]-[システム]を択します。 ・[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をククします。	□
80		″？不明なデバイス″が表示されている場合は、その[プロパティ]を開き[詳細]タブで″デバイスインスタンスID″ を確認します。 値が″ACPI¥ACPI000D¥xxx″(xxxは任意の英数記号)であることを確認します。 **上記以外の値であればは手順88へ進みます。**	□
81		・ネットワークアダプタを選択し、右クリックで「ドバの更新」を選択します。	□

No.	画面	操作	チェック
82		・「いいえ、今回は接続しません」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□
83		・「一覧または特定の場所からインストールする」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□
84		・「次の場所を含める」を選択します。 ・D:¥C51x5¥A¥Win2003¥HACPIPM選択します。 ・[次へ]を押します。 ※[セキュリティの警告 - ドライバのインストー のダイアログが表示された場合は、[はい] ボタを選択してインストールを進めます。	□
85		・[完了]を押します。 ※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。	□

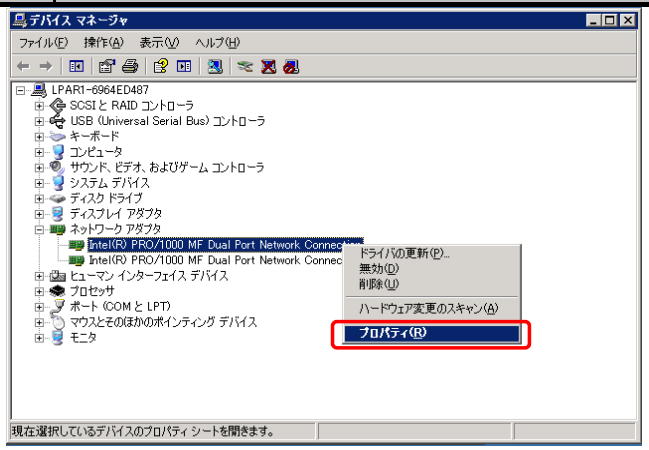
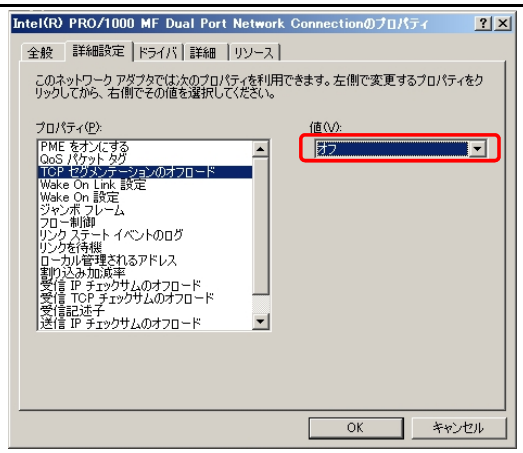
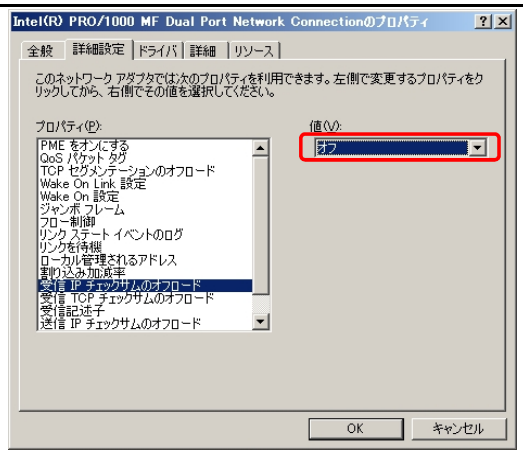
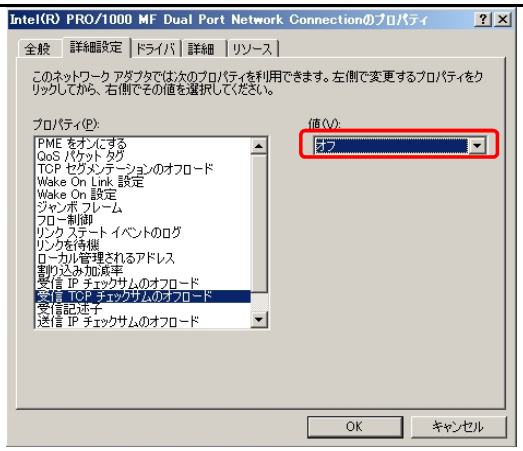
No.	画面	操作	チェック
86		・Windowsを再起動します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。	□
87		・Windowsにログオンします。	□
88		■LAN ドライバのインストール **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[スタート]-[コントロールパネル]-[システム]を択します。 ・[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をククします。	□
89		・ネットワークアダプタを選択し、右クリックで「ドライバの更新」を選択します。	□

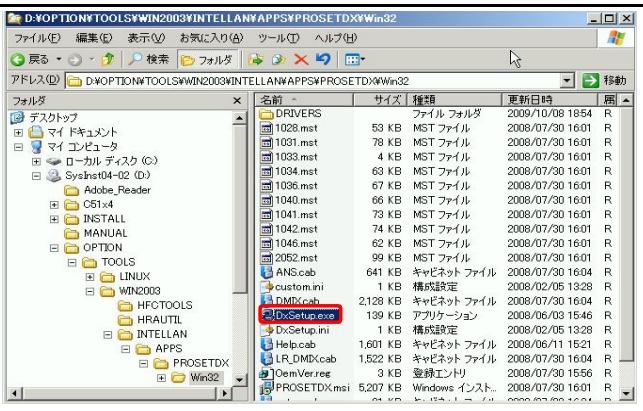
<table>
<tr><th>No.</th><th></th><th>画面</th><th>操作</th><th>チェック</th></tr>
<tr><td>90</td><td></td><td> 
</td><td>・「いいえ、今回は接続しません」を選択します。
・[次へ]を押します。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>91</td><td></td><td> 
</td><td>・「一覧または特定の場所からインストールする」を選択します。
・[次へ]を押します。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>92</td><td></td><td> 
</td><td>・「次の場所を含める」を選択します。

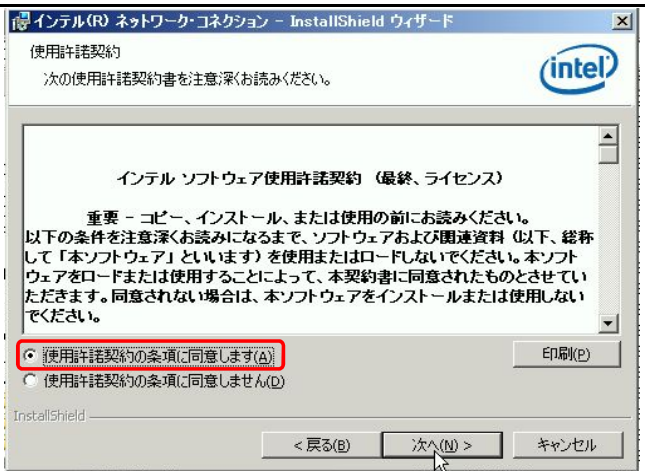
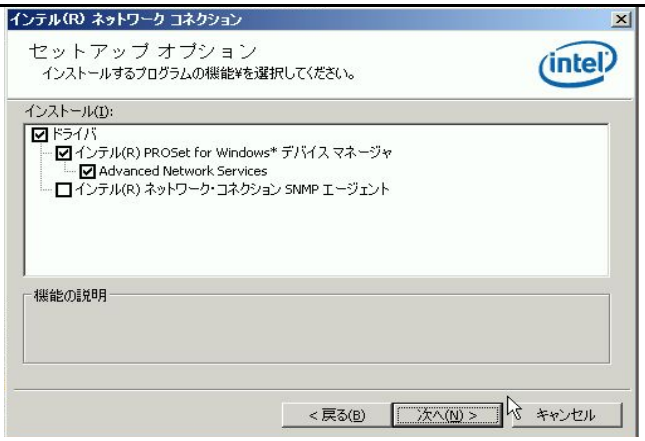
下記のディレクトリを選択します。

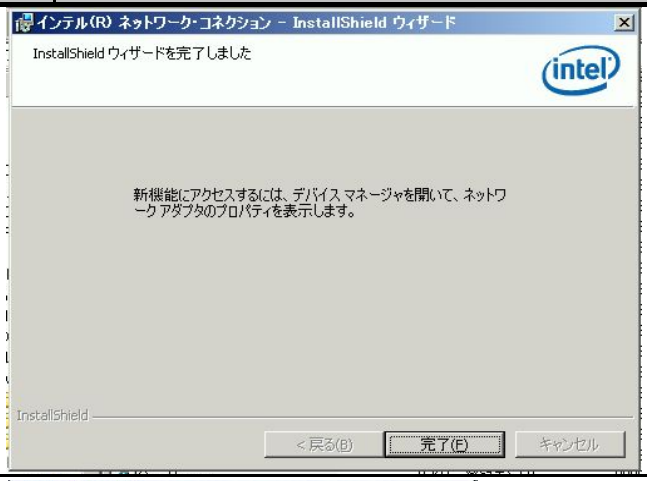
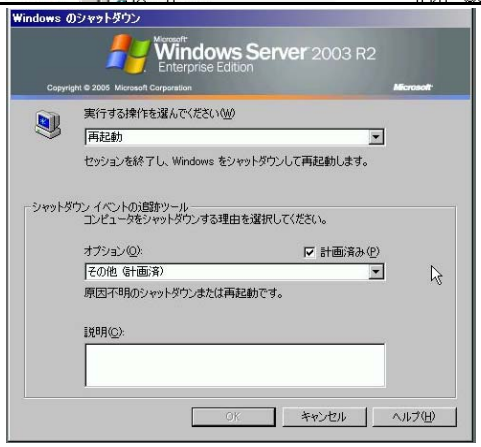
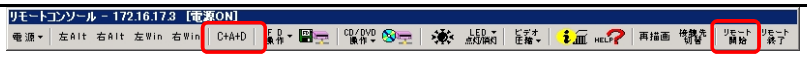
<table><tr><th>ブレードモデル名</th><th>CPU種</th><th>選択するディレクトリ</th></tr><tr><td rowspan="2">P4モデル</td><td>x86</td><td>D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥LAN</td></tr><tr><td>x64</td><td>D:¥C51x4¥A¥WIN2003x64¥LAN</td></tr><tr><td rowspan="2">P5モデル</td><td>x86</td><td>D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥LAN</td></tr><tr><td>x64</td><td>D:¥C51x5¥A¥WIN2003x64¥LAN</td></tr></table>
・[次へ]を押します。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>93</td><td></td><td>
</td><td>・[完了]を押します。

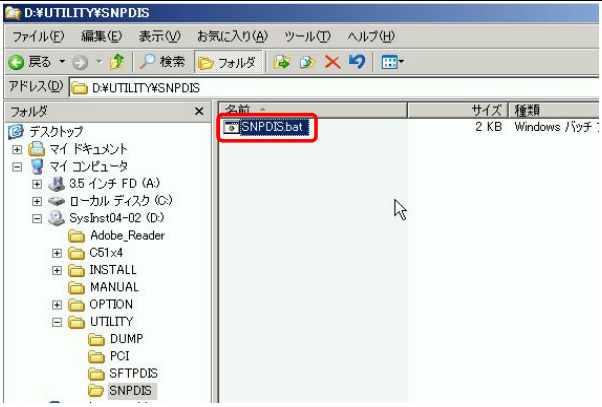
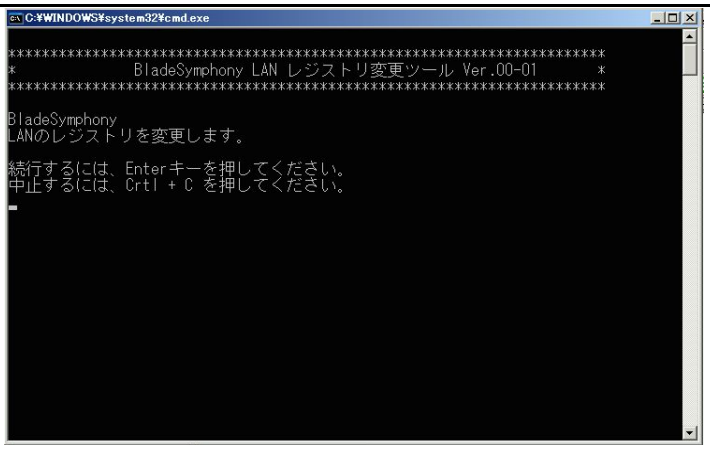
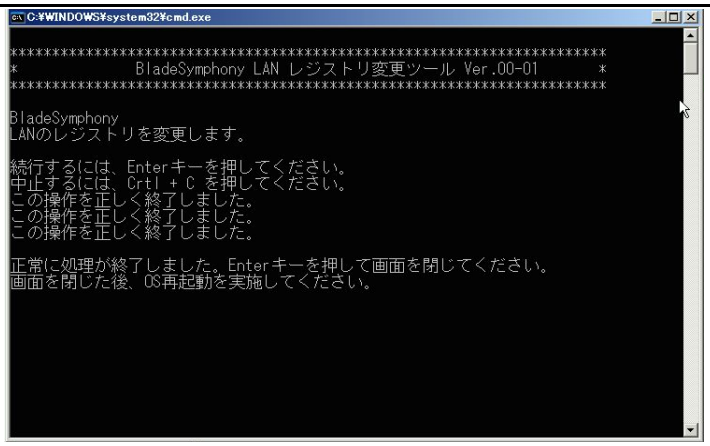
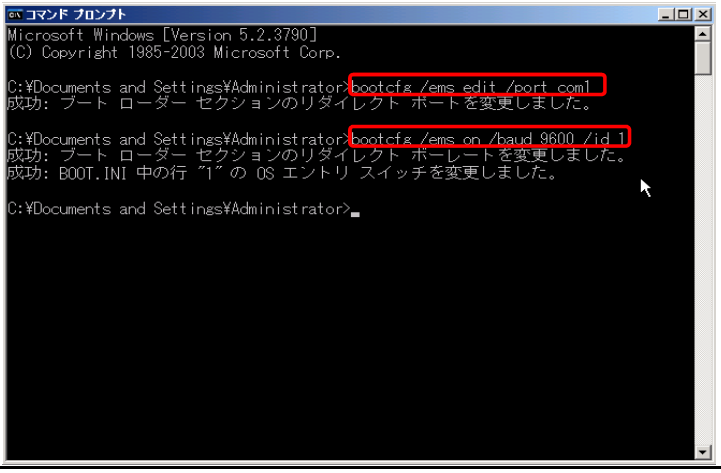
※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。</td><td>□</td></tr>
</table>

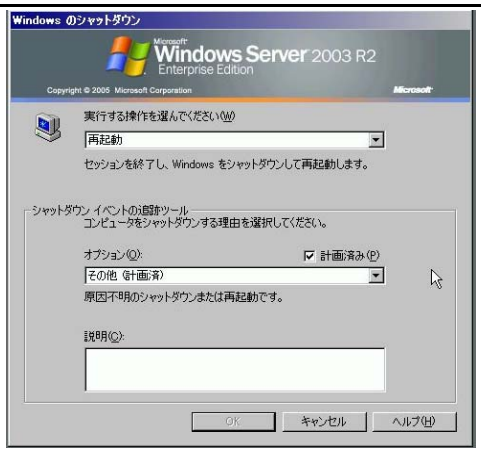
No.	画面	操作	チェック
94		■TCP/IPオフロードオプションの設定 ・ネットワークアダプタを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します	□
95		・[詳細設定]タブを選択します。 ・[TCPセグメンテーションのオフロード]を「オフ」に設定します。	□
96		・[受信 IPチェックサムのオフロード]を「オフ」に設定します。	□
97		・[受信 TCPチェックサムのオフロード]を「オフ」に設定します。 ※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。	□

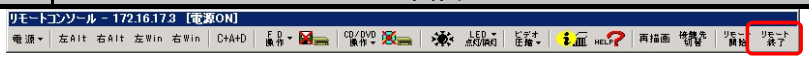
No.	画面	操作	チェック
98		・Windowsを再起動します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。	□
99		・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[C+A+D]を実行します。 ・[リモート開始]を実行します。	□
100		・Windowsにログオンします。	□
101		■Intel(R) PROSetのインストール **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Win32¥DxSetup.exeを実行します。 ※x64の場合は、 D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003x64¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Winx64¥DxSetup.exeを実行します。	□

No.	画面	操作	チェック
102		・[次へ]を押します。	□
103		・「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックします。 ・[次へ]を押します。	□
104		・[次へ]を押します。	□
105		・[インストール]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
106		・[完了]を押します。	□
107		・Windowsを再起動します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。	□
108		・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[C+A+D]を実行します。 ・[リモート開始]を実行します。	□
109		・Windowsにログオンします。	□

No.		画面	操作	チェック
110			■SNP無効化 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・D:¥UTILITY¥SNPDIS¥SNPDIS.batを実行しま	☐
111			・任意のキーを押します。	☐
112			・任意のキーを押します。	☐
113			■シリアルコンソールの設定 ・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。 「bootcfg /ems EDIT /port COM1」 「bootcfg /ems ON /baud 9600 /id 1」	☐

No.		画面	操作	チェック
114		**各ドライバのバージョン情報確認**	■各ドライバのバージョン情報確認 ・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。 http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphor ″ ご導入後のお客さま″ −″ サポート製品ダウンロード″−″ ダウンロード最新情報一覧″ からインストールしたドライバのバージョン確認をご参照ください。 ※バージョン情報を確認しドライバが最新バーンでない場合は、Webから最新バージョンをダウロードし、Web上にあります各ドライバの更新手に従いインストールしてください。	□
115		**インストールに使用したドライバにあった修正モジュールの適応**	■OS修正モジュールの適応 ・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は以下のWeb ページで発信しています。 また、情報は適時更新されておりますので、 定期的な確認をお願いいたします。 http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphor ″ ご導入後のお客さま″−″ サポート製品ダウンロード″−″ ダウンロード最新情報一覧″ -″ OS修正モジュール″ を参照してください。 OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、 手順に従い操作を続行してください。	□
116		**JP1/ServerConductorとハードウェア保守エージェントのインストール**	■ JP1/ServerConductorとハードウェア保守エージェントのインストール 各マニュアルの格納先は、BladeSymphony ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた P.9 をご参照ください。 ※「構成マネージャ」からインストールする場合 先にJP1/ServerConductor/Agent をインストールしてから、ハードウェア保守エージェントをインストールしてください。	□
117		・Windowsを再起動します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]−[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]−[CD/DVD終了]を選択します。 ・FDドライブを取り外します。	□

No.		画面	操作	チェック
118			■リモートコンソールの終了 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[リモート終了]を実行します。 以上でOSインストールは完了です。	□

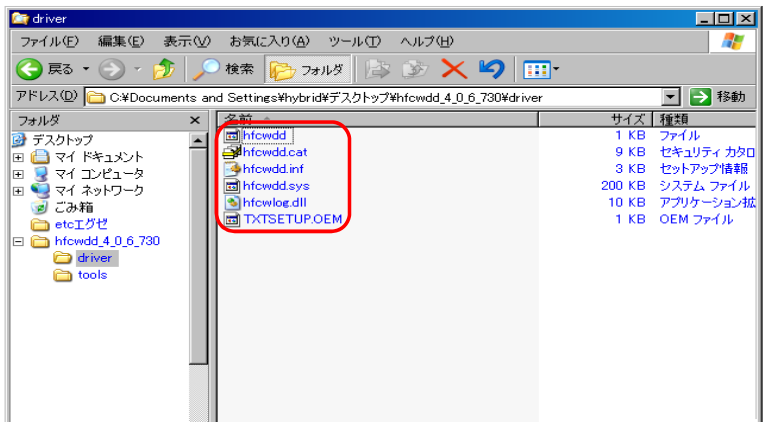
２．　Windows Server 2008 R2インストール手順

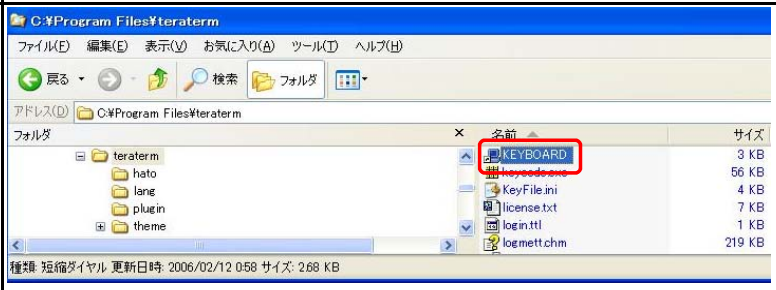
2．1 準備

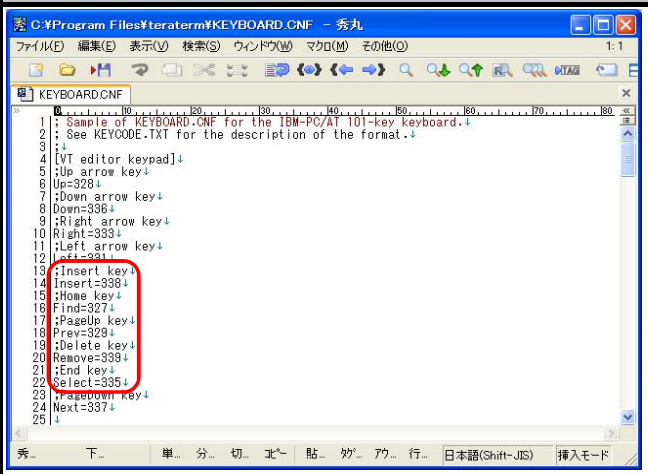
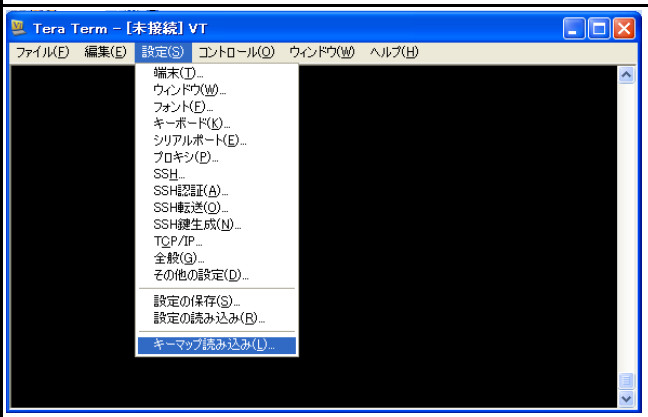
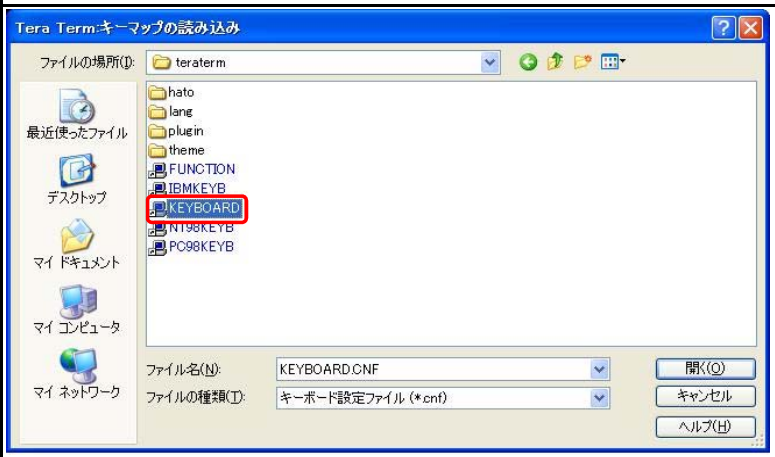
<table>
<tr><th>No.</th><th>画面</th><th>操作</th><th>チェック</th></tr>
<tr><td>1</td><td>事前準備</td><td>■事前に準備いただくもの
・以下のものを準備していただく必要があります。

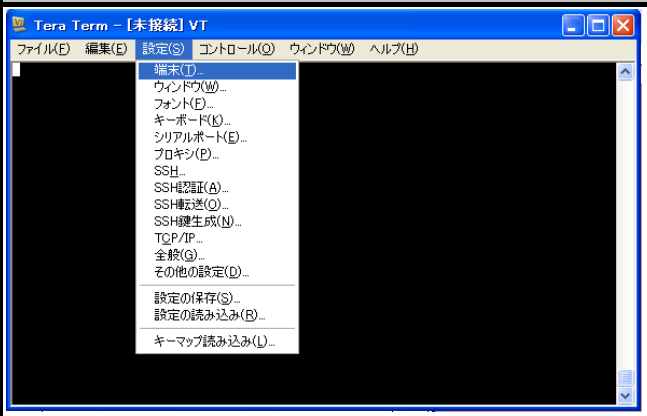
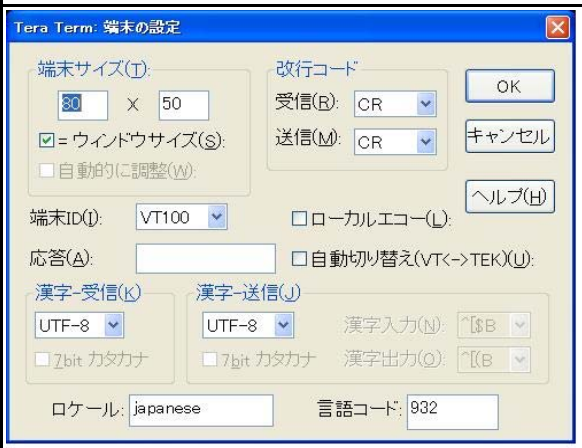
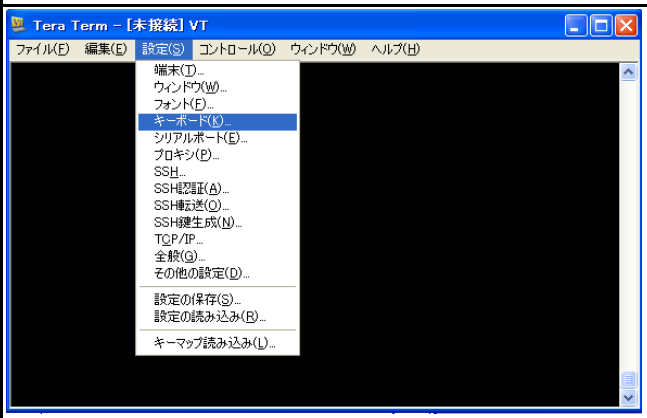
・CD/DVDドライブ または USB DVDドライブ
・SystemInstaller CD ※1
・Windows Server 2008 R2メディア
・JP1/ServerConductorメディア
・ハードウェア保守エージェントメディア
・CD－R ※2
※1 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載した表中のバージョン以降を前提にしています。また、お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstallerによって動作が若干異なる場合がございます。
※2 Webからドライバをダウンロードする手順のみに使用します。
<table><tr><td>ブレード
モデル名</td><td>対応OS Windows Server 2008 R2
SystemInstaller Version</td></tr><tr><td>P4 モデル</td><td>14-03</td></tr><tr><td>P5 モデル</td><td>15-00</td></tr></table></td><td>□</td></tr>
<tr><td>2</td><td>SystemInstaller CD内のドライバ確認</td><td>■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認

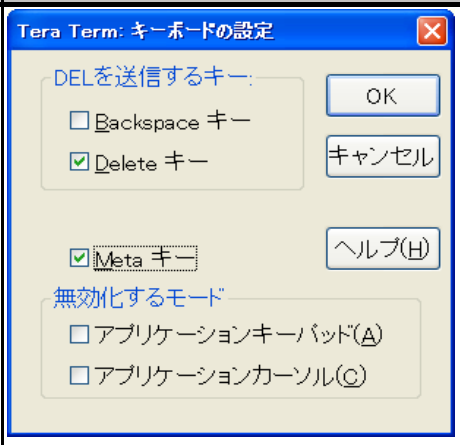
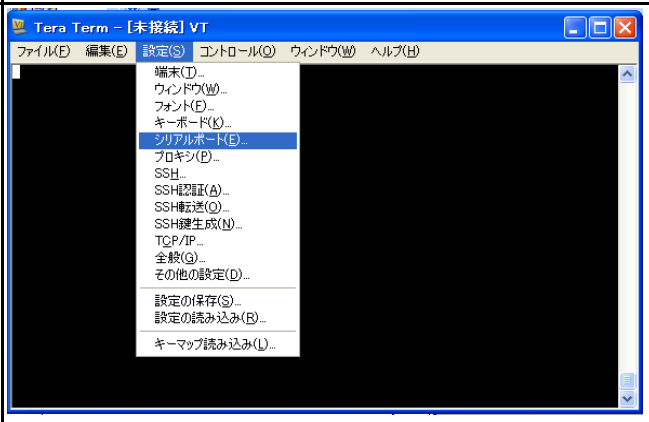
SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内の readme.html を参照します。
インストールに使用するデバイスのドライバがSystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。

http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphor
″ご導入後のお客さま″ −″サポート製品ダウンロード″−″ダウンロード最新情報一覧″</td><td>□</td></tr>
<tr><td>3</td><td>  </td><td>SystemInstaller CDに対応したドライバがある場合は手順4に進みます。
■Webからダウンロードしたドライバの CD作成
・CDをCDドライブに入れます。
・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。
・C¥・・・・・・・¥拡張カード形名¥driver¥
にある全てのファイルをCDにコピーします。

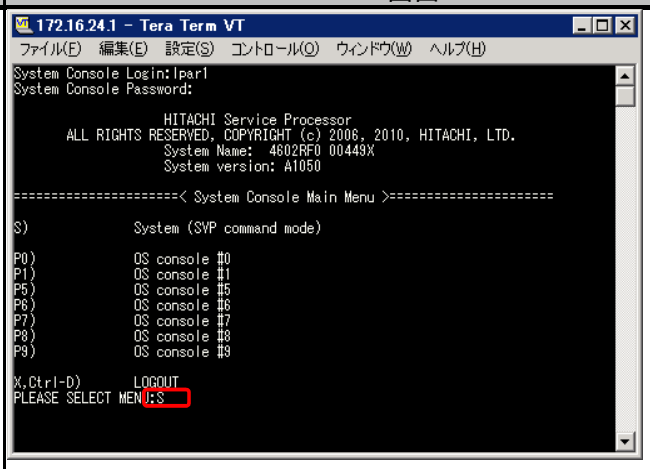
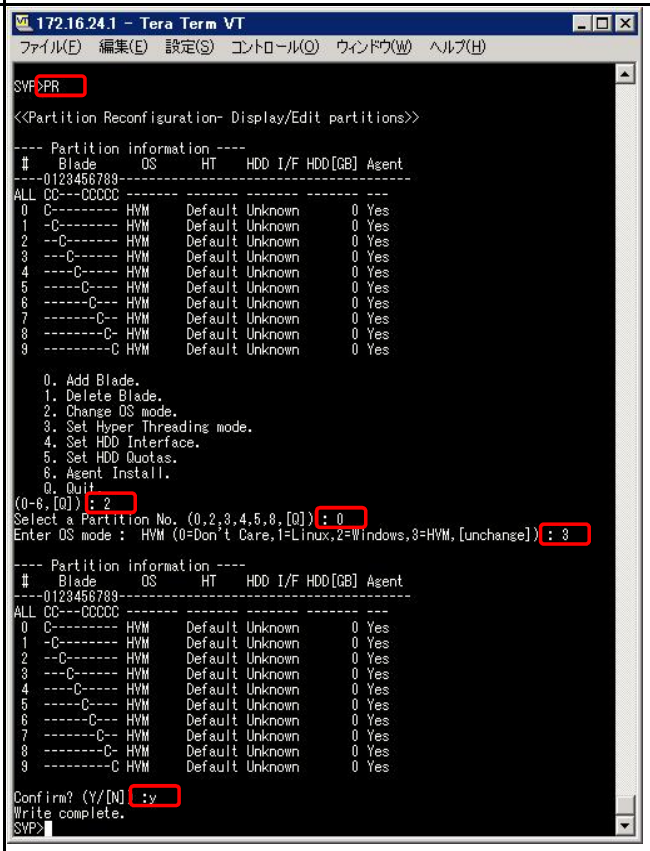
※CDにはディレクトリなしでコピーして下さい。
フォルダを作成するとインストールの際
にドライバを読み込むことができなくなります。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>4</td><td>  </td><td>■Tera Termの設定
・KEYBOARD.CNFを開きます。</td><td>□</td></tr>
</table>

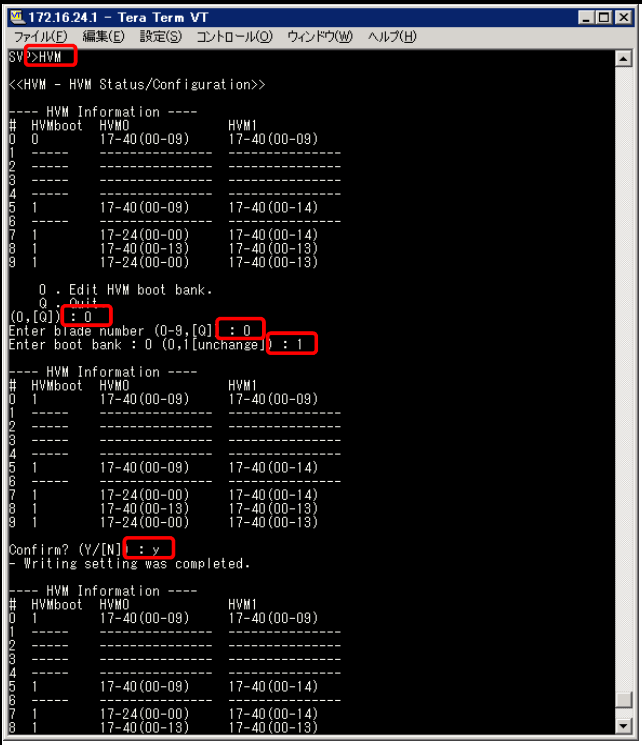
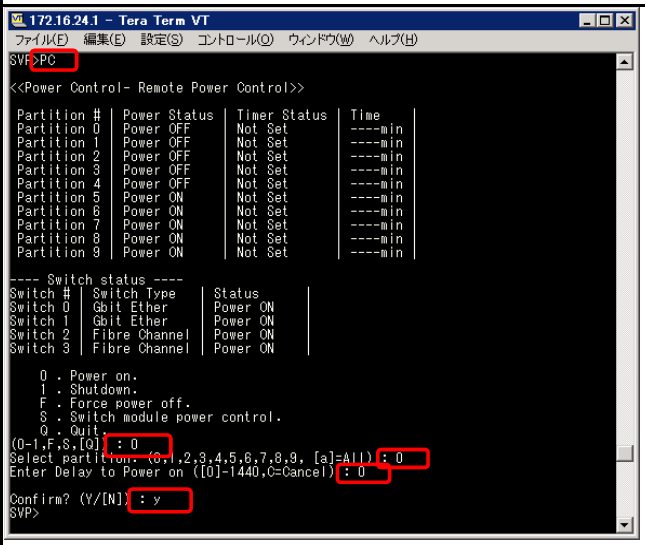
No.	画面	操作	チェック
5		・以下の設定になっていることを確認します。 Insert=338 Find=327 Prev=329 Remove=339 Select=335	□
6		・[設定]-[キーマップ読み込み]を選択します。	□
7		・KEYBOARD.CNFを選択します。	□

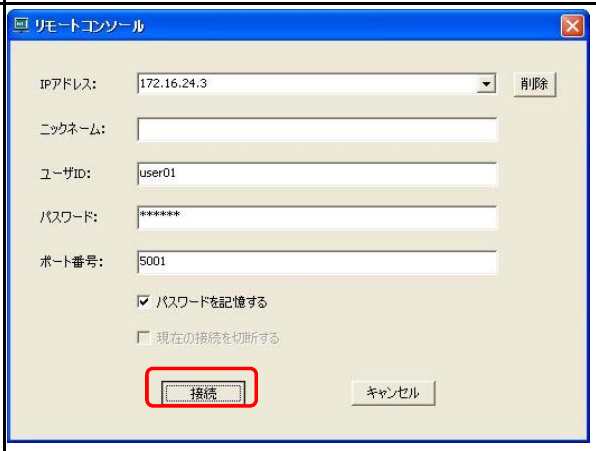
No.	画面	操作	チェック
8		・[設定]-[端末]を選択します。	□
9		・左記の設定となっていることを確認します。	□
10		・[設定]-[キーボード]を選択します。	□

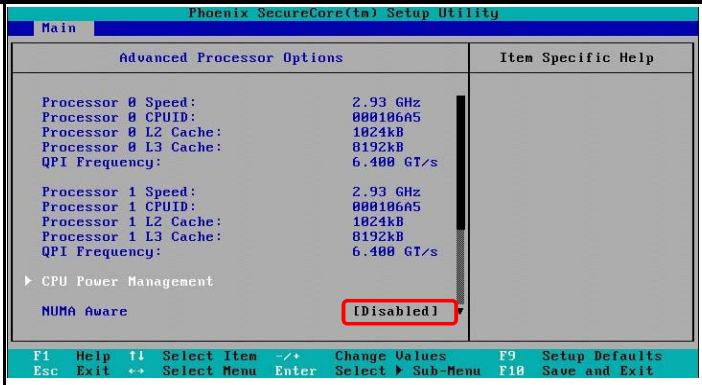
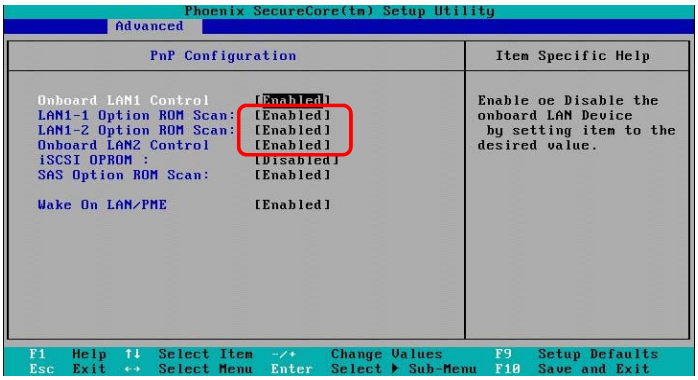
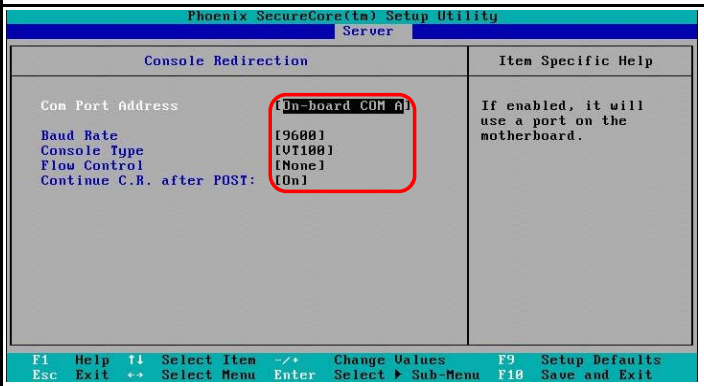
No.	画面	操作	チェック
11		・左記の設定となっていることを確認します。	□
12		・[設定]-[シリアルポート]を選択します。	□
13		・左記の設定となっていることを確認します。	□

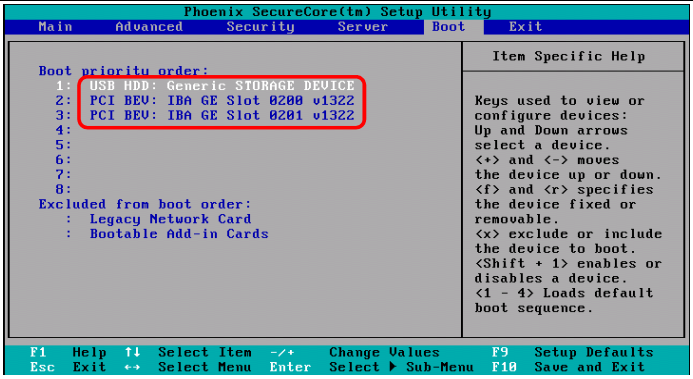
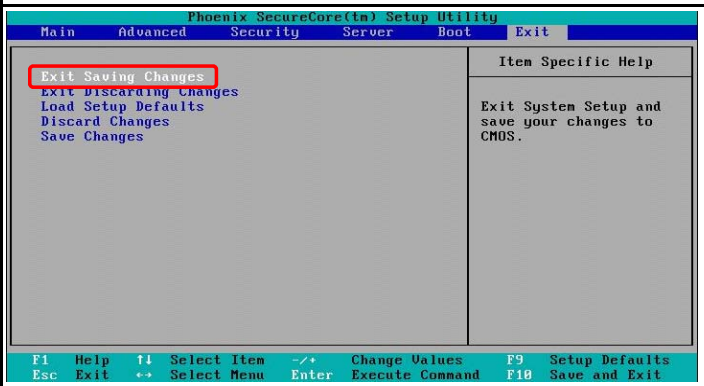
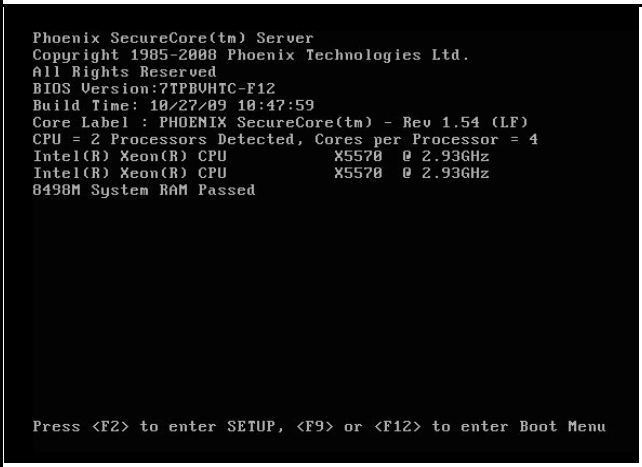
2．2 HVMの起動

No.	画面	操作	チェック
1		■SVPにログイン ・「S」を入力します。	□
2		■HVMモードの設定 ・「PRコマンド」を入力します。 ・「2」を入力します。 ・「パーティション番号」を入力します。 ・「3」を入力します。 ・「y」を入力します。	□

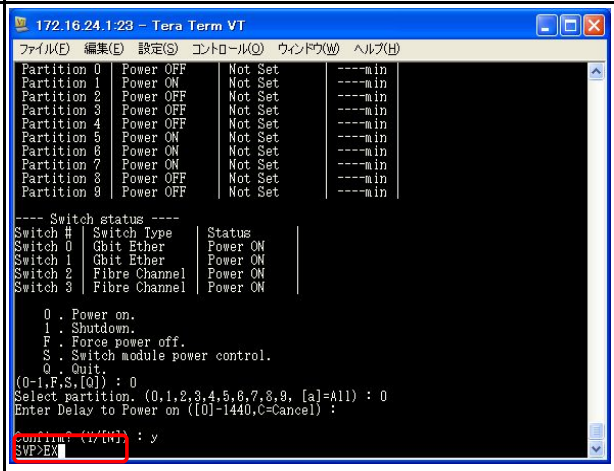
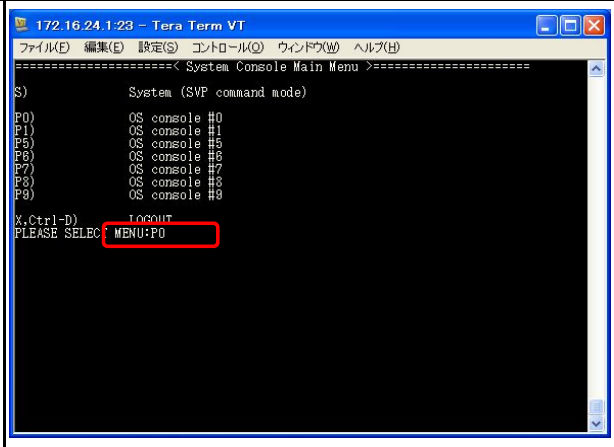
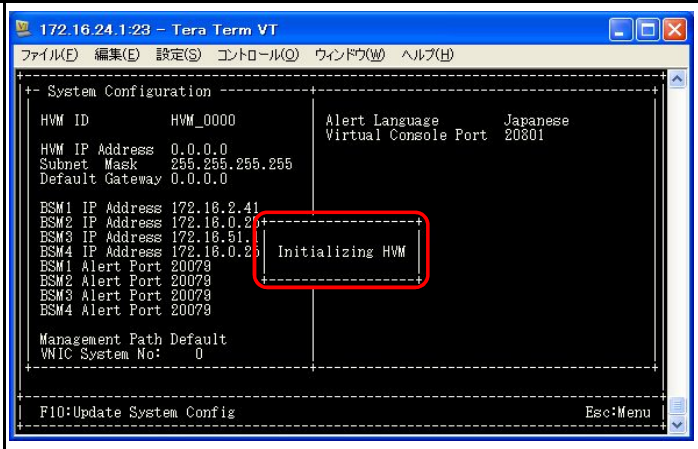
No.	画面	操作	チェック
3		■HVMファームウェア面番号の設定 ・「HVMコマンド」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「ブレード番号」を入力します。 ・「HVMファームウェア面番号」を入力します。 ・「y」を入力します。	☐
4		■電源の投入 ・「PCコマンド」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「パーティション番号」を入力します。 ・「0」を入力します。 ・「y」を入力します。	☐

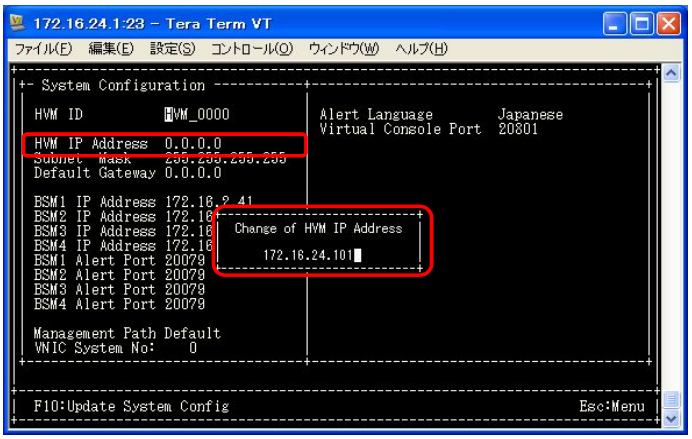
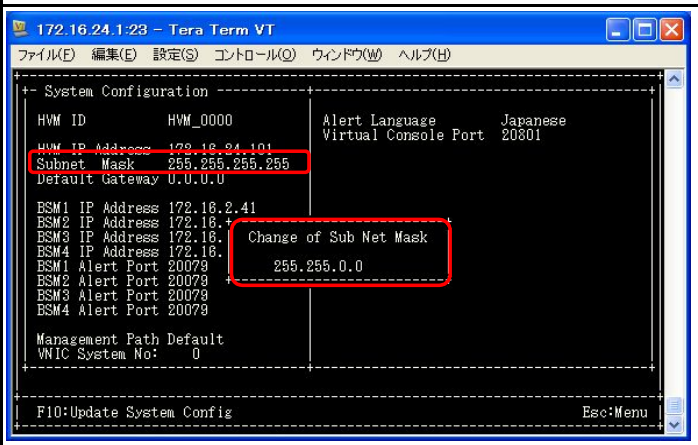
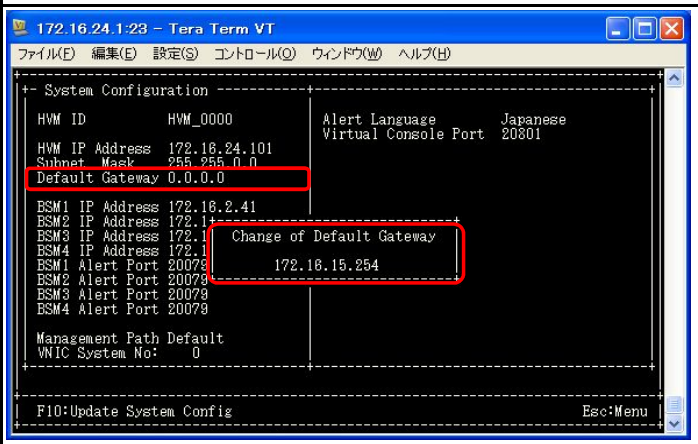
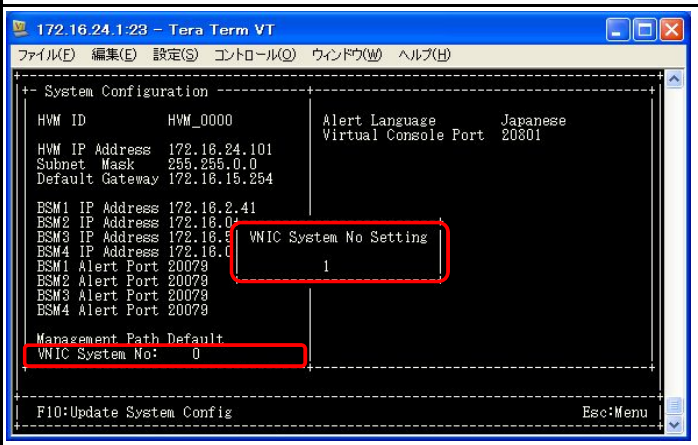
No.	画面	操作	チェック
5	**コンソールの切替：リモートコンソール**		□
6		■リモートコンソールに接続 ・「接続」を押します。	□
7		・「F2」キーを押します。	□

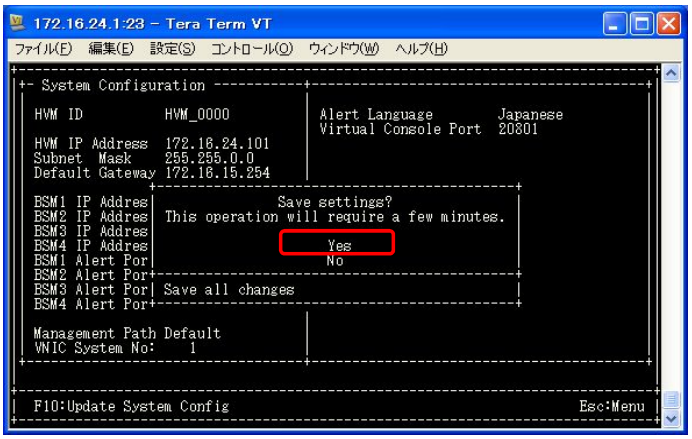
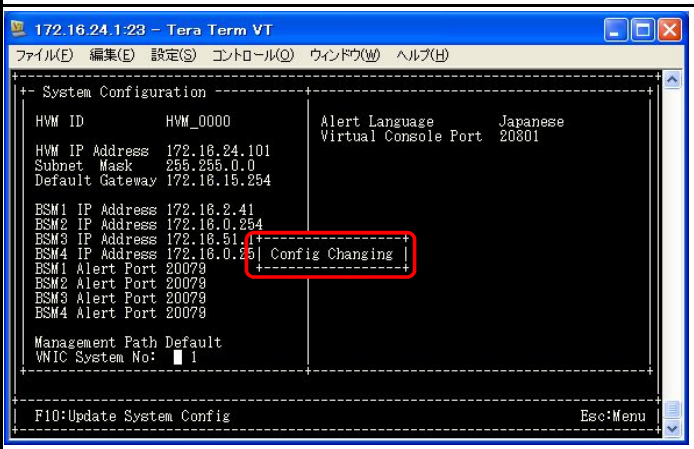
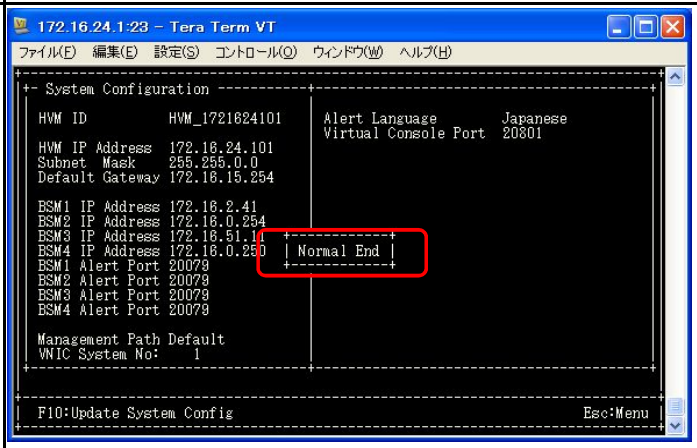
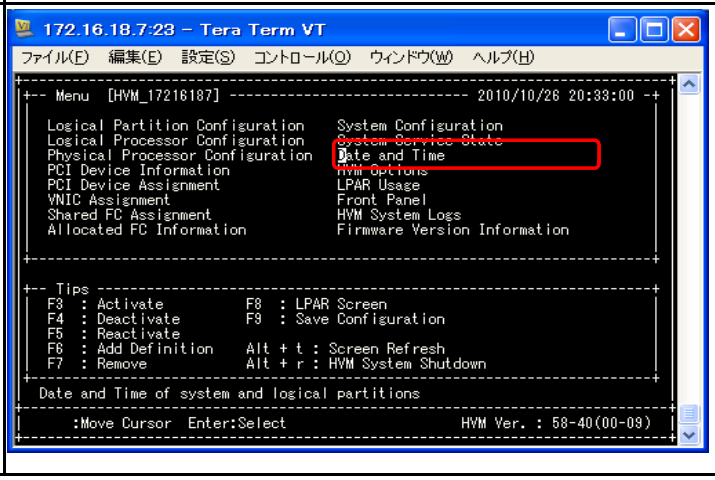
No.	画面	操作	チェック
8		■BIOSの設定 ・[Main]-[Advanced Processor Options] に移動します。 ・[NUMA Aware]が[Disabled] に設定されていることを確認します。	□
9		・[Advanced]-[PnP Configuration] に移動します。 ・[LAN1-1 Option ROM Scan]が[Enabled] に設定されていることを確認します。 ・[LAN1-2 Option ROM Scan]が[Enabled] に設定されていることを確認します。 ・[Onboard LAN2 Control]が[Enabled] に設定されていることを確認します。	□
10		・[Server]-[Console Redirection] に移動します。 ・[Com Port Address]が[On-board COM A] に設定されていることを確認します。 ・[Baud Rate]が[9600] に設定されていることを確認します。 ・[Console Type]が[VT100] に設定されていることを確認します。 ・[Flow Control]が[None] に設定されていることを確認します。 ・[Continue C.R. after POST]が[On] に設定されていることを確認します。	□

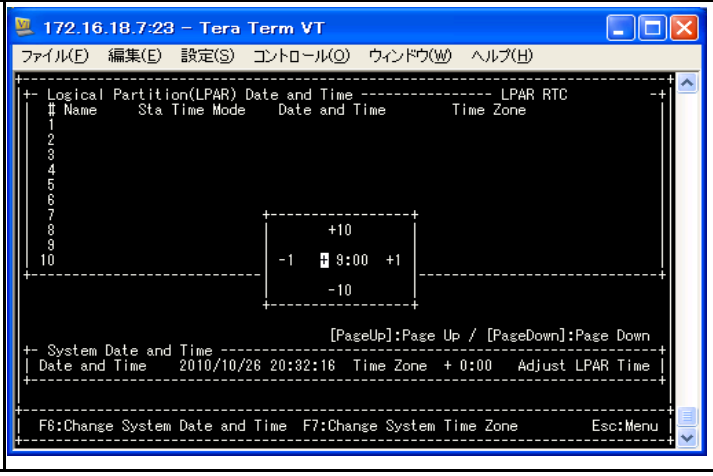
No.	画面	操作	チェック
11		・[Boot]に移動します。 ・[Boot Priority order]に[USB HDD: Generic STORAGE DEVICE]が設定されていることを確認します。 ・[Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx]が設定されていることを確認します。 ・[Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx]が設定されていることを確認します。 ※[x]キーにより、[Boot Priority order]に移動することができます。	□
12		・[Exit Saving Changes]を選択します。	□
13		・サーバブレードが再起動します。	□

2．3 HVMの設定

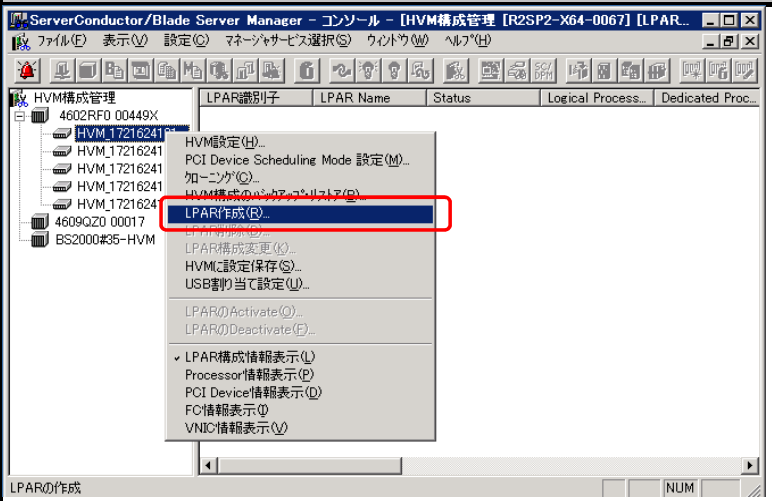
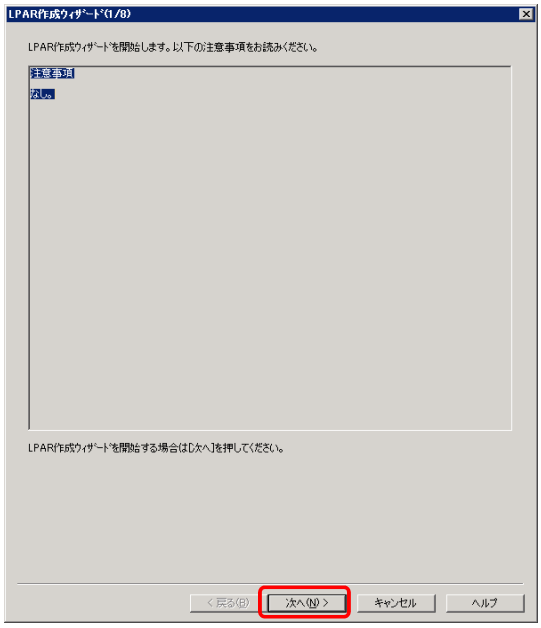
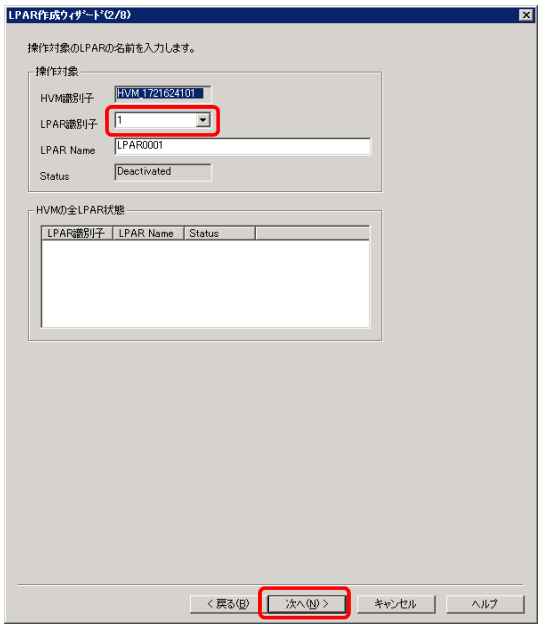
No.	画面	操作	チェック
1	コンソールの切替：OSコンソール		□
2		・「EXコマンド」を入力します。	□
3		・「サーバブレード番号」を入力します。	□
4		■HVMの設定 ・[Alt] + [t]を入力します。 ・Bladeの電源をONしてから、約7分で SystemConfigurationが表示されます。 「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。	□

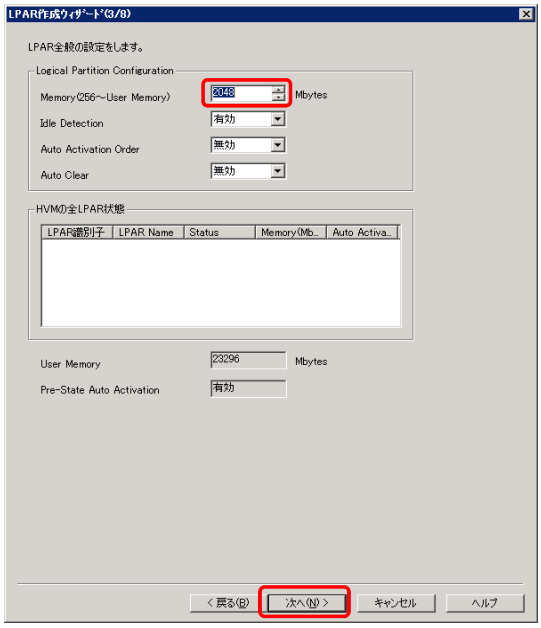
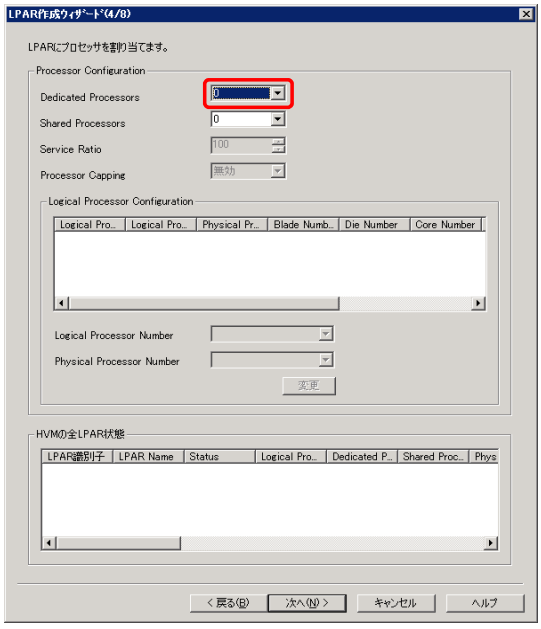
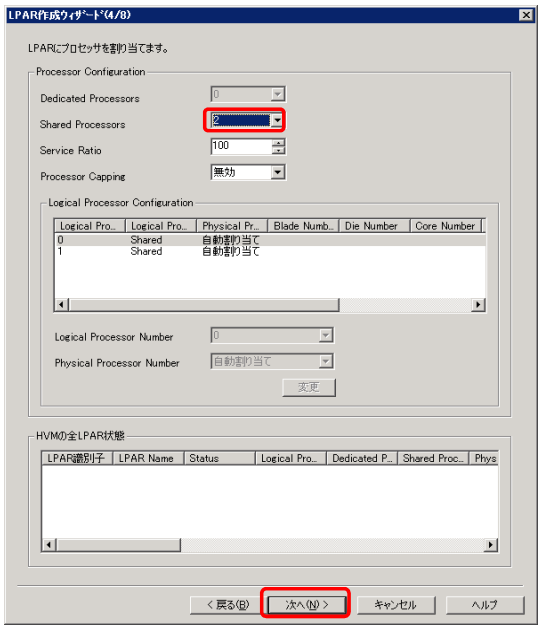
No.	画面	操作	チェック
5		・「HVM IP Address」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「HVM IP Address」を入力します。	□
6		・「Subnet Mask」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「Subnet Mask」を入力します。	□
7		・「Default Gateway」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「Default Gateway」を入力します。	□
8		・「VNIC System No」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「VNIC System No」を入力します。	□

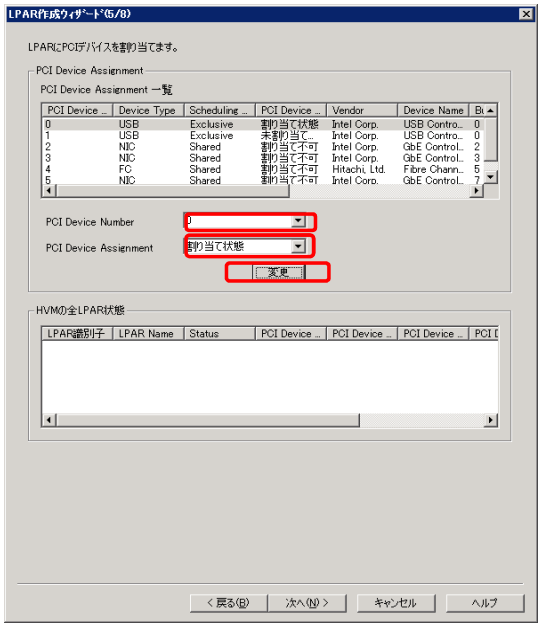
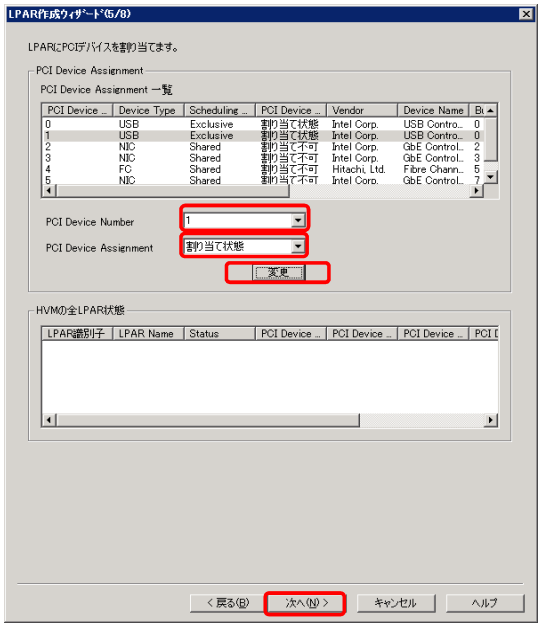
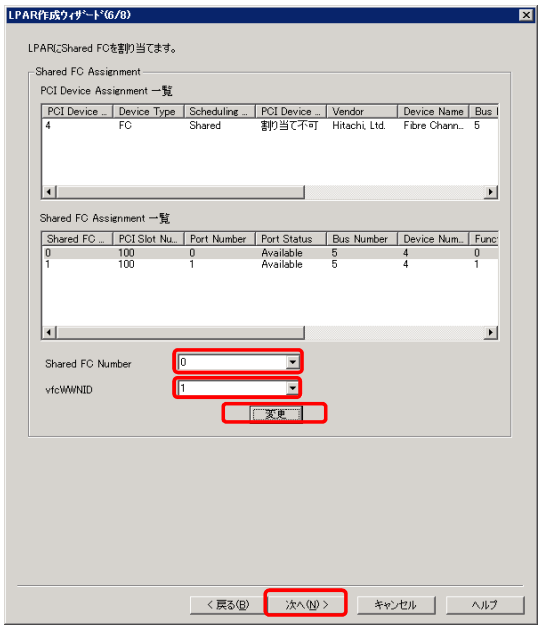
No.	画面	操作	チェック
9		■システム構成情報の更新 ・[F10]キーを押します。 ・[Yes]を選択します。	□
10		・「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。	□
11		・システム構成情報が更新されます。	□
12		■TimeZoneの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Data and Timeにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□

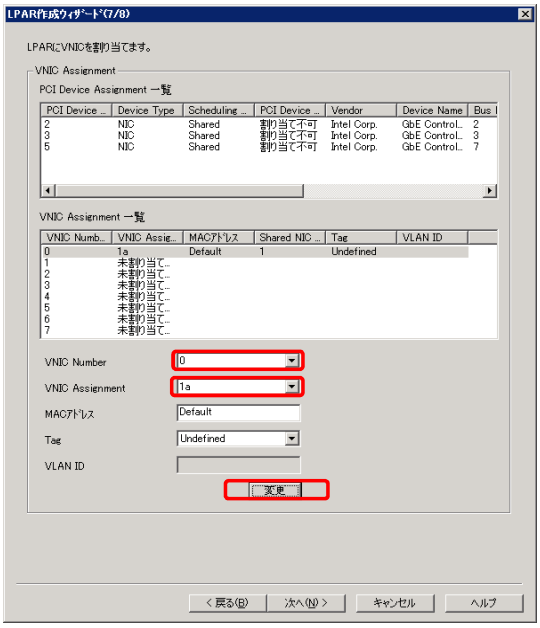
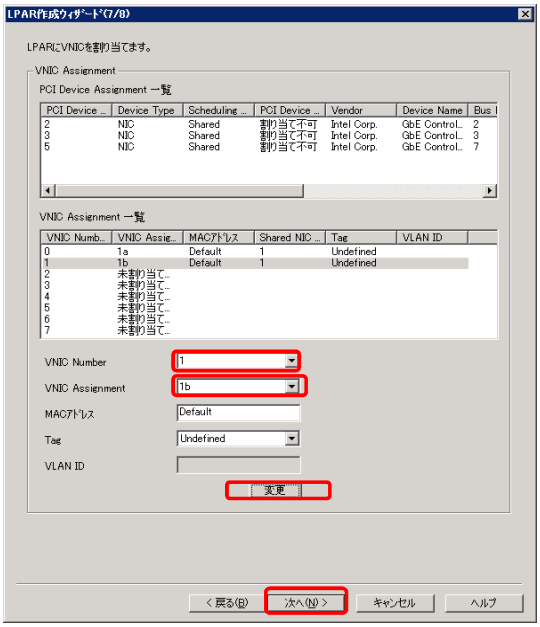
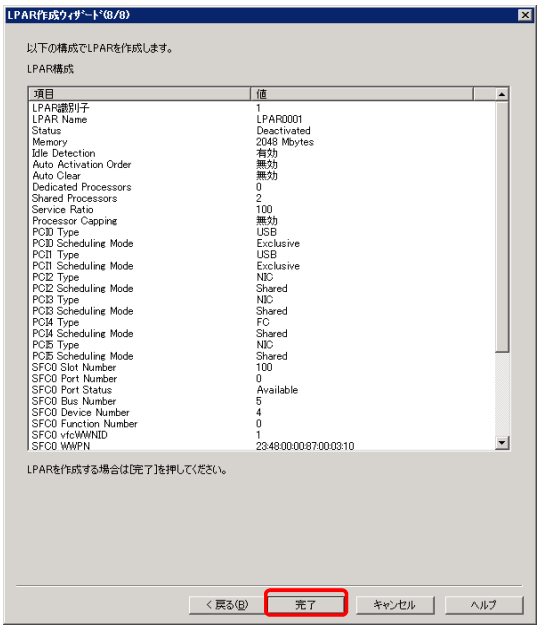
No.	画面	操作	チェック
13		・[F7](Change System Time Zone) を押します。 ・矢印キー ([↑]、[↓]、[←]、[→])を押し、システムタイムゾーンを＋9:00にします。	□

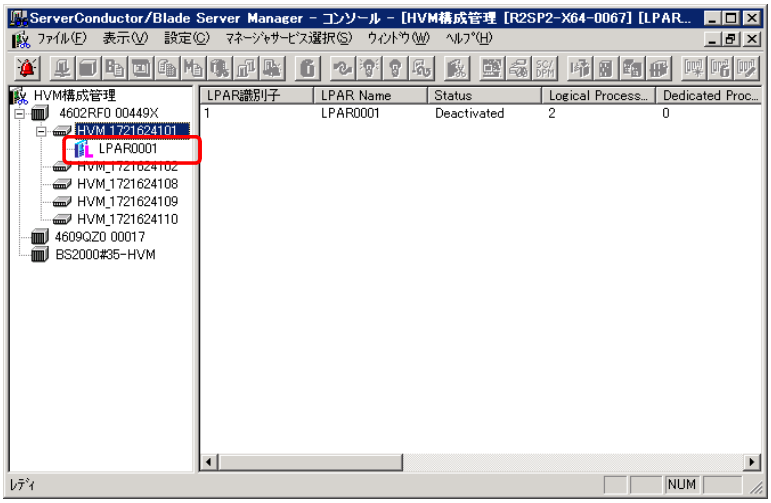
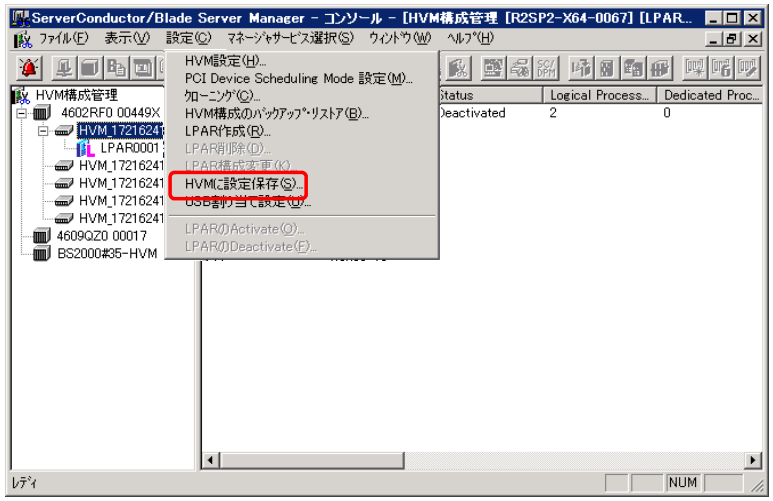
2．4　LPARの構築
2．4．1　LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

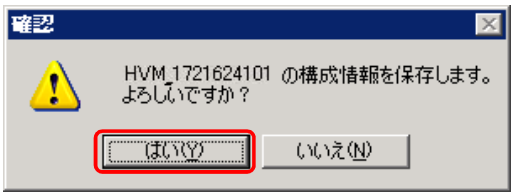
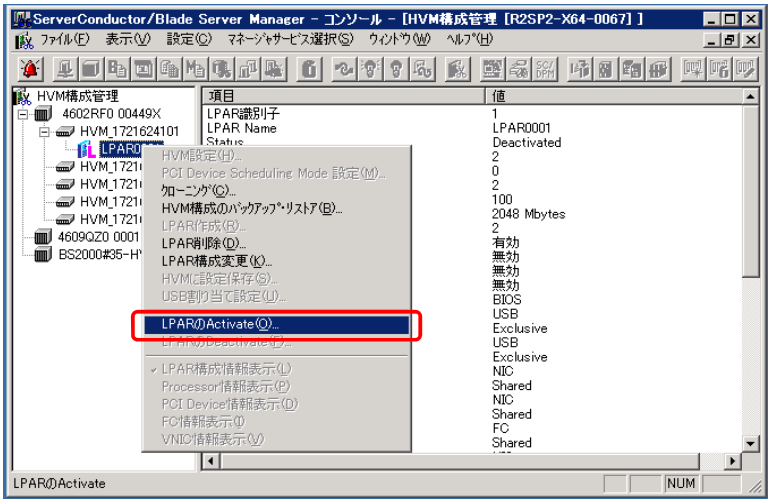
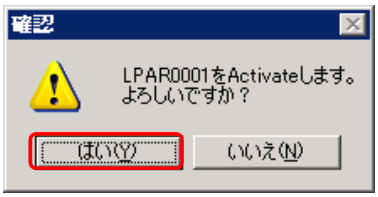
No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・「LPAR作成」を選択します。	□
2		・[次へ]を押します。	□
3		・LPAR識別子を選択します。 ・[次へ]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
4		■メモリサイズの設定 ・「2048」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□
5		■プロセッサ数の設定 ・占有プロセッサで、「0」を選択します。	□
6		・共有プロセッサで、「2」を選択します。 ・[次へ]を押します。	□

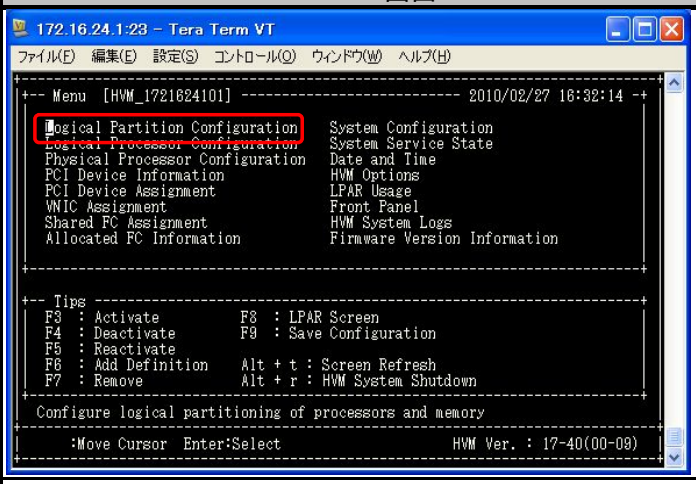
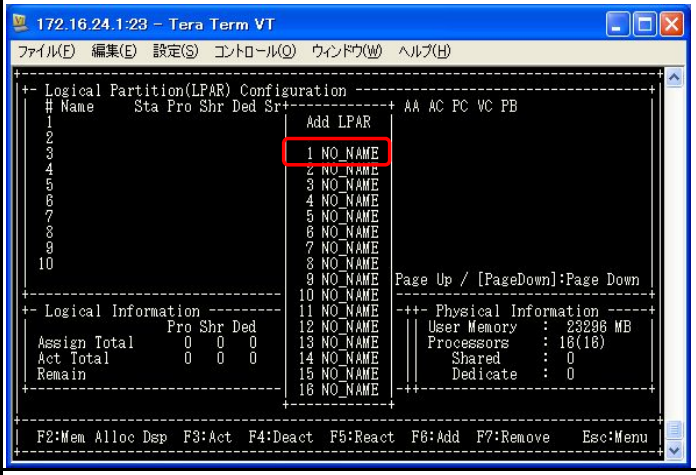
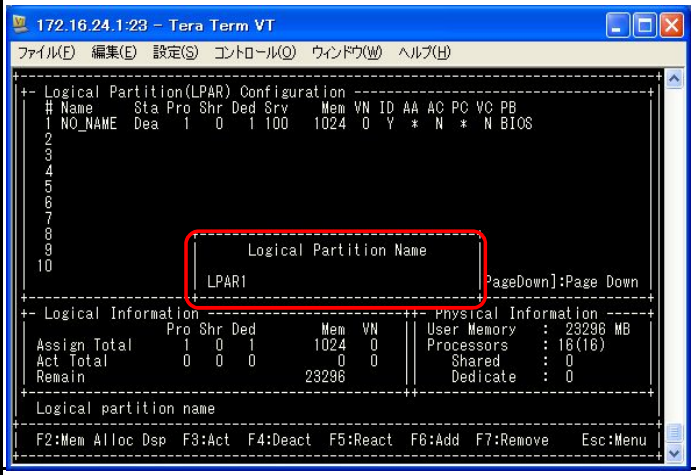
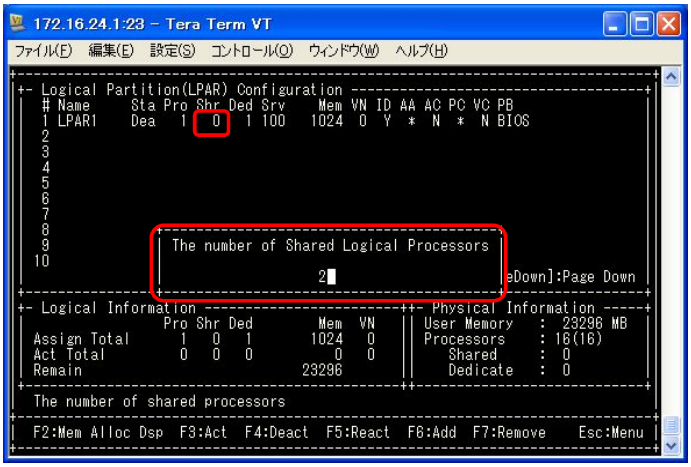
No.	画面	操作	チェック
7		■PCIデバイスの割り当て ・「0」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]を押します。	□
8		・「1」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□
9		■共有FCポートの設定 ・「0」を選択します。 ・「共有FCポート」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□

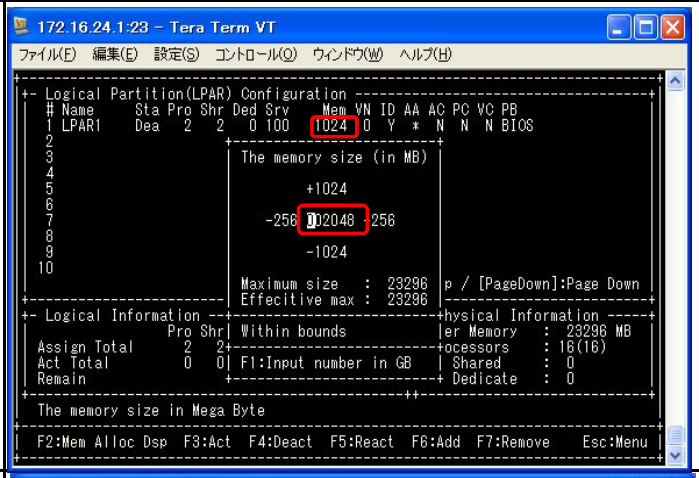
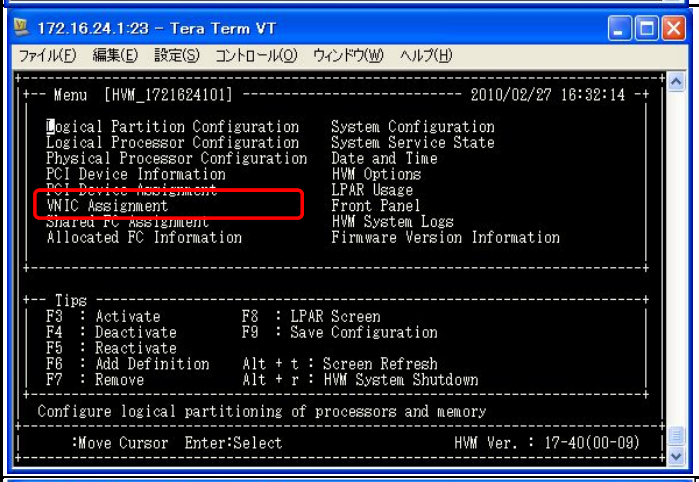
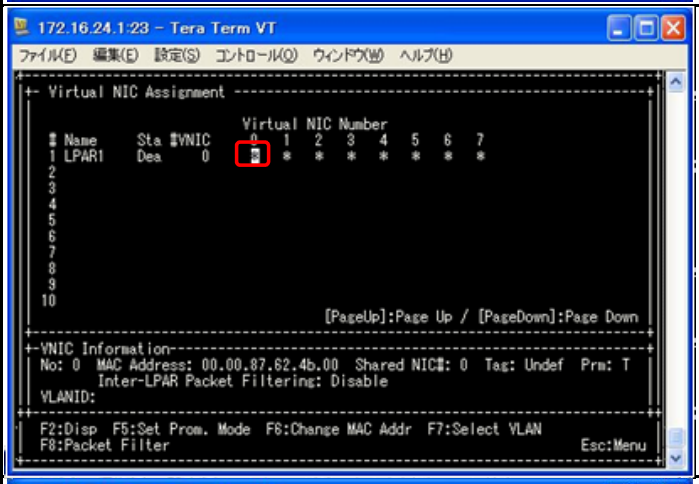
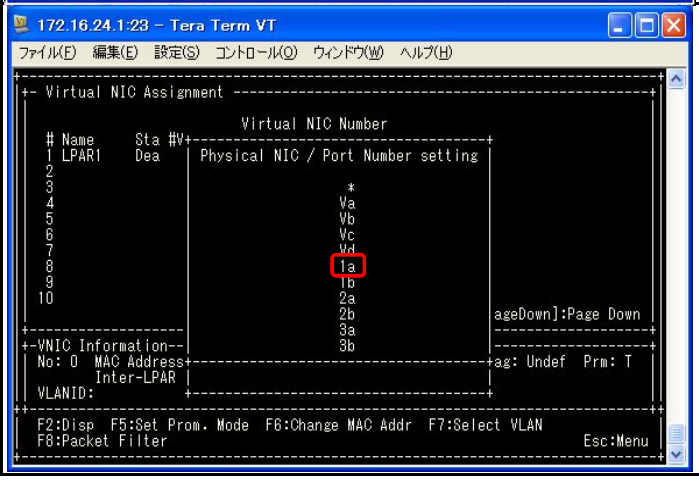
No.	画面	操作	チェック
10		■共有NICの設定 ・「0」を選択します。 ・「1a」を選択します。 ・[変更]を押します。	□
11		・「1」を選択します。 ・「1b」を選択します。 ・[変更]を押します。 ・[次へ]を押します。	□
12		・[完了]を押します。	□

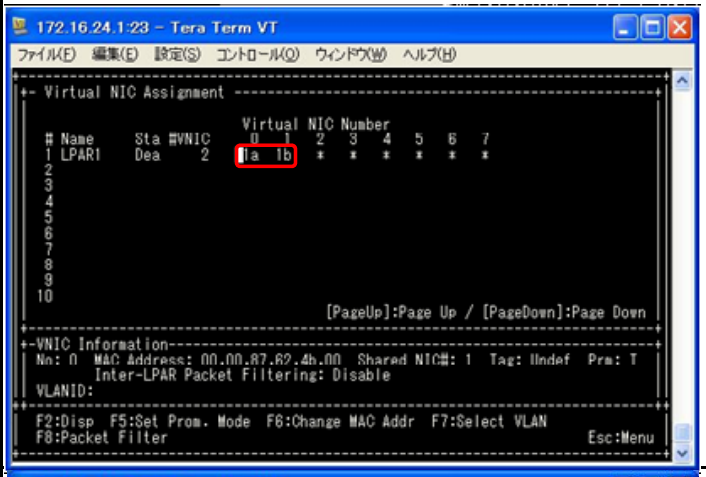
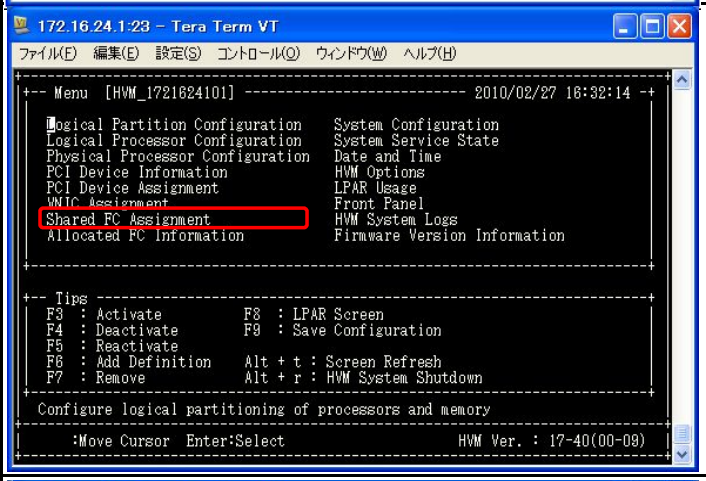
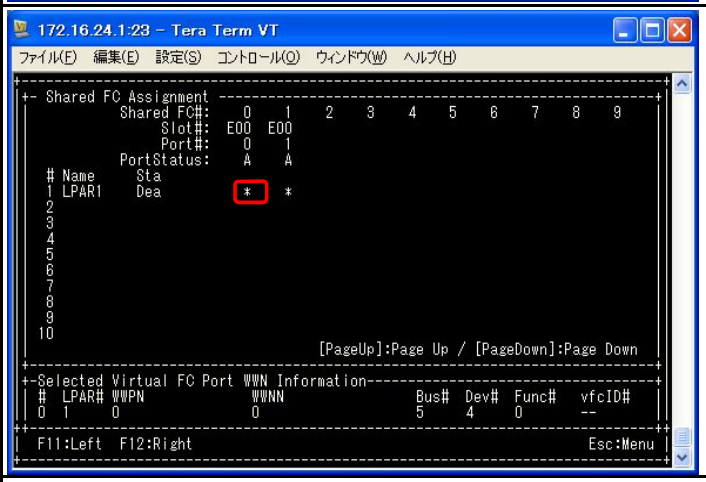
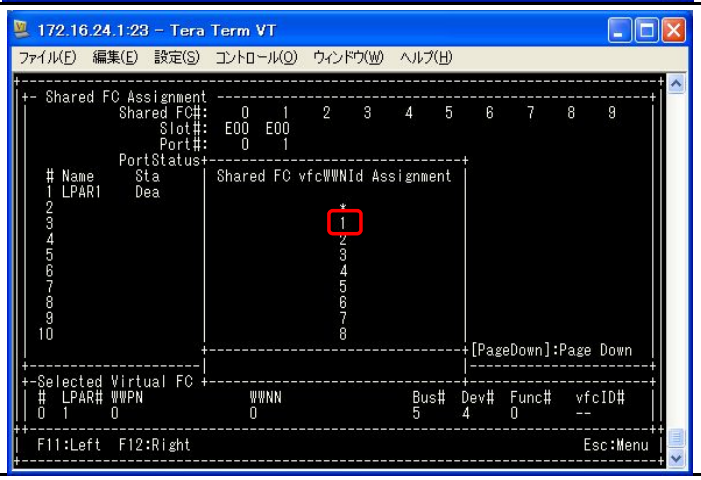
No.	画面	操作	チェック
13		・[OK]を押します。	□
14		・LPARが作成されます。	□
15		■構成定義の保存 ・「HVMに設定保存」を選択します。	□

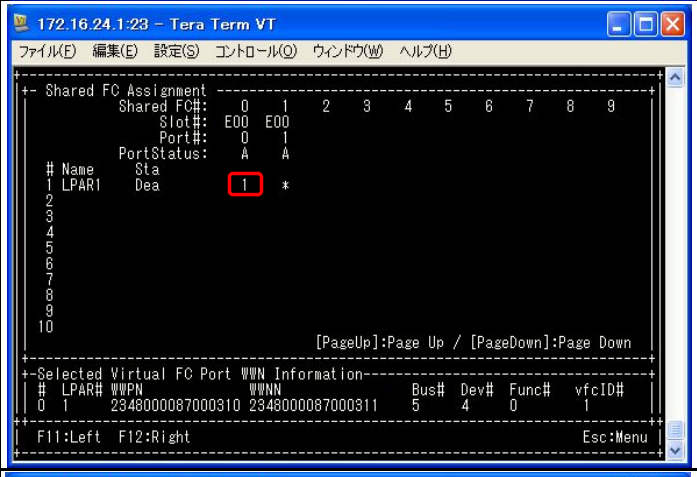
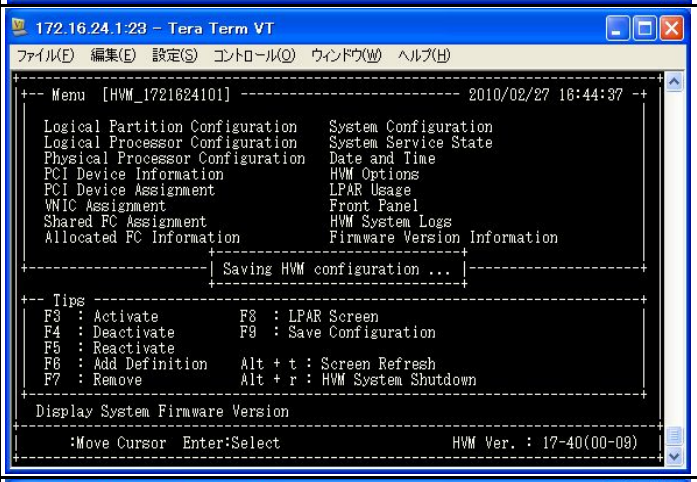
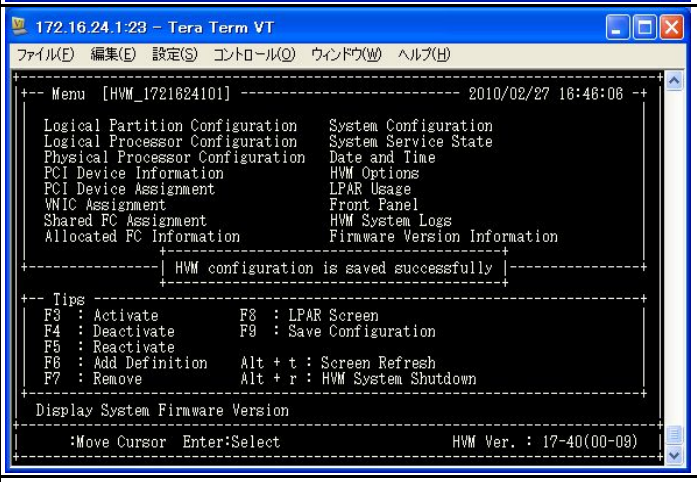
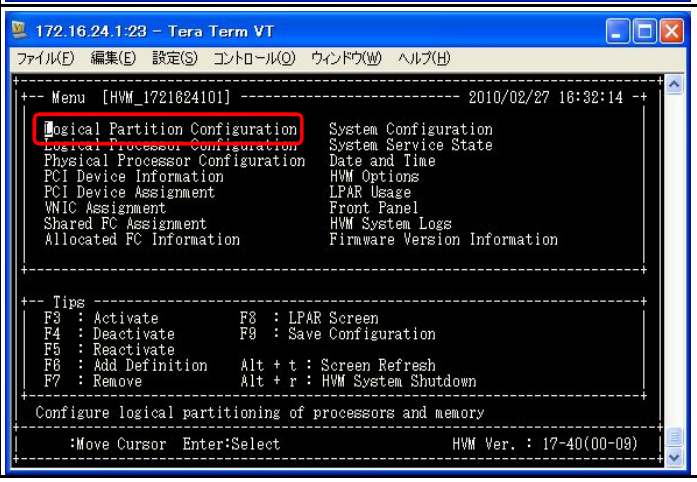
No.	画面	操作	チェック
16		・[はい]を選択します。	□
17		■LPARの起動 ・「LPARのActivate」を選択します。	□
18		・[はい]を選択します。	□

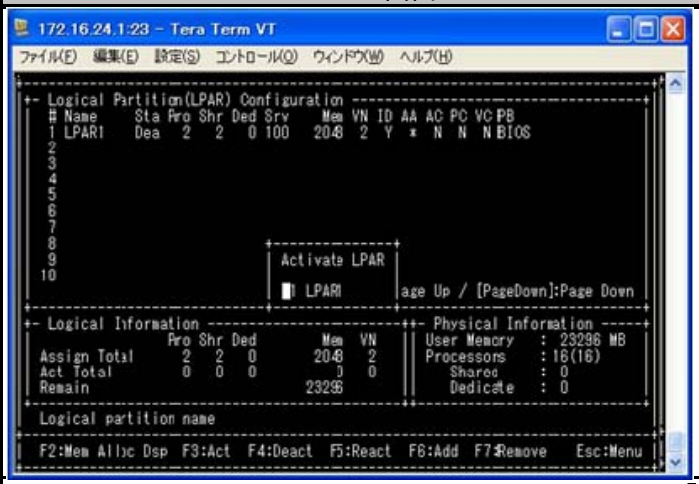
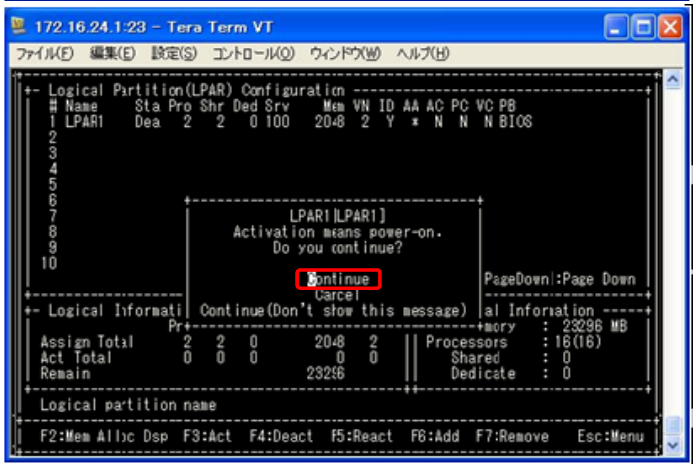
2．4．2　LPARの構築(HVM_Ver(17-4x)以前を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
2		・[F6]キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択し、[Enter]キーを押します。	□
3		・当該LPARの「Name」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「LPAR名称」を入力します。	□
4		■プロセッサ数の設定 ・「Shr」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2」を入力します。	□

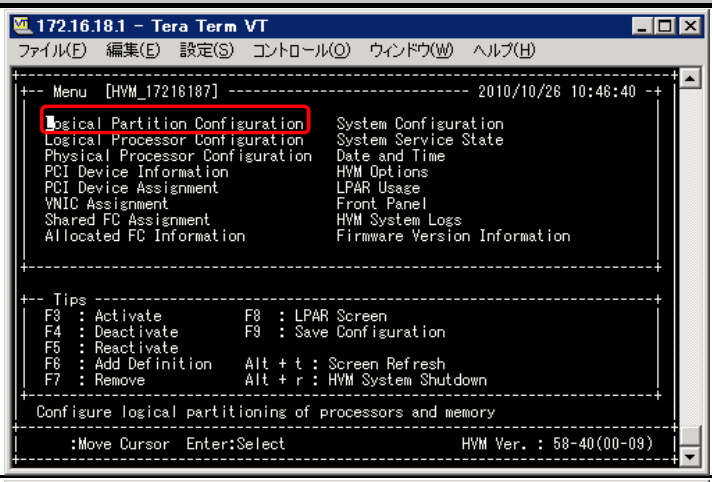
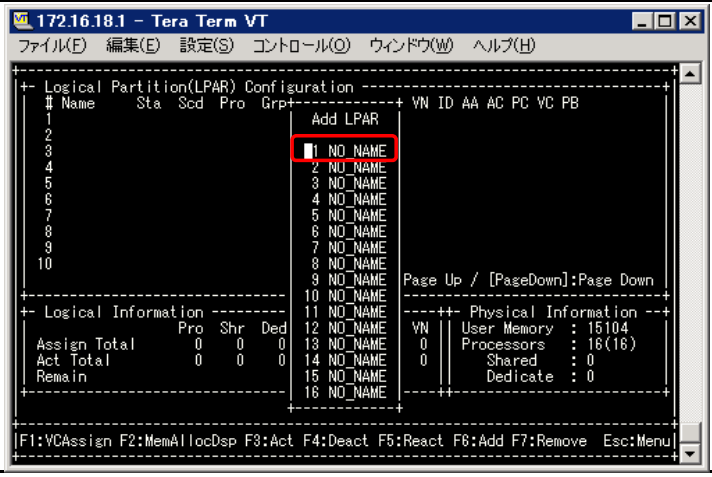
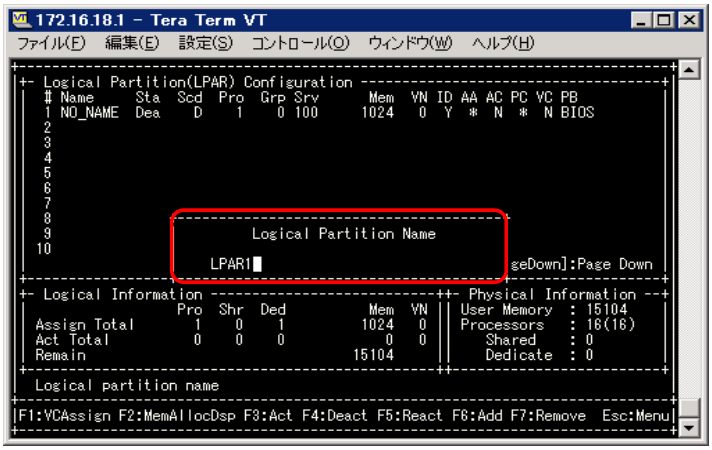
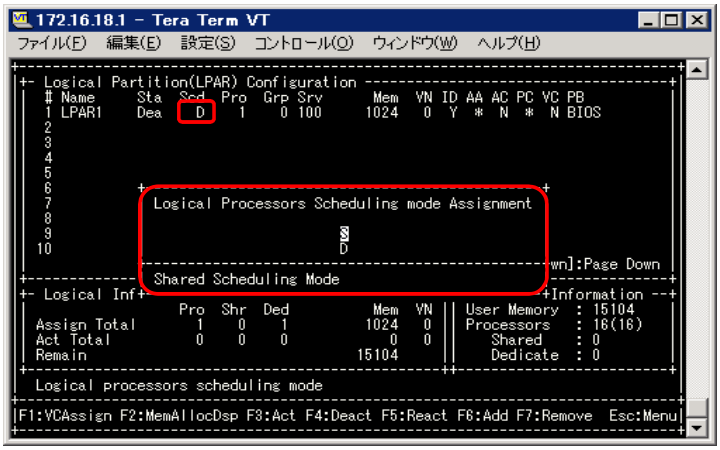
No.	画面	操作	チェック
5		■メモリサイズの設定 ・「Mem」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2048」を選択します。	□
6		■共有NICの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・VNIC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
7		・[Enter]キーを押します。	□
8		・「1a」を選択し、[Enter]キーを押します。	□

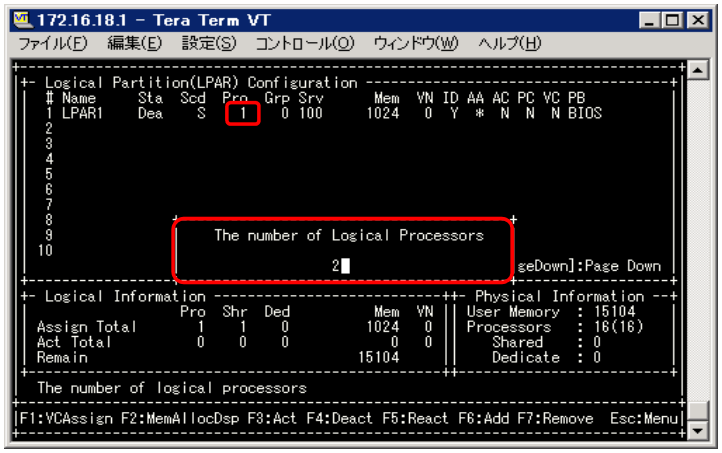
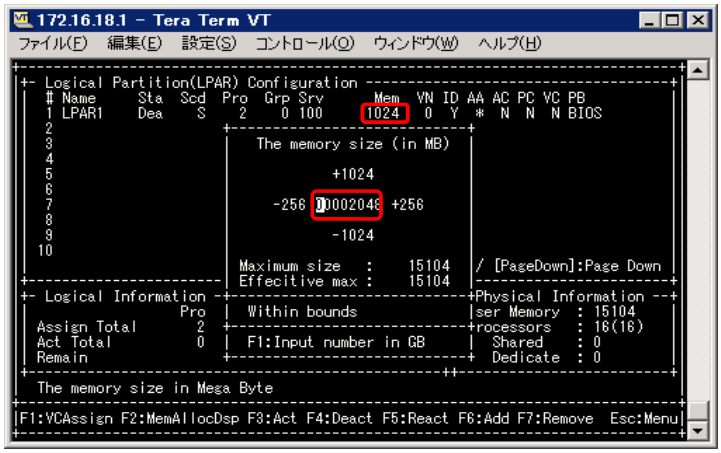
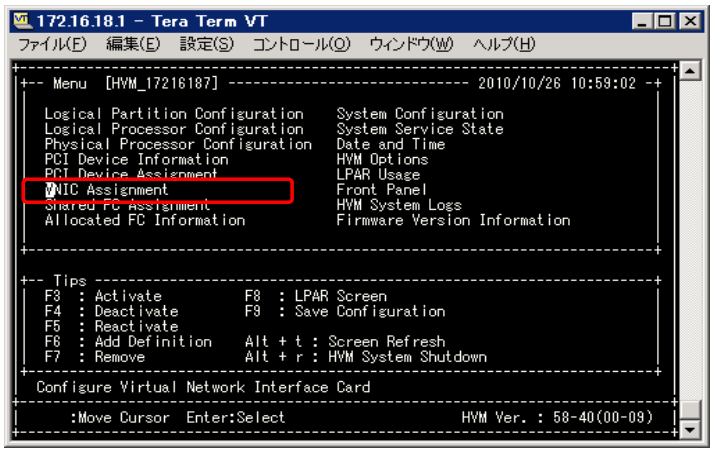
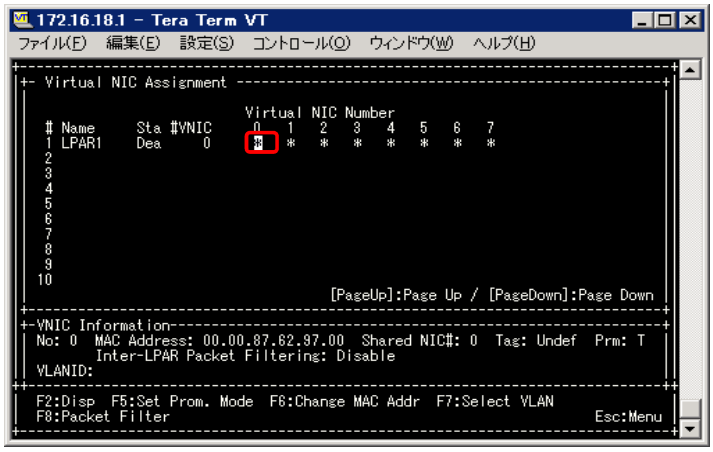
No.	画面	操作	チェック
9		・共有NICが設定されます。	□
10		■共有FCポートの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Shared FC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□
11		・[Enter]キーを押します。	□
12		・「共有FCポート」を選択し、[Enter]キーを押します。	□

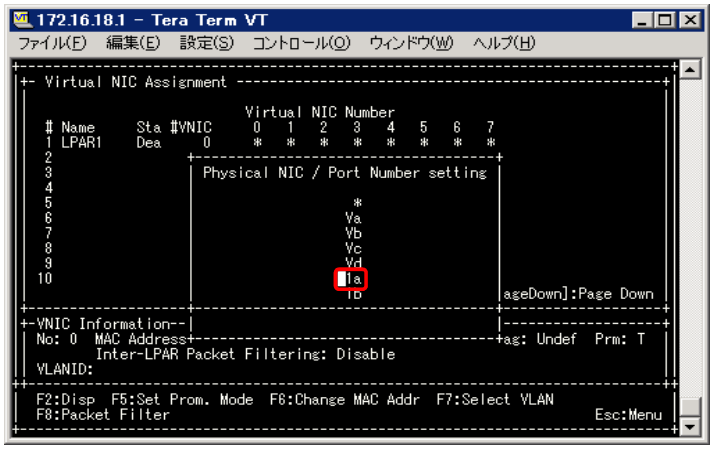
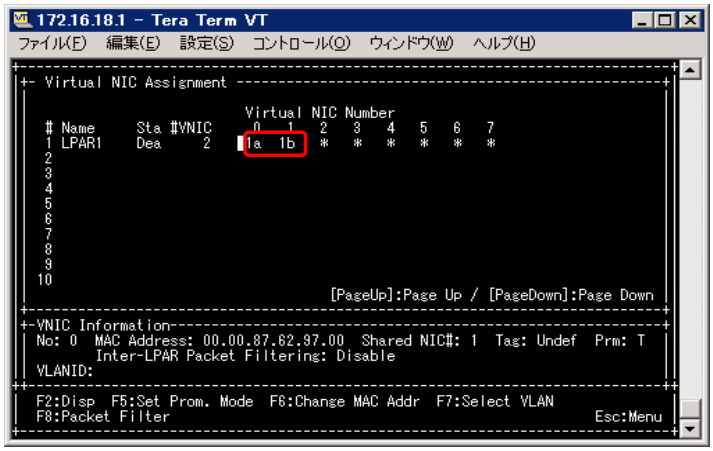
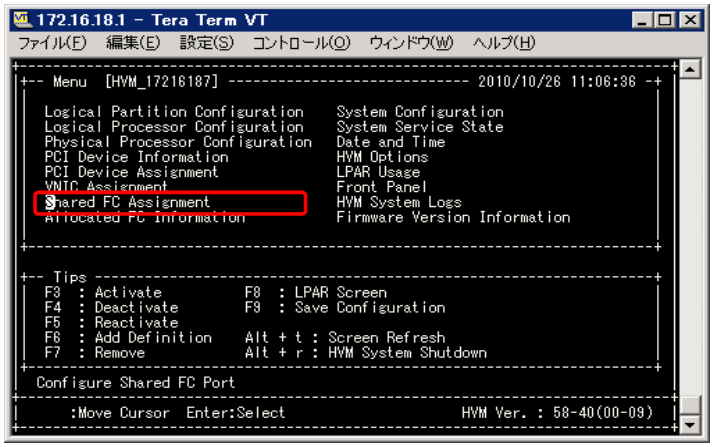
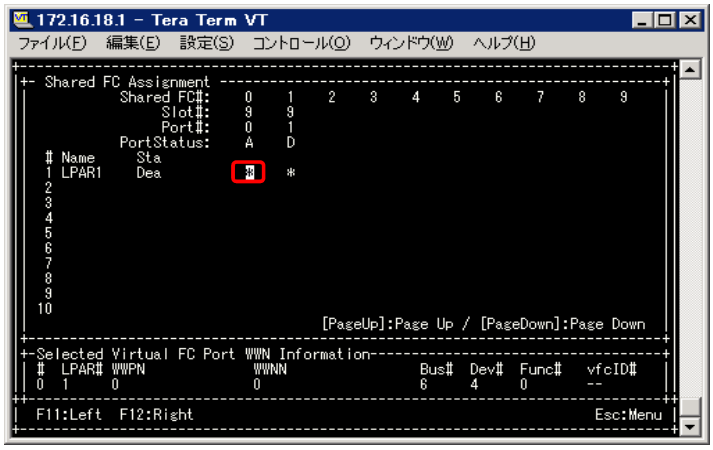
No.	画面	操作	チェック
13		・共有FCポートが設定されます。	□
14		■HVM構成情報の保存 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・[F9]キーを押し、HVM構成情報を保存します。 ・HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。	□
15		・HVM構成情報が保存されます。	□
16		・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	□

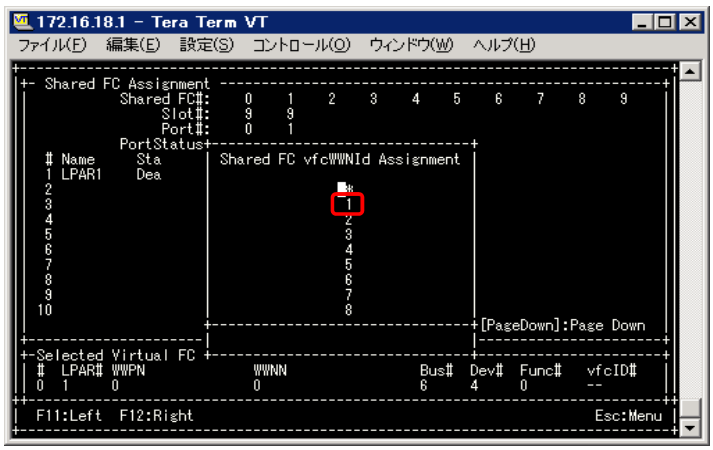
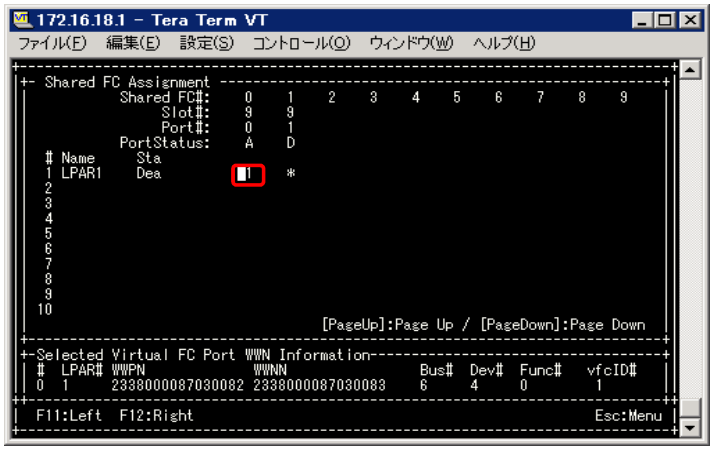
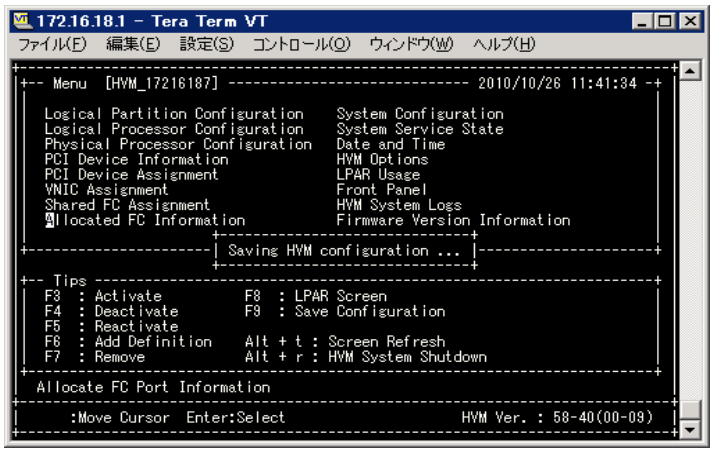
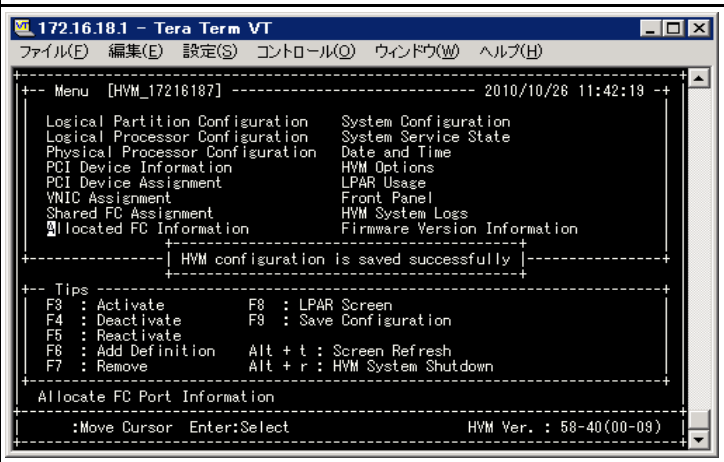
No.	画面	操作	チェック
17		■LPARの起動 ・[F3]キーを押し、LPARをActします。	□
18		・[Continue]を選択します。	□

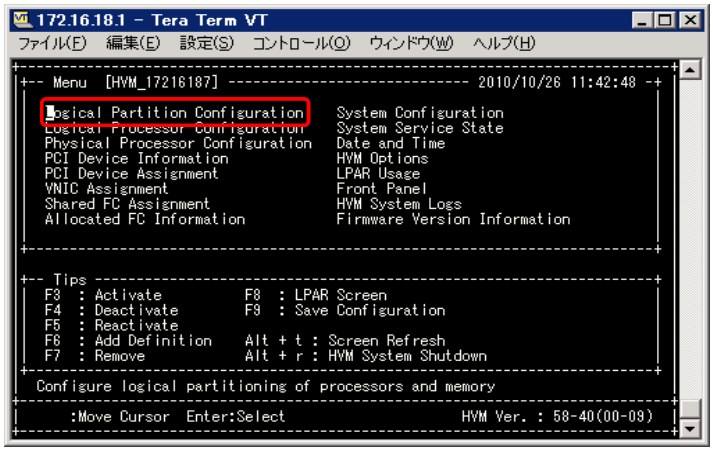
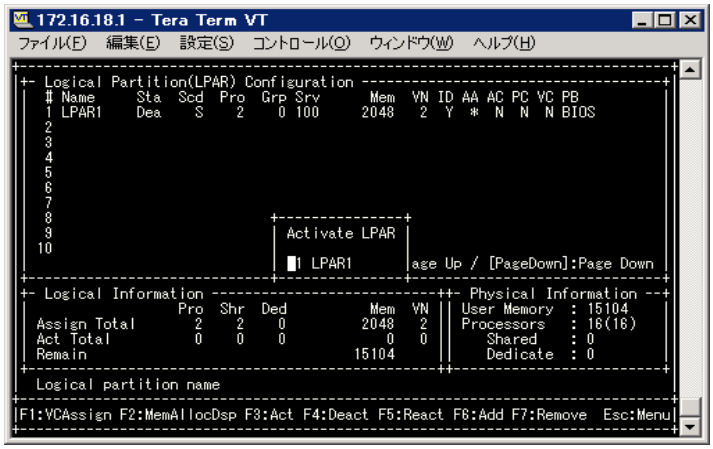
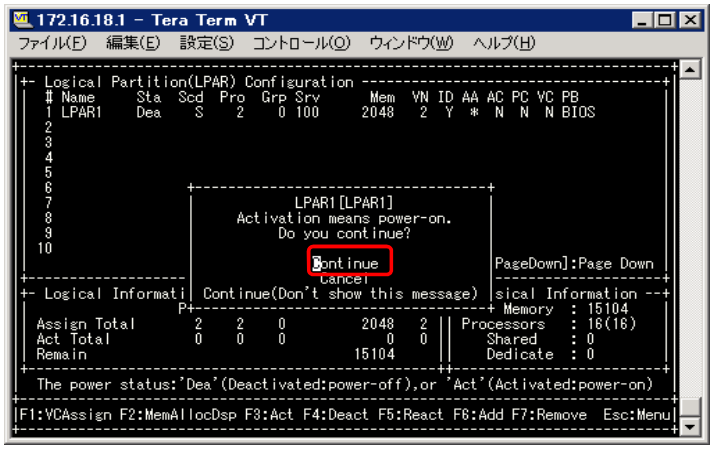
2．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		■LPARの作成 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
2		・[F6]キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
3		・当該LPARの「Name」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「LPAR名称」を入力します。	☐
4		■スケジューリングモードの設定 ・「Scd」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「S」を選択します。	☐

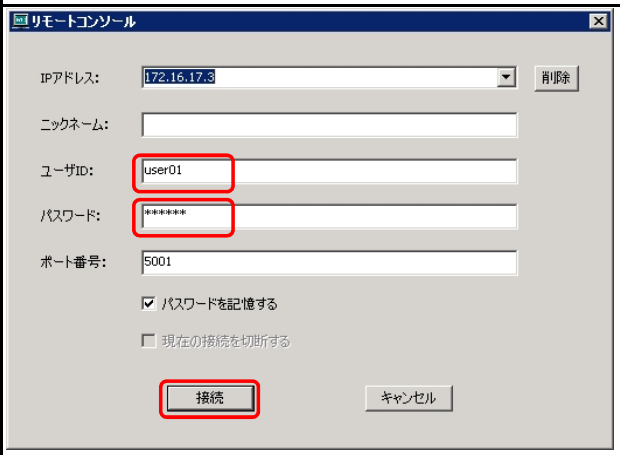
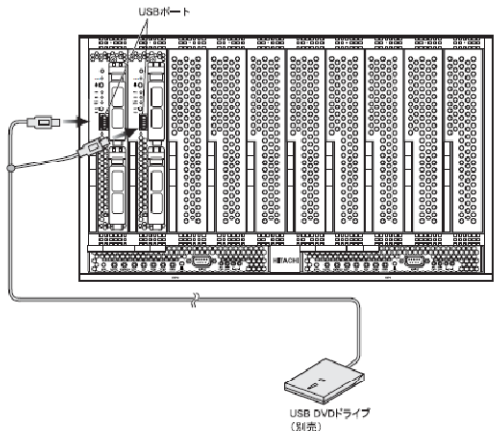
5		■プロセッサ数の設定 ・「Pro」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2」を選択します。	☐
6		■メモリサイズの設定 ・「Mem」列にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。 ・「2048」を選択します。	☐
7		■共有NICの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・VNIC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
8		・[Enter]キーを押します。	☐

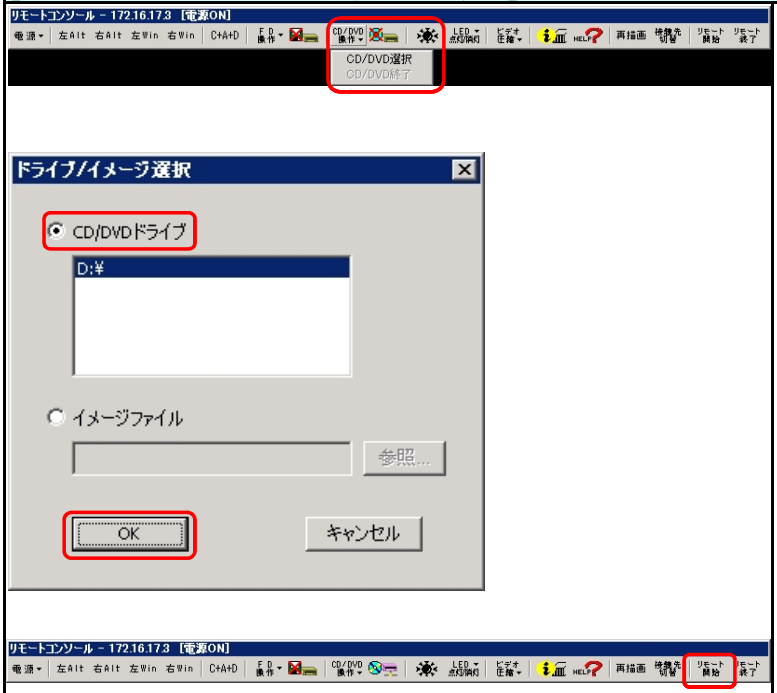
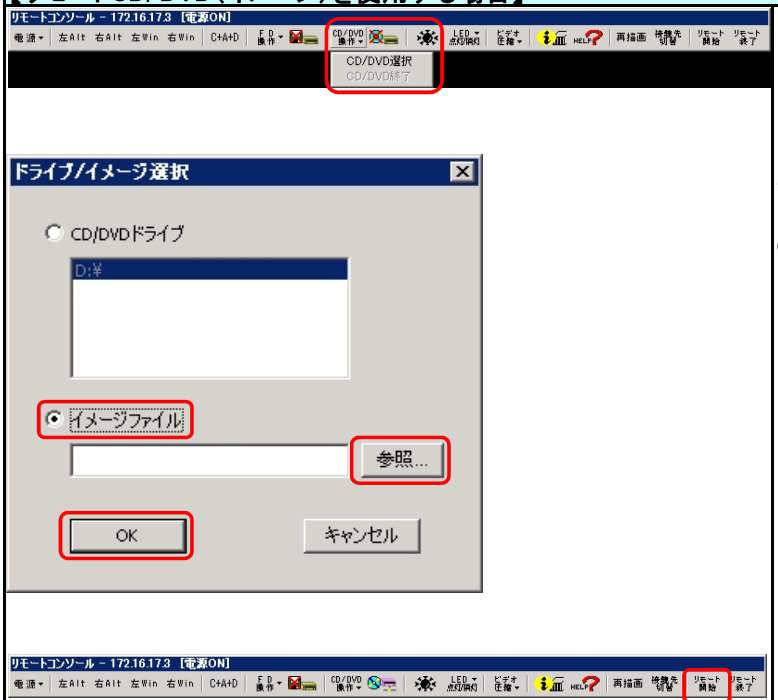
9		・「1a」を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
10		・共有NICが設定されます。	☐
11		■共有FCポートの設定 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Shared FC Assignmentにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
12		・[Enter]キーを押します。	☐

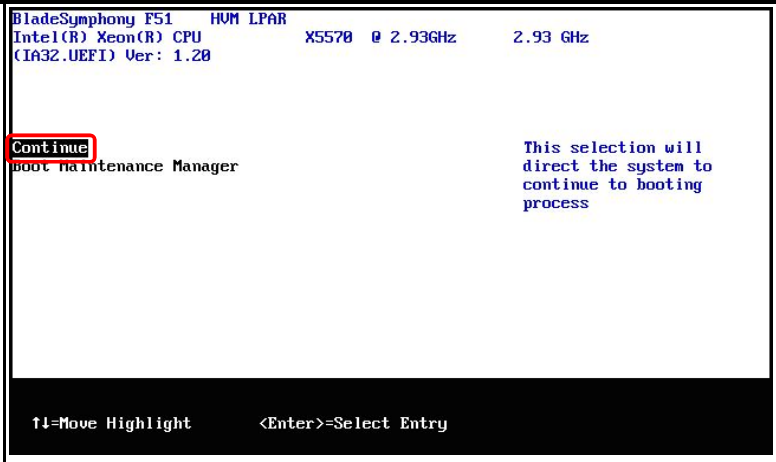
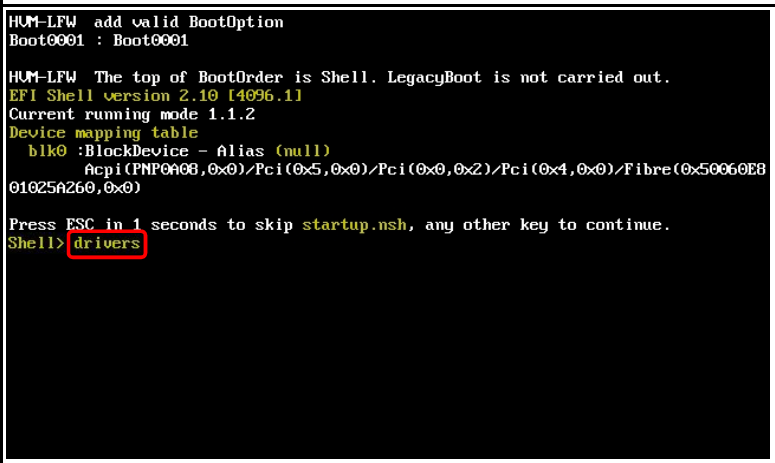
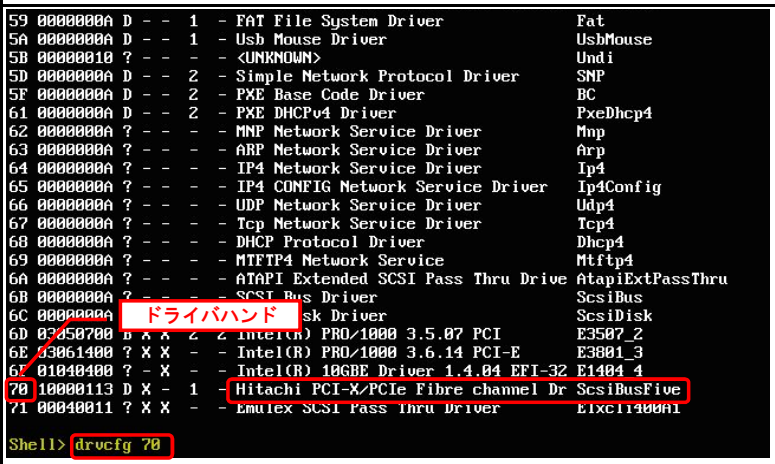
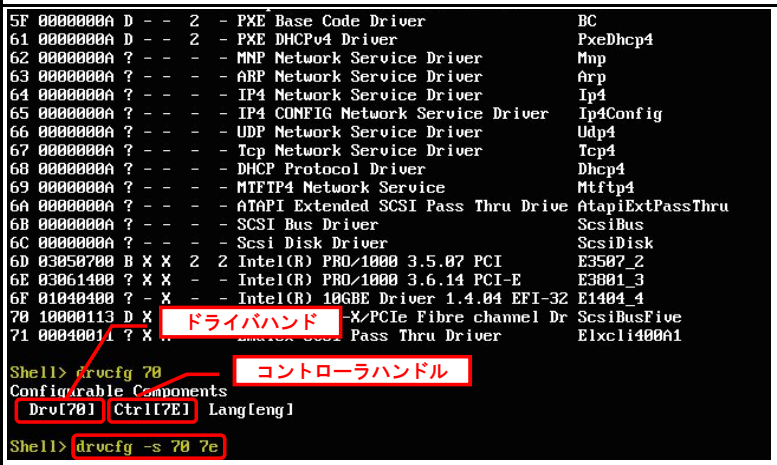
13		・「共有FCポート」を選択し、[Enter]キーを押します。	☐
14		・共有FCポートが設定されます。	☐
15		■HVM構成情報の保存 ・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・[F9]キーを押し、HVM構成情報を保存します。 ・HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。	☐
16		・HVM構成情報が保存されます。	☐

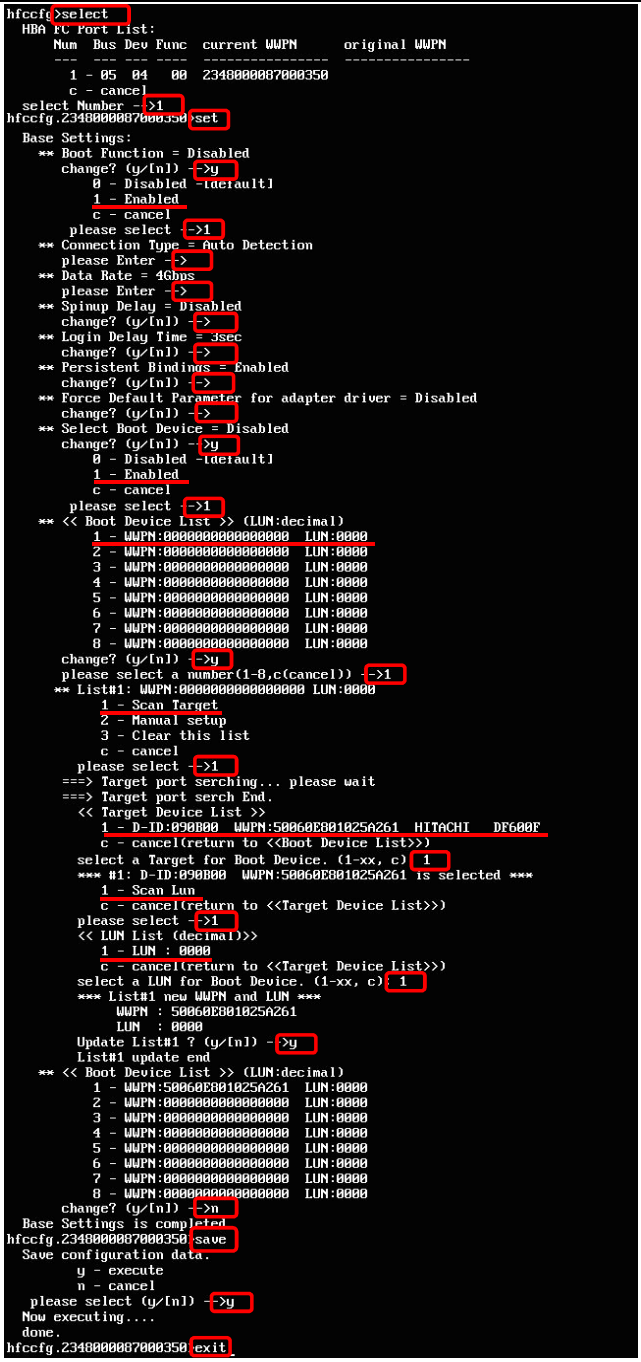
17		・[Esc]キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・Logical Partition Configurationにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。	☐
18		■LPARの起動 ・[F3]キーを押し、LPARをActします。	☐
19		・[Continue]を選択します。	☐

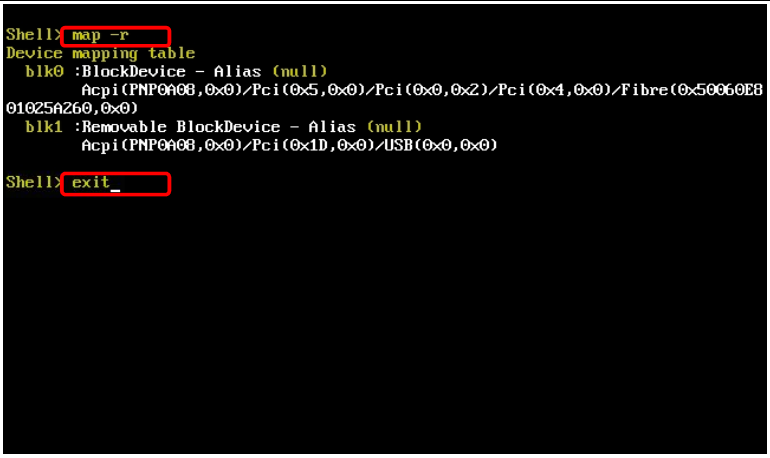
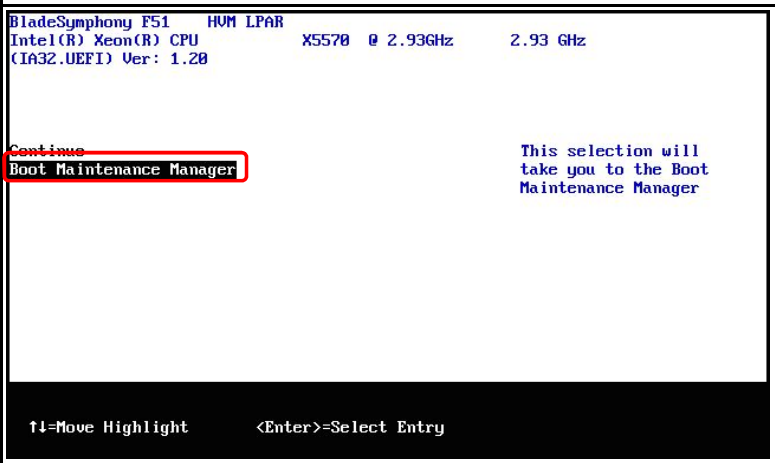
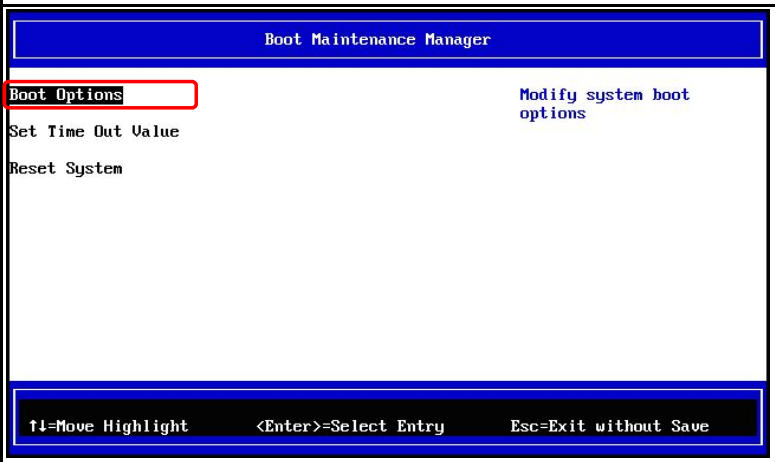
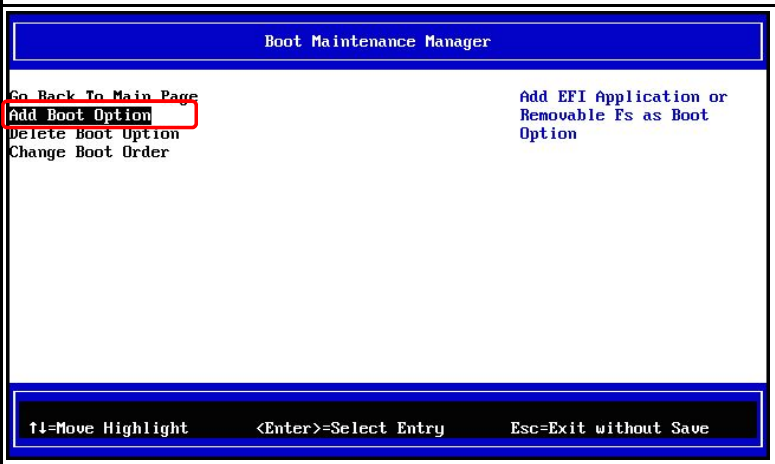
2．5 Windows Server 2008 R2のインストール

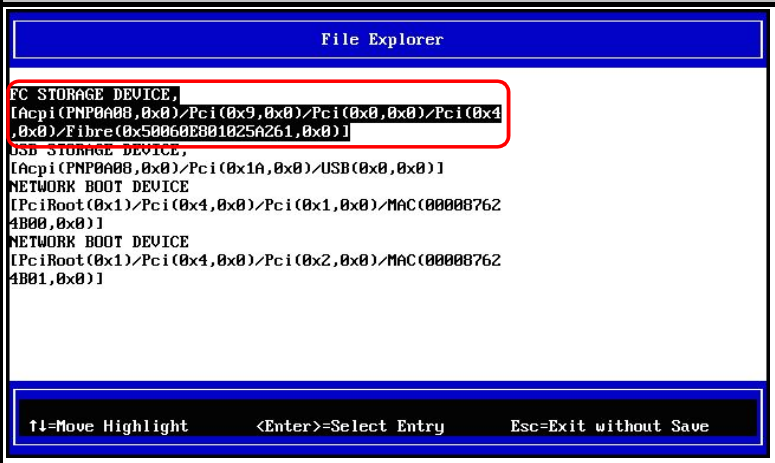
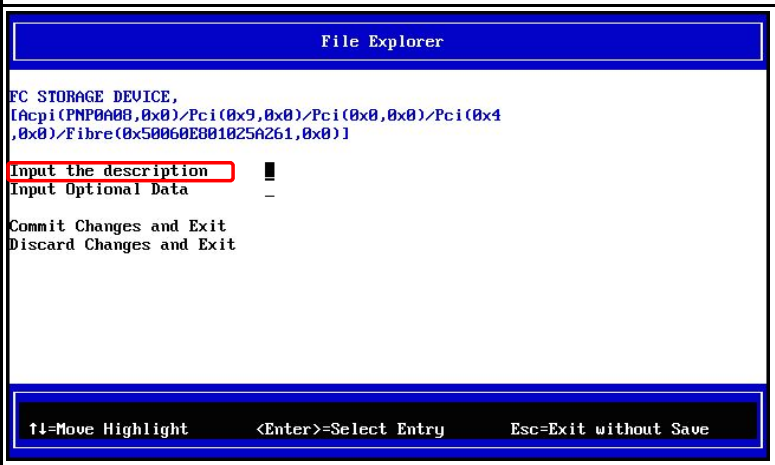
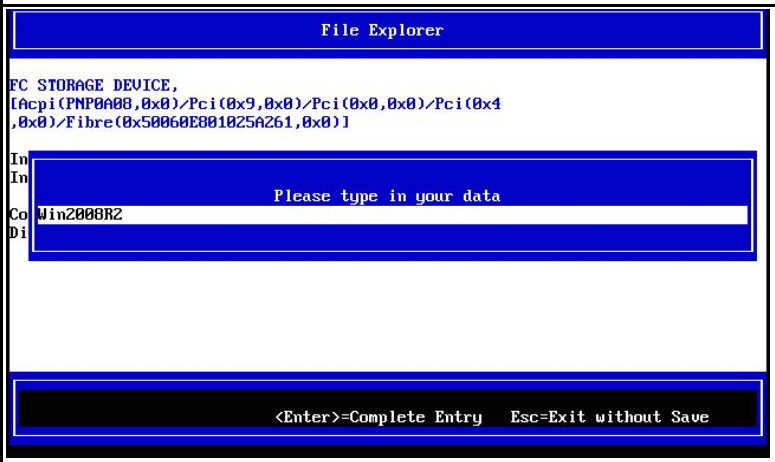
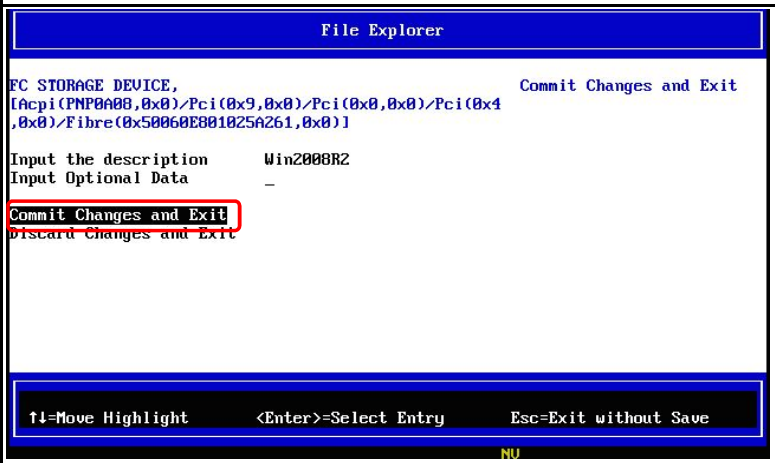
No.	画面	操作	チェック
1	**コンソールの切替：リモートコンソール**		☐
2		■リモートコンソールに接続 ・ユーザID、パスワードを入力します。 ・「接続」を押します。	☐
3	項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい **【フロント USBを使用する場合】** 3-1 	・フロント USBにDVDドライブを挿し、Windows Server 2008 R2メディアを入れます。 ※DVDドライブの灰色のプラグをサーバブレードに挿してください。	☐

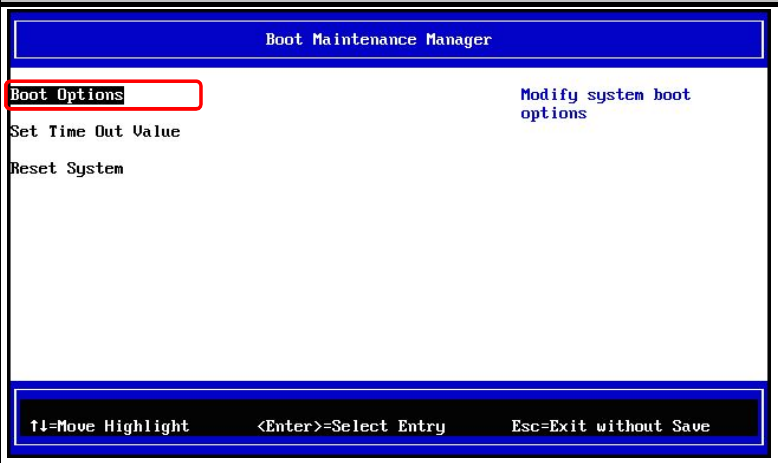
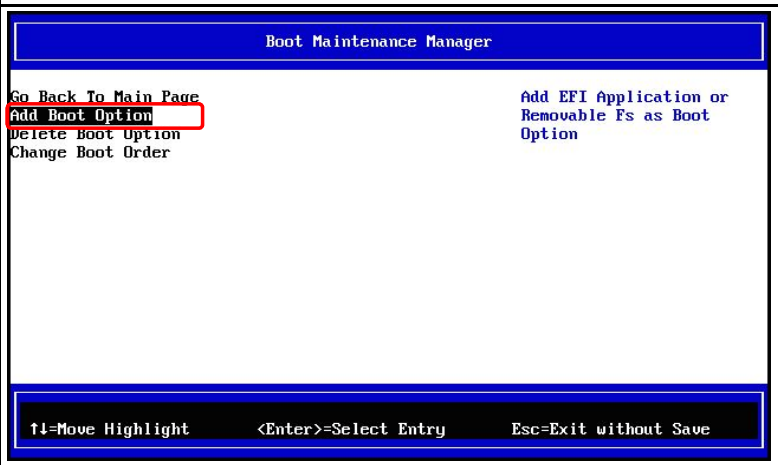
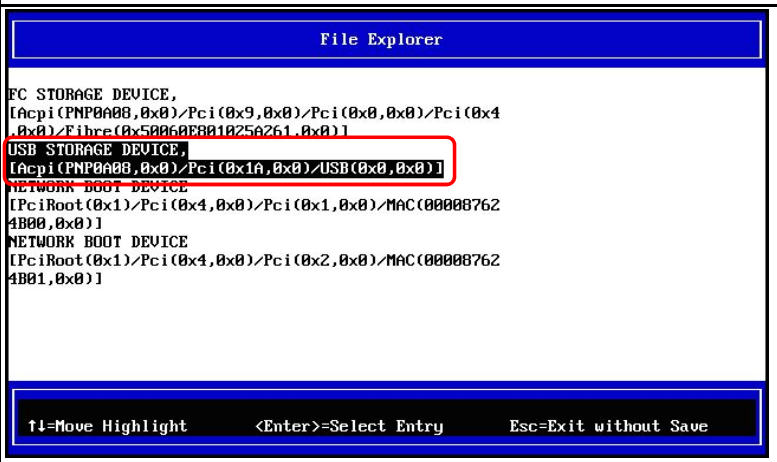
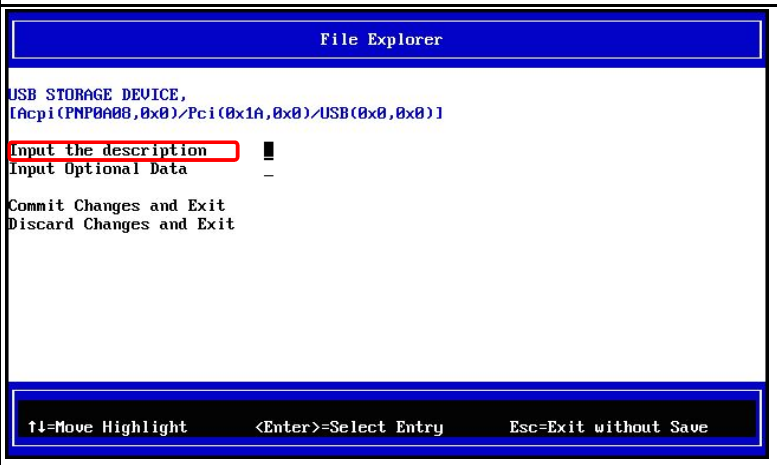
No.	画面	操作	チェック
3	【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】		
	3-2 	・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブを選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・コンソール端末のCD/DVDドライブにWindows Server 2008 R2メディアを入れます。	☐
	【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】		
	3-3 	・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・ドライブ/イメージ選択でイメージファイルを選択します。 ・「参照」を押し、Windows Server 2008 R2メディア(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。	☐

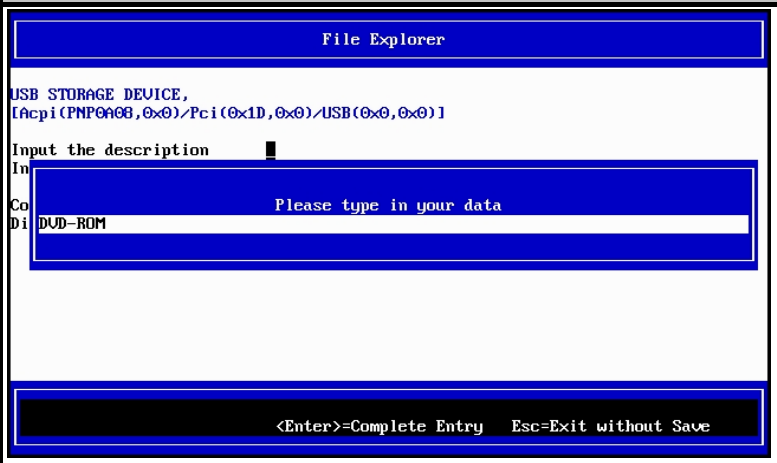
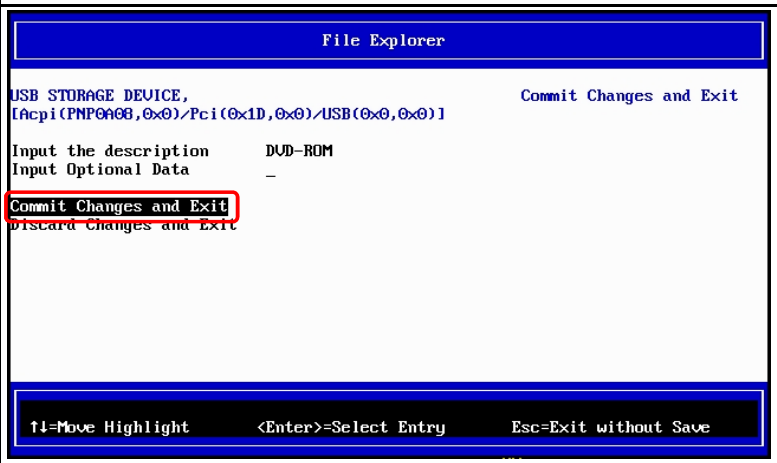
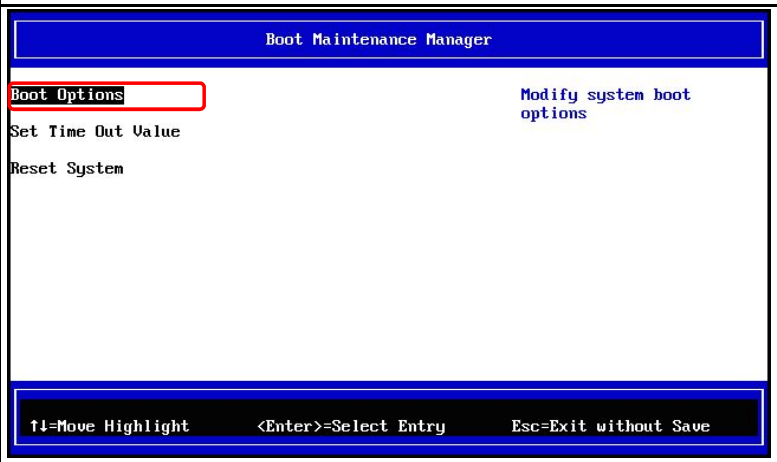
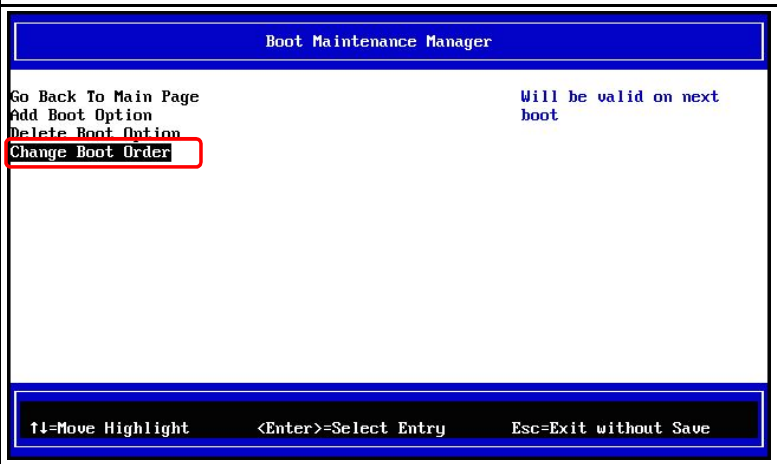
No.	画面	操作	チェック
4		■共有FCの設定 ・[Continue]を選択します。	☐
5		・「drivers」を入力します。	☐
6		・「drvcfg [ドライバハンドル]」を入力します。	☐
7		・「drvcfg -s [ドライバハンドル] [コントローラハンドル]」を入力します。	☐

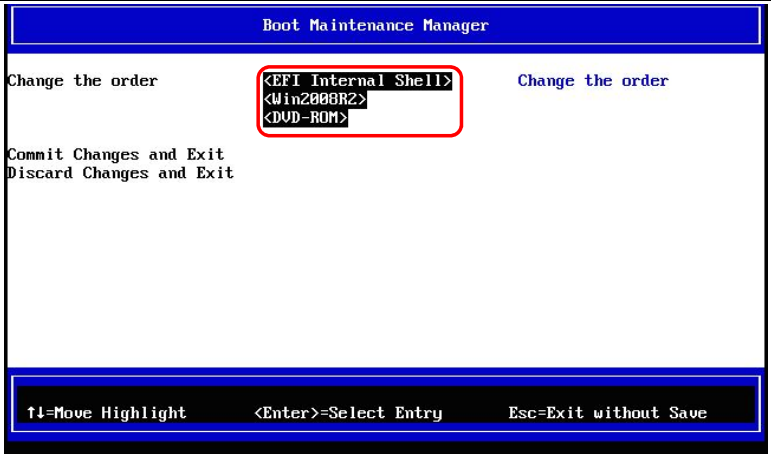
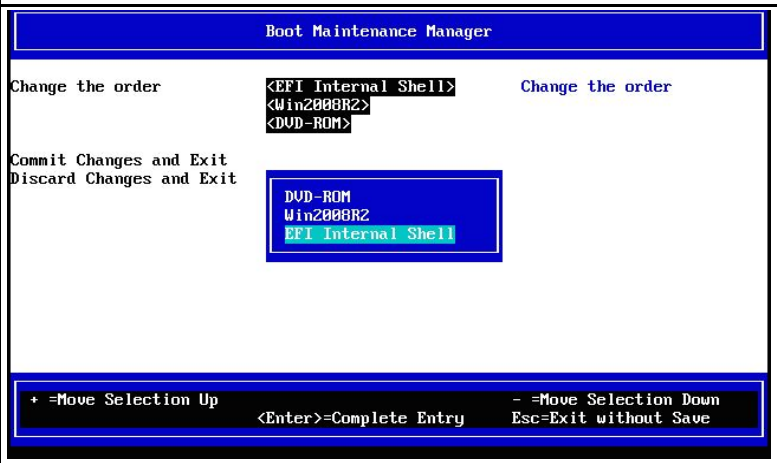
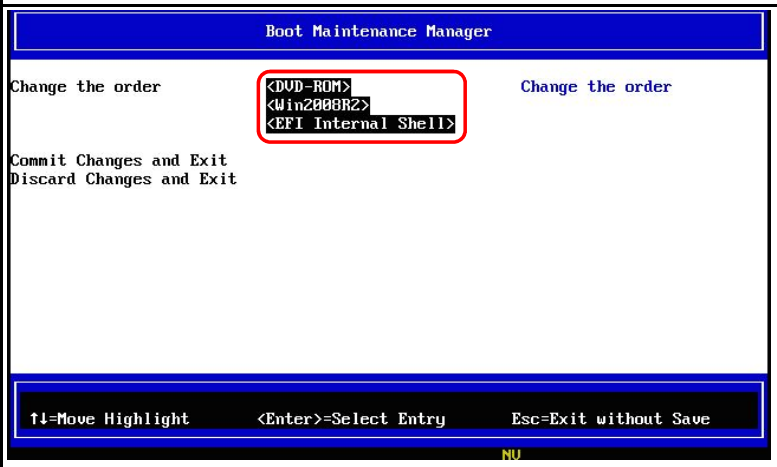
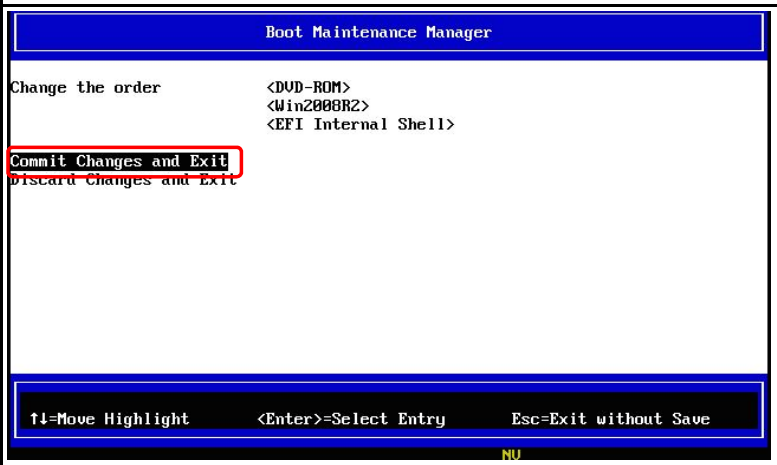
No.	画面	操作	チェック
8		・「select」を入力します。 ・左記のように入力します。 ・「exit」を入力します。	☐
9		・「reconnect -r」を入力します。	☐

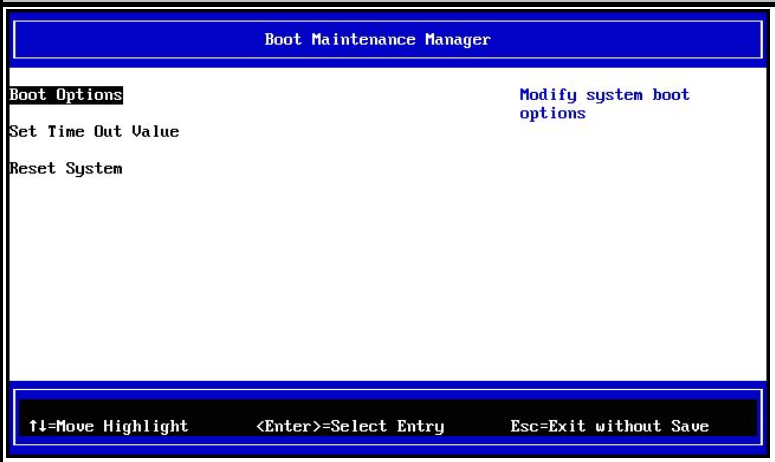
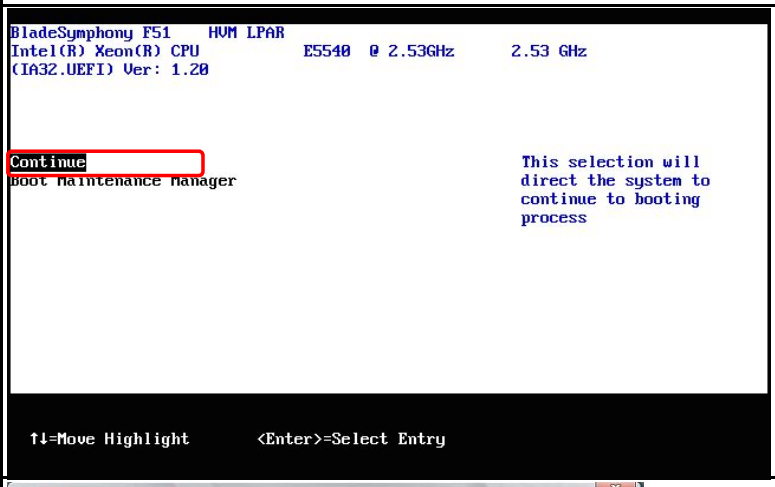
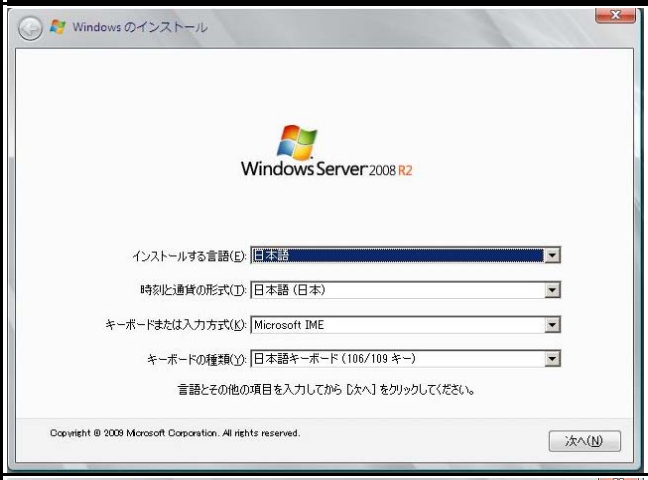
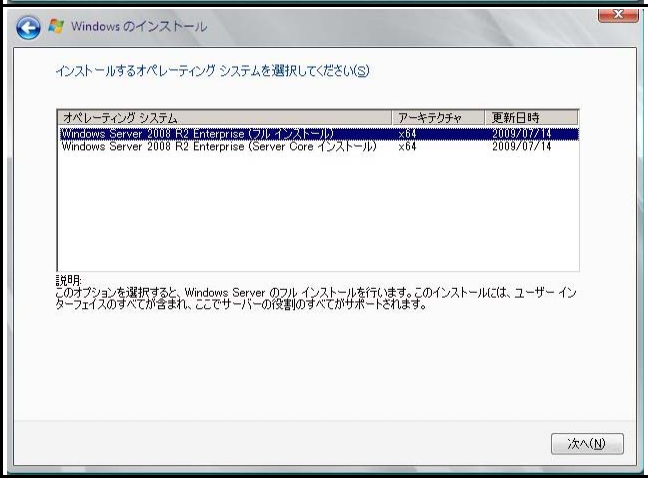
No.	画面	操作	チェック
10		・「map -r」を入力します。 ・「exit」を入力します。	☐
11		■ブートオーダの設定 ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。	☐
12		・「Boot Options」を選択します。	☐
13		・「Add Boot Option」を選択します。	☐

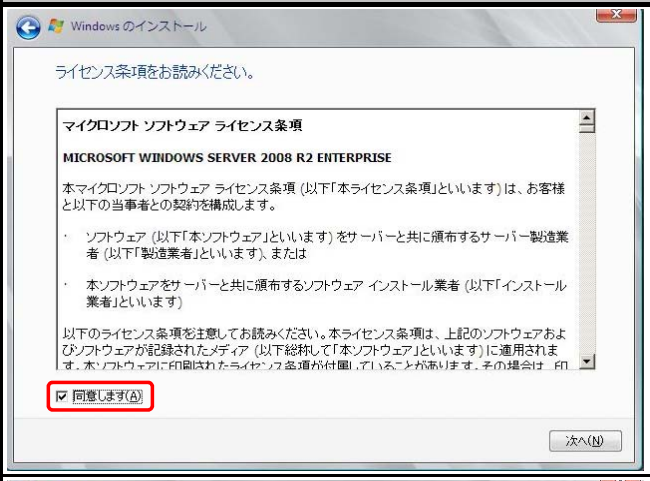
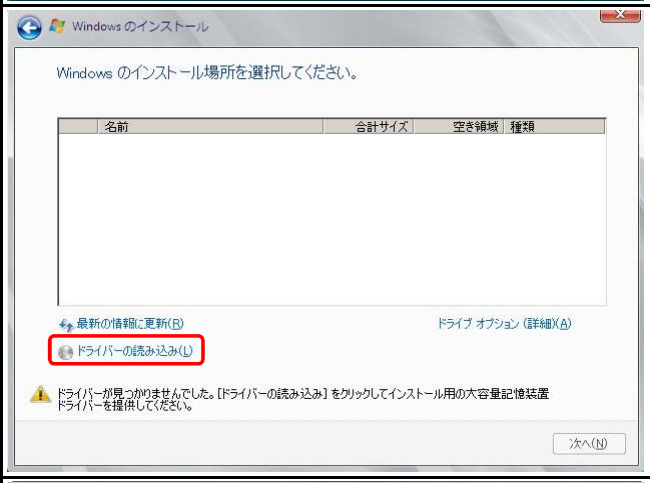
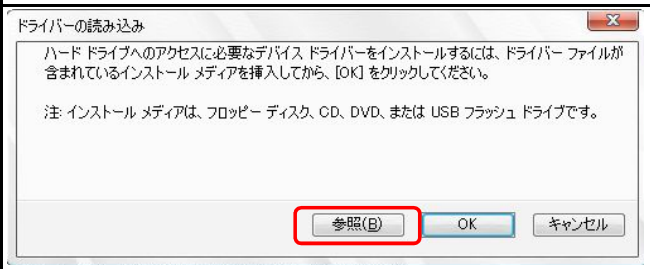
No.	画面	操作	チェック
14		・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。	☐
15		・「Input the description」を選択します。	☐
16		・ブートデバイス名を入力します。	☐
17		・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐

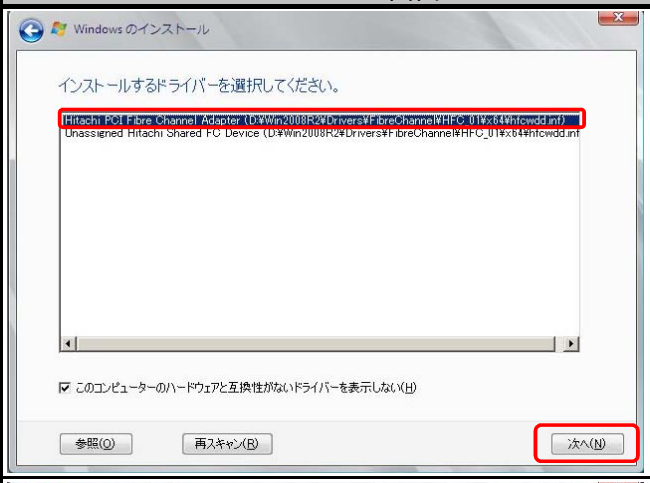
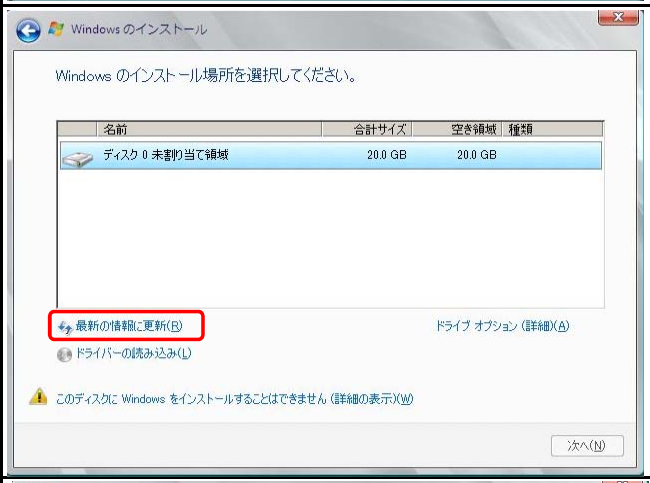
No.	画面	操作	チェック
18		・「Boot Options」を選択します。	☐
19		・「Add Boot Option」を選択します。	☐
20		・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。	☐
21		・「Input the description」を選択します。	☐

No.	画面	操作	チェック
22		・ブートデバイス名を入力します。	☐
23		・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐
24		・「Boot Options」を選択します。	☐
25		・「Change Boot Order」を選択します。	☐

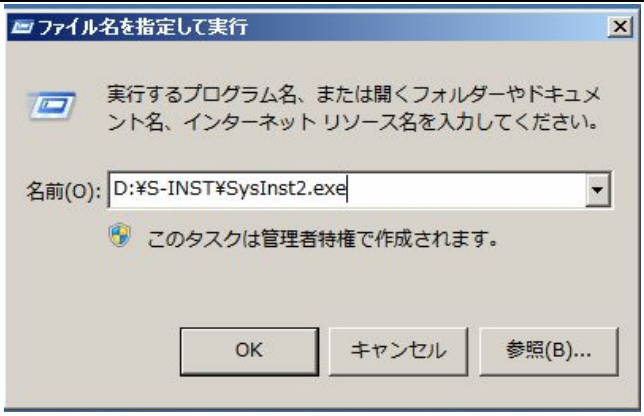
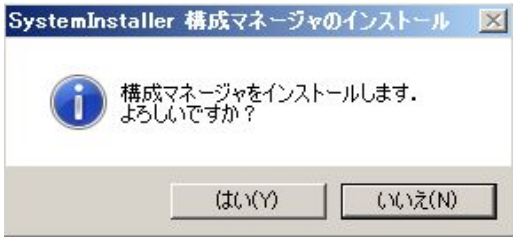
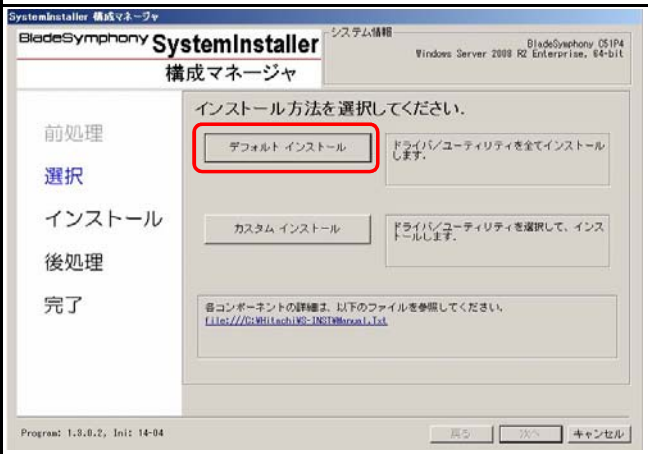
No.	画面	操作	チェック
26		・[Enter]キーを押します。	☐
27		・[Shift]+[+]または[-]キーにより、ブートの順番を変更します。	☐
28		・以下の順番になっていることを確認します。 DVD-ROM Win2008R2 EFI Internal Shell	☐
29		・「Commit Changes and Exit」を選択します。	☐

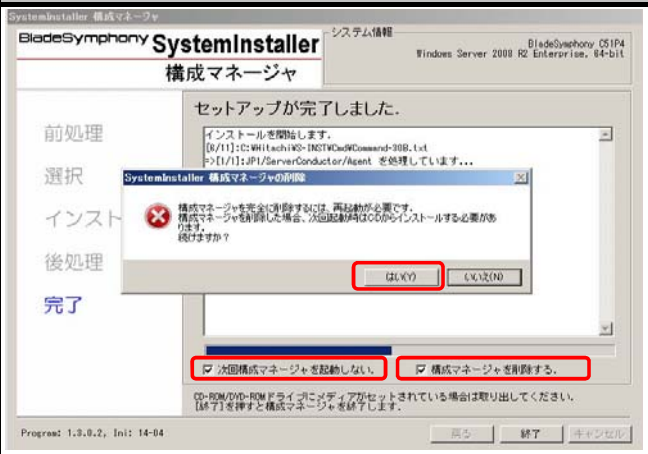
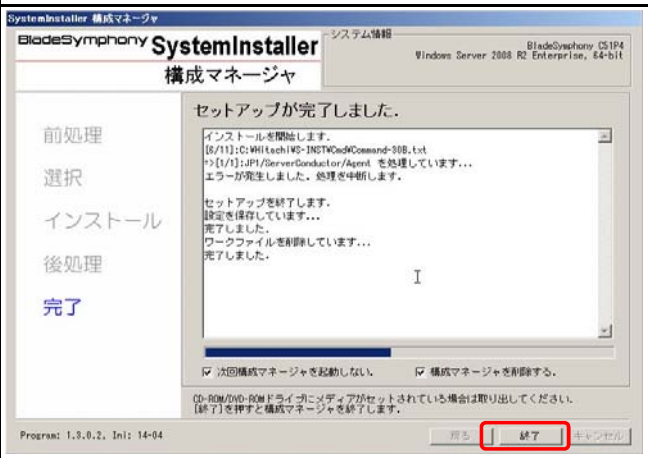
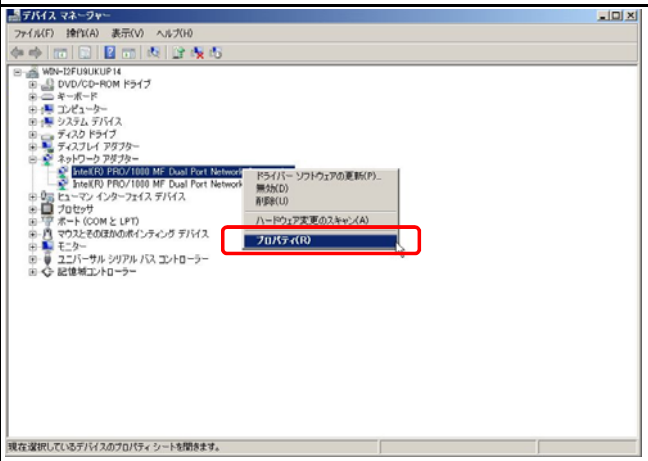
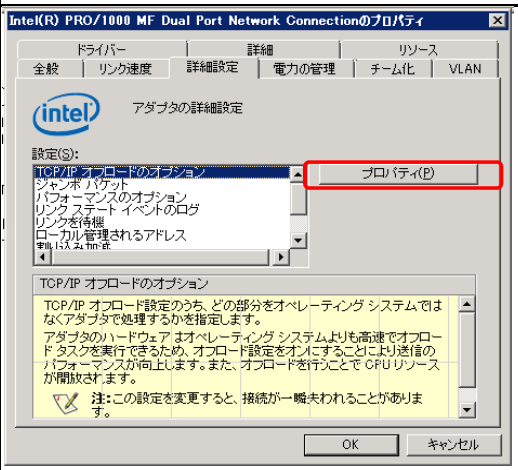
No.	画面	操作	チェック
30		・[Esc]キーを押します。	☐
31		・[Continue]を選択します。	☐
32		■OSのインストール ・左記の画面が表示されるまで、約15分かかります。 ・[次へ]を押します。	☐
33		・インストールするOSを選択します。 ・[次へ]を押します。 ※Server Coreは選択しないでください。	☐

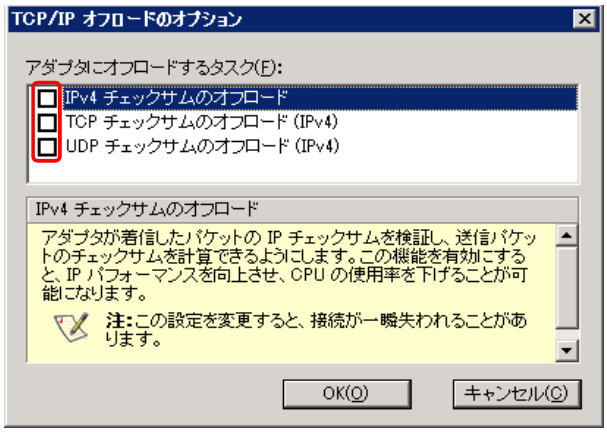
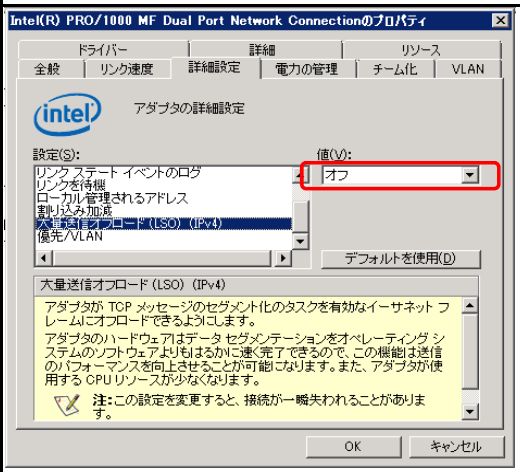
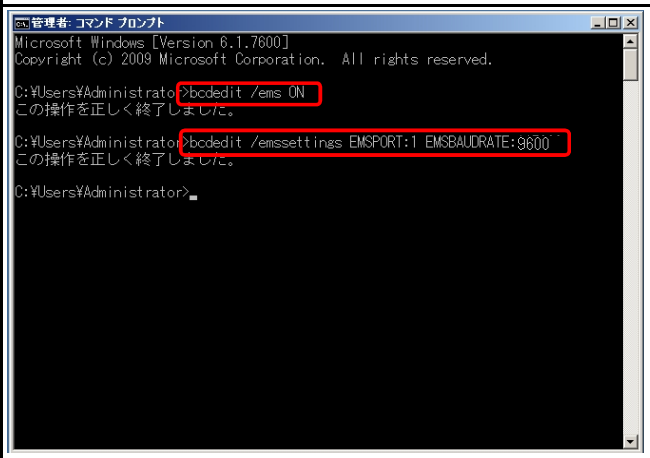
No.	画面	操作	チェック
34		・「同意します」をチェックします。 ・[次へ]を押します。	□
35		・「ドライバー読み込み」を選択します。	□
36		**【フロント USBを使用する場合】** ・SystemInstaller CD or ダウンロードしたドライバをコピーしたCDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CD or ダウンロードしたドライバをコピーしたCDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ) or ダウンロードしたドライバをコピーしたCDを選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[参照]を押します。	□
37		**【SystemInstaller CDの場合】** ・D:¥Win2008R2¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64を選択します。 **【Webからダウンロードしたドライバ CD場合】** ・D:¥(CDドライブ)を選択します。 ・[OK]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
38		**【SystemInstaller CDの場合】** ・Hitachi PCI Fibre Channel Adapter (D:¥Win2008R2¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64¥hfcwdd.inf)を選択します。 **【Webからダウンロードしたドライバ CD場合】** (D:¥hfcwdd.inf)を選択します。 ・[次へ]を押します。	☐
39		**【フロント USBを使用する場合】** ・Windows Server 2008 R2メディアに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・Windows Server 2008 R2メディアに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、Windows Server 2008 R2メディアイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[最新の情報に更新]を選択します。	☐
40		・[次へ]を押します。	☐
41		・インストールが完了するまで、約70分かかります。 ・インストール中にWindowsが数回再起動します。	☐

No.	画面	操作	チェック
42		・[OK]を押します。	□
43		・「パスワード」を入力します。 ・[→]を押します。 ※次の文字のうち3 つ以上組み合わせる。 英大文字（A ～ Z） 英小文字（a ～ z） 数字（1 ～ 9） 記号（句読点） ※ユーザ名またはフルネームに含まれる 3文字以上連続する文字列を含めない。	□
44		・[OK]を押します。	□
45		・(右クリック)-[画面の解像度]で解像度を[1024 × 768]に設定します。 ・[OK]を押します。	□

No.	画面	操作	チェック
46		■ドライバ/ユーティリティのセットアップ **【フロント USBを使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDに入れ替えます。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD接続]を選択します。 ・「参照」を押し、SystemInstaller CD(ISOイメージ)を選択します。 ・[OK]を押します。 ・[リモート開始]を実行します。 ・[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックします。 ・D:¥S-INST¥SysInst2.exeを入力します。 ・[OK]を押します。	☐
47		・[はい]を押します。	☐
48		・[OK]を押します。	☐
49		・[デフォルト インストール]を押します。 ・以降、画面にしたがいインストール作業を続行します。 ※各ユーティリティセットアップ時に入力を求められる場合があります。 必要に応じて、JP1/ServerConductorメディア、ハードウェア保守エージェントメディアをご使用ください。 ユーティリティのセットアップ方法詳細は各ユーティリティのマニュアルをご参照ください。 各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS320 ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた」P.9 をご参照ください。	☐

No.	画面	操作	チェック
50		・「次回構成マネージャを起動しない」をチェックします。 ・「構成マネージャを削除する」をチェックします。 ・「はい」を押します。	☐
51		**【フロント USBを使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・DVDドライブを取り外します。 **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】** ・SystemInstaller CDを取り出します。 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 **【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】** ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[CD/DVD操作]-[CD/DVD終了]を選択します。 ・[終了]を押します。	☐
52		■TCP/IPオフロードオプションの設定 ・ネットワークアダプターを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します。	☐
53		・[詳細設定]タブを選択します。 ・[プロパティ(P)]を選択します。	☐

No.	画面	操作	チェック
54		・[IPv4 チェックサムのオフロード]をチェックを外します。 ・[TCP チェックサムのオフロード(IPv4)]をチェックを外します。 ・[UDP チェックサムのオフロード(IPv4)]をチェックを外します。	☐
55		・[大量送信オフロード(LSO) (IPv4)]を「オフ」に設定します。 ※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。	☐
56		■シリアルコンソールの設定 ・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。 「bcdedit /ems ON」 「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600」	☐
57	**各ドライバのバージョン情報確認**	■各ドライバのバージョン情報確認 ・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。 http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony " ご導入後のお客さま" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" からインストールしたドライバのバージョン確認方をご参照ください。 ※バージョン情報を確認しドライバが最新バーンでない場合は、Webから最新バージョンをダウロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。	☐

No.	画面	操作	チェック
58	**インストールに使用したドライバにあった修正モジュールの適応**	■OS修正モジュールの適応 ・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。 また、情報は適時更新されておりますので、 定期的な確認をお願いいたします。 http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony ″ ご導入後のお客さま″-″ サポート製品ダウンロード″-″ ダウンロード最新情報一覧″ -″ OS修正モジュール″ を参照してください。 OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、 手順に従い操作を続行してください。	☐
59		■リモートコンソールの終了 ・[Alt]+[G]キーを押します。 ・[リモート終了]を実行します。 以上でOSインストールは完了です。	☐